

Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX S4400

クールピクス S4400

活用ガイド



Jp

商標説明

- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSおよびQuickTimeは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- PictBridgeロゴは商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

はじめに

各部の名称と基本操作

撮影と再生の基本ステップ

いろいろな撮影

いろいろな再生

動画を撮影、再生する

カメラに関する基本設定

詳細編

付録、索引

はじめにお読みください

ニコンデジタルカメラ COOLPIX S4400 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
どうぞ입니다。

お使いになる前に、本製品の使用方法や「安全上のご注意」(□vi~ix) をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

本書について

すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影と再生の基本ステップ」(□15)をご覧ください。

また、カメラ各部の主な役割や基本的な操作方法は、「各部の名称と基本操作」(□1)をご覧ください。

● 本書の記載について

- 本文中のマークについて

マーク	意味
☑	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
☒	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
□/📷/🔍	関連情報が記載されているページです。(📷は「詳細編」、🔍は「付録、索引」のページです)。

- SD/SDHC/SDXC メモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[] で囲って表記しています。
- 本書では、液晶モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡することになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

●カスタマー登録のお願い

下記のホームページから登録をお願いします。

<https://reg.nikon-image.com/>

付属の「登録のご案内」に記載の登録コードをご用意ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリ（バッテリー、バッテリーチャージャー、本体充電ACアダプター、ACアダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL19には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のLi-ionリチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの十分な性能が出せないことや、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。



ホログラム
シール

●説明書について

- ・説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- ・説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- ・製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- ・説明書が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページからダウンロードできます。

<http://www.nikon-image.com/support/manual/>

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはおお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、**【オープニング画面】**（□88）の**【撮影した画像】**も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

説明書に従って正しい取り扱いをしてください。




VCCI-B

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。




この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は次のようになっています。







 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。









お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。










絵表示の例




-  △記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
-  ⊘記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
-  ●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。


警告（カメラについて）

 分解禁止	分解したり、修理や改造をしないこと 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。	 水かけ禁止	水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと 発火したり感電の原因となります。
 接触禁止	落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと	 電池を取る	熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。
 すぐに修理依頼を	感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。	 すぐに修理依頼を	電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



	禁止 通電中のカメラに長時間直接触れない 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。
	使用禁止 引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
	発光禁止 車の運転者等におむけてフラッシュを発光しないこと 事故の原因となります。
	発光禁止 フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと 視力障害の原因となります。特に乳幼児を撮影する時は1m以上離れてください。
	保管注意 幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届く所に置かない 幼児の飲み込みの原因となります。飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。
	保管注意 ストラップが首に巻き付かないようにすること 特に幼児・児童の首にストラップをかけること 首に巻き付いて窒息の原因となります。
	警告 指定の電源(電池、本体充電ACアダプターまたはACアダプター)を使うこと 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。
	使用禁止 充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと 感電の原因となります。雷が鳴り止むまで機器から離れてください。


 注意 (カメラについて)	
	感電注意 ぬれた手でさわらないこと 感電の原因になることがあります。
	保管注意 製品は、幼児の手の届く所に置かない ケガの原因になることがあります。
	保管注意 使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
	移動注意 三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと 転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。
	使用注意 航空機内では、離着陸時に電源をOFFにする 病院では、病院の指示に従う 本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。Eye-Fiカードは、あらかじめカメラから取り出してください。
	電池を取る 長期間使用しないときは電源(電池、本体充電ACアダプターまたはACアダプター)を外すこと 電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。
	プラグを抜く 本体充電ACアダプターやACアダプターをお使いの際には、電源プラグをコンセントから抜いて、その後でカメラを取り外してください。火災の原因となることがあります。
	発光禁止 内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと やけどや発火の原因となることがあります。





	<p>禁止</p> <p>布面でおおったり、つつんだりして使用しないこと 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。</p>
	<p>放置禁止</p> <p>窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと 内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。</p>
	<p>禁止</p> <p>付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと 機器に損傷を与えたり大きな音が生じて聴力に悪影響を及ぼすことがあります。</p>


 **危険**
(専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて)

	<p>禁止</p> <p>電池を火に入れたり、加熱しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。</p>
	<p>分解禁止</p> <p>電池を分解しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。</p>
	<p>注意</p> <p>電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。</p>
	<p>危険</p> <p>専用の充電器を使用すること 液もれ、発熱、破裂の原因となります。</p>
	<p>使用禁止</p> <p>Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL19は、ニコンデジタルカメラ専用の充電電池でCOOLPIX S4400に対応しています。EN-EL19に対応していない機器には使用しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。</p>


	<p>危険</p> <p>ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒を持ち運んだり、保管しないこと ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。 持ち運ぶときはバッテリーケースに入れてください。</p>
	<p>危険</p> <p>電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。</p>



 **警告**
(専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて)



	<p>保管注意</p> <p>電池は、幼児の手の届くところに置かない 幼児の飲み込みの原因となります。 飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。</p>
	<p>水かけ禁止</p> <p>水につけたり、ぬらさないこと 液もれ、発熱の原因となります。</p>
	<p>使用禁止</p> <p>変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。</p>
	<p>警告</p> <p>充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること 液もれ、発熱、破裂の原因となります。</p>
	<p>警告</p> <p>電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、ビニールテープなどで接点部を絶縁すること 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。</p>


 警告	電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。
---	--


警告
(本体充電ACアダプターについて)


 分解禁止	分解したり、修理や改造をしないこと 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
---	---


 接触禁止	落下などによって破損し、内部が露出した時は、露出部に手を触れないこと 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
 すぐに修理依頼を	


 プラグを抜く	熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。
 すぐに修理依頼を	電源プラグを抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。


 水かけ禁止	水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと 発火したり感電の原因となります。
---	--


 使用禁止	引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
---	---


 警告	電源プラグの金属部やその周辺にほりかが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること そのまま使用すると、火災の原因となります。
---	---

 使用禁止	雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
---	--


 禁止	ケーブルを傷つけたり、加工したりしないこと また、重いものを載せたり、加熱したり、引っばったり、むりに曲げたりしないこと ケーブルが破損し、火災、感電の原因となります。
---	--


 感電注意	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと 感電の原因となります。
---	-------------------------------------


 禁止	海外旅行者用電子式変圧器(トラベルコンバーター)やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わないこと 発熱、故障、火災の原因となります。
---	---

 禁止	通電中のACアダプターに長時間直接触れない 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。
---	---

注意
(本体充電ACアダプターについて)

 感電注意	ぬれた手でさわらないこと 感電の原因になることがあります。
--	----------------------------------

 放置禁止	製品は、幼児の手の届くところに置かない ケガの原因になることがあります。
---	---

 禁止	布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。
---	--

目次

はじめに	ii
はじめにお読みください.....	ii
本書について	iii
ご確認ください.....	iv
安全上のご注意.....	vi
各部の名称と基本操作	1
各部の名称	2
カメラ本体	2
タッチパネルの操作方法	4
タッチする	4
ドラッグする	4
ドラッグアンドドロップする.....	4
タッチペンについて	5
液晶モニター/タッチパネルの主な表示と基本操作	6
撮影モード (情報表示)	6
撮影モード (操作部)	7
再生モード (情報表示)	8
再生モード (操作部)	9
撮影モードと再生モードを切り換える	10
メニューを使う (MENUタブ)	11
シャッターボタンの使い方	13
ストラップの取り付け方	13
撮影と再生の基本ステップ	15
準備 1 バッテリーを入れる	16
準備 2 バッテリーを充電する	18
準備 3 SD カードを入れる	20
内蔵メモリーとSDカードについて	21
推奨SDカード	21
ステップ 1 電源を ON にする	22
電源のON/OFFについて	23
表示言語と日時を設定する	24
ステップ 2 撮影モードを選ぶ	26
撮影モードの種類	27
ステップ 3 カメラを構え、構図を決める	28
ズームを使う	29
ステップ 4 ピントを合わせ、シャッターをきる	30

ステップ5 画像を再生する	32
画像の表示方法を変更する	33
ステップ6 不要な画像を削除する	34
<hr/>	
いろいろな撮影	37
📷 (オート撮影) モード	38
📷 (オート撮影) モードの設定を変える	38
オート撮影メニューの種類	39
シーンモード (シーンに合わせて撮影する)	41
シーンモードの設定を変える	41
シーンモードの種類と特徴	43
スペシャルエフェクトモード (効果を付けて撮影する)	50
スペシャルエフェクトモードの設定を変える	50
ベストフェイスモード (笑顔を撮影する)	51
ベストフェイスモードの設定を変える	53
ベストフェイスメニューの種類	53
撮影の基本設定	54
設定できる機能の種類	54
フラッシュを使う (フラッシュモード)	55
セルフタイマーを使う	57
マクロ (接写) モードを使う	59
明るさを調整する (露出補正)	61
初期設定一覧	62
🔍 画像サイズ (画像モード) を変える	64
画像モード (画像サイズ/画質) の種類	64
組み合わせて使えない機能	66
顔認識撮影について	68
美肌機能について	70
<hr/>	
いろいろな再生	71
再生する画像を絞り込む	72
再生モードの種類	72
再生モードの切り換え方法	73
画像にランクを設定する (レーティング)	74
再生モードで使える機能 (再生メニュー)	75
テレビ、パソコン、プリンターとの接続	76
ViewNX 2を使う	77
ViewNX 2をインストールする	77

パソコンに画像を取り込む.....	79
画像を見る.....	80

動画を撮影、再生する.....	81
動画を撮影する.....	82
動画撮影の設定を変える（動画メニュー）.....	85
動画を再生する.....	86

カメラに関する基本設定.....	87
セットアップメニュー.....	88

詳細編.....	01
手書きメモの使い方.....	02
パノラマアシストの使い方.....	03
お気に入り再生モード.....	05
お気に入りフォルダーに画像を登録する.....	05
お気に入りフォルダーの画像を再生する.....	06
お気に入りフォルダーの画像登録を解除する.....	07
お気に入りフォルダーのアイコンを変更する.....	08
オート分類再生モード.....	09
撮影日一覧モード.....	11
画像の編集（静止画）.....	12
画像編集の種類.....	12
✍ ペイント.....	14
👉 簡単レタッチ（コントラストと鮮やかさを高める）.....	17
📷 D-ライティング（画像の暗い部分を明るく補正する）.....	18
📏 スリム効果（画像を伸縮させる）.....	19
▲ アオリ効果（遠近効果をつける）.....	20
🕒 フィルター効果（デジタルフィルター）.....	21
👁️ メイクアップ効果（肌をなめらかに、さらに顔を小さく目を大きく見せる）.....	23
🖼️ スモールピクチャー（画像サイズを小さくする）.....	24
✂ トリミング（画像の一部を切り抜く）.....	25
テレビとの接続（テレビ画面での再生）.....	27
プリンターとの接続（ダイレクトプリント）.....	29
カメラとプリンターを接続する.....	30
1コマずつプリントする.....	31
複数の画像をプリントする.....	32

撮影メニュー (📷 (オート撮影) モード).....	🔍 035
📷/📷/📷! タッチ撮影.....	🔍 035
ISO ISO感度設定.....	🔍 042
📷 連写.....	🔍 043
WB ホワイトバランス (色合いの調整).....	🔍 044
ベストフェイスメニュー.....	🔍 047
👤 美肌効果.....	🔍 047
👁️ 目つぶり軽減.....	🔍 048
😊 笑顔自動シャッター.....	🔍 048
再生メニュー.....	🔍 049
📺 スライドショー.....	🔍 049
🔒 プロテクト設定.....	🔍 051
🖨️ プリント指定 (プリントする画像や枚数を設定する).....	🔍 053
🔄 画像回転.....	🔍 057
🔊 音声メモ.....	🔍 058
📄 画像コピー (内蔵メモリーとSDカード間のコピー).....	🔍 060
動画メニュー.....	🔍 062
🎬 動画設定.....	🔍 062
🎬 AF 動画 AF モード.....	🔍 062
🔊 風切り音低減.....	🔍 063
セットアップメニュー.....	🔍 064
🖼️ オープニング画面.....	🔍 064
🌐 地域と日時.....	🔍 065
📺 モニター設定.....	🔍 068
DATE デート写し込み (日付の写し込み).....	🔍 070
👤 手ブレ補正.....	🔍 071
👁️ モーション検知.....	🔍 072
📡 AF補助光.....	🔍 073
🔍 電子ズーム.....	🔍 073
🔊 操作音.....	🔍 074
🔌 オートパワーオフ.....	🔍 075
🗑️/🗑️ メモリー/カードの初期化 (フォーマット).....	🔍 076
🗣️ 言語/Language.....	🔍 077
VIDEO ビデオ出力.....	🔍 077
🔌 パソコン接続充電.....	🔍 078
👁️ 目つぶり検出設定.....	🔍 080
📶 Eye-Fi送信機能.....	🔍 082
🗑️ 設定クリアー.....	🔍 083

Ver. バージョン情報	🔍85
記録データのファイル名とフォルダー名	🔍86
別売アクセサリ	🔍87
警告メッセージ	🔍88

付録、索引	🔍1
取り扱い上のご注意	🔍2
カメラについて	🔍2
バッテリーについて	🔍3
本体充電ACアダプターについて	🔍5
メモリーカードについて	🔍5
お手入れ方法	🔍6
クリーニングについて	🔍6
保管について	🔍6
故障かな？と思ったら	🔍7
主な仕様	🔍13
このカメラの準拠規格	🔍16
索引	🔍17
アフターサービスについて	🔍21

各部の名称と基本操作

この章では、各部の名称のほか、各部の主な役割や基本操作について説明しています。

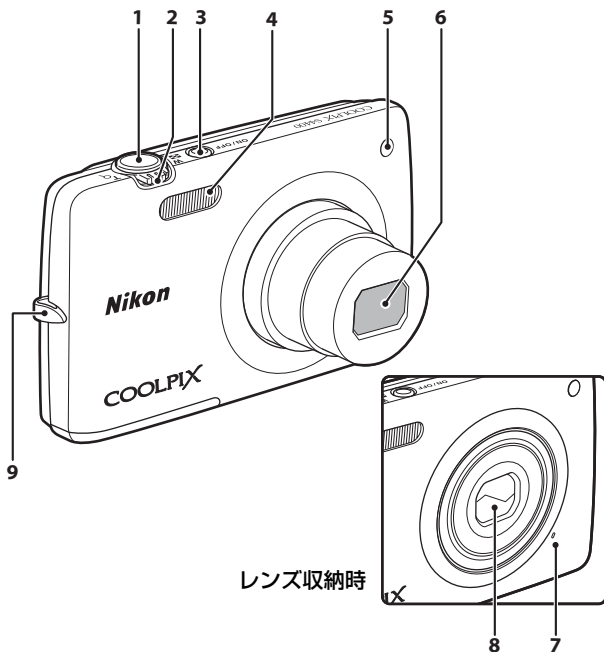
各部の名称	2
カメラ本体	2
タッチパネルの操作方法	4
タッチする	4
ドラッグする	4
ドラッグアンドドロップする	4
タッチペンについて	5
液晶モニター / タッチパネルの主な表示と基本操作	6
撮影モード（情報表示）	6
撮影モード（操作部）	7
再生モード（情報表示）	8
再生モード（操作部）	9
撮影モードと再生モードを切り換える	10
メニューを使う（MENU タブ）	11
シャッターボタンの使い方	13
ストラップの取り付け方	13

➡️ すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影と再生の基本ステップ」(□15) をご覧ください。

各部の名称

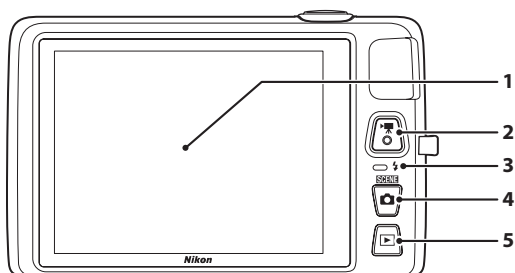
カメラ本体

各部の名称と基本操作

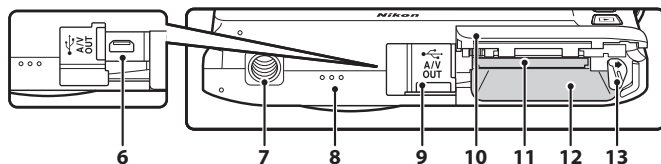


1	シャッターボタン13、30
2	ズームレバー29
	W : 広角ズーム29
	T : 望遠ズーム29
	: サムネイル表示33
3	Q : 拡大33
	電源スイッチ/電源ランプ
22、23、75

4	フラッシュ55
5	セルフタイマーランプ57
	AF補助光89、73
6	レンズ
7	マイク82、58
8	レンズバリアー2
9	ストラップ取り付け部13



端子カバー内



1	液晶モニター/タッチパネル6
2	● (動画撮影) ボタン82
3	充電ランプ19、79 フラッシュランプ55
4	📷 (撮影モード) ボタン10、26
5	▶ (再生) ボタン ...10、32、73
6	USB/オーディオビデオ出力端子18、76、27、30

7	三脚ネジ穴
8	スピーカー86、59
9	端子カバー18、76、27、30
10	バッテリー/SDカードカバー16、20
11	SDカードスロット20
12	バッテリー室16
13	バッテリーロックレバー16、17

タッチパネルの操作方法

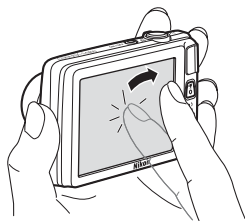
COOLPIX S4400の液晶モニターは、タッチパネルになっています。指や付属のタッチペンで画面をタッチして操作します。

タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。

以下の操作に使います。

- アイコンを選ぶ
- サムネイル表示中 (□33) に画像を選ぶ
- タッチシャッター、タッチAF/AEまたはターゲット追尾を使う (□39)
- 撮影時や再生時に MENU タブを操作してメニュー項目を表示する (□11)

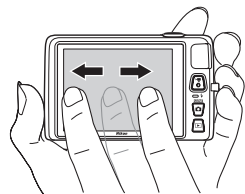


ドラッグする

タッチパネルに触れたまま動かし、離す動作です。

以下の操作に使います。

- 再生中 (1コマ表示時) (□32) に前後の画像を表示する
- 画像の拡大表示中 (□33) に表示範囲を移動する
- 露出補正 (□61) などのスライダー操作

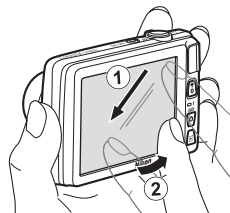


ドラッグアンドドロップする

タッチパネルに触れたまま、目的の場所まで動かして (①) 離す (②) 動作です。

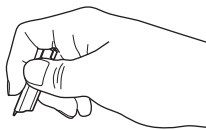
以下の操作に使います。

- ランク設定 (□74) をする



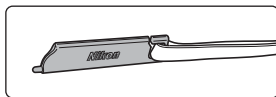
タッチペンについて

指では操作しにくいとき、手書きメモの入力 (□47) や画像にペイントするとき (□75) などは、タッチペンを使うと便利です。



タッチペンの取り付け方

タッチペンは図のようにストラップに取り付けできます。



☑ タッチパネルについてのご注意

- 付属のタッチペン以外の先のとがった硬い物で押さないでください。
- タッチパネルを必要以上に強く押ししたり、こすったりしないでください。

☑ タッチ/ドラッグするときのご注意

- タッチするときに、指をタッチパネルに触れたままにすると、適切に動作しないことがあります。
- ドラッグするときに、以下の操作をすると、適切に動作しないことがあります。
 - タッチパネルを弾く
 - 指を動かす距離が短すぎる
 - タッチパネルを軽くなでるように指を動かす
 - 指を動かす速度が速すぎる
- タッチするときに、タッチパネルの他の部分に何かが触れていると、適切に動作しないことがあります。

☑ タッチペンについてのご注意

- タッチペンは乳幼児の手の届くところには置かないでください。
- タッチペンを持って、カメラを持ち運ばないでください。タッチペンからストラップが外れて、カメラが落下することがあります。

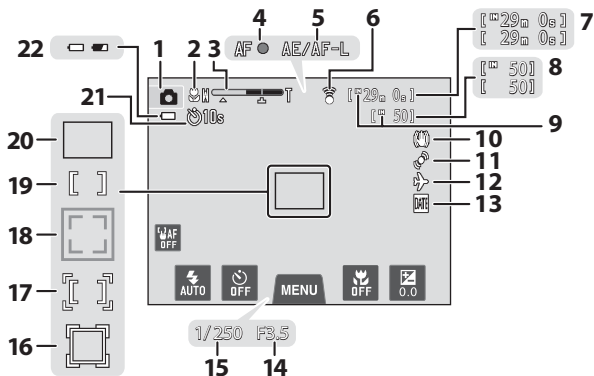
液晶モニター / タッチパネルの主な表示と基本操作

撮影モード (情報表示)

- 表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。

初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に表示の一部が消えます ([モニター設定] (88) → [モニター表示設定] → [情報AUTO] 時)。再表示するには、**DISP** をタッチします。

各部の名称と基本操作



1	撮影モード※1 ...38、41、50、51
2	マクロ領域表示 59
3	ズーム表示 29、59
4	AF表示 30
5	AE/AF-L表示 4
6	Eye-Fi通信表示 90、82
7	記録可能時間 (動画) 82
8	記録可能コマ数 (静止画)※2 ... 22
9	内蔵メモリー表示 22
10	手ブレ補正 89、71
11	モーション検知 89、72
12	訪問先 88、65

13	DATE 日時未設定 ..24、65、88
14	絞り値 30
15	シャッタースピード 30
16	AFエリア (ターゲット追尾時) ...39、38
17	AFエリア (タッチAF/AE時) 39、40
18	AFエリア (顔認識時、ペット検出時) 30、49、51
19	AFエリア (中央時)
20	AFエリア (オート) 30
21	セルフタイマー 57
22	バッテリー残量表示 22

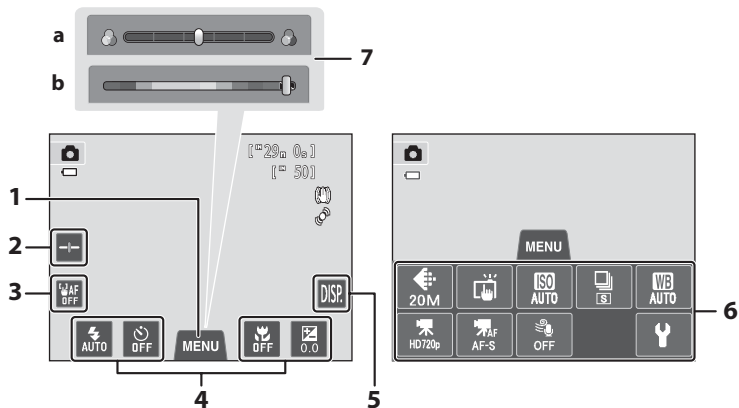
※1 アイコンは、撮影モードによって異なります。

※2 撮影できる残りのコマ数が50コマ以下になると、表示されます。

撮影モード（操作部）

以下のアイコンをタッチすると設定の切り換えなどができます。

- MENUタブをタッチするとメニュー項目が表示され、撮影時の設定を変更できます（[11](#)）。
- 撮影モードや設定状態などによって、操作できる項目や表示は異なります。



各部の名称と基本操作

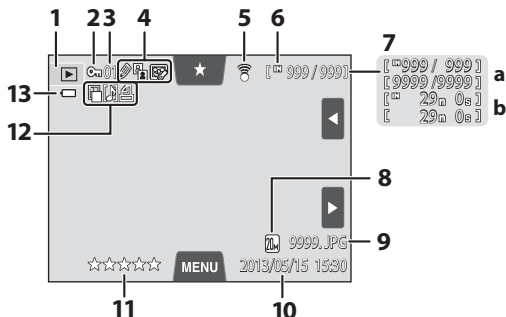
1	MENUタブ	11
2	スライダー表示	42、50
3	タッチAF/AE解除	40
4	撮影の基本設定	54

5	情報再表示	11
6	メニュー項目	11
7	a シーンエフェクト調整 スライダー	42
	b セレクトカラー調整スライダー	50

再生モード (情報表示)

- 表示される情報は、再生中の画像の種類やカメラの状態によって異なります。
- 初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に表示の一部が消えます ([モニター設定] (P88) → [モニター表示設定] → [情報AUTO] 時)。

各部の名称と基本操作



1	再生モード*1 32、72、5、9、11	6	内蔵メモリー表示32
2	プロテクト設定75、51	7	a 画像の番号/全画像数32
3	お気に入り項目表示*372、5	7	b 動画の再生時間86
	オート分類項目表示*372、9	8	画像モード*264
4	ペイント75、14	8	動画設定*2 85、62
	簡単レタッチ75、17	9	ファイル名86
	D-ライティング75、18	10	撮影日/撮影時刻24
	フィルター効果75、21	11	ランク表示74
	スリム効果75、19	12	スモールピクチャー75、24
	アオリ効果75、20		音声メモ75、59
5	メイクアップ効果75、23	13	プリント指定75、53
	美肌効果70、23		バッテリー残量表示22
5	Eye-Fi通信表示90、82		

*1アイコンは、再生モードによって異なります。

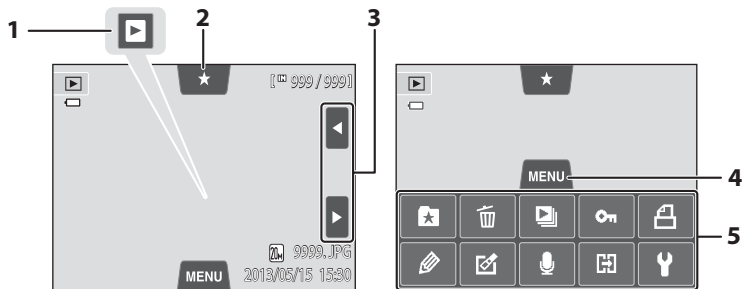
*2アイコンは、撮影時の設定によって異なります。

*3再生時に選んだお気に入りフォルダーやオート分類項目のアイコンが表示されます。

再生モード（操作部）

以下のアイコンをタッチすると設定の切り換えなどができます。

- MENUタブをタッチするとメニュー項目が表示され、削除や編集などできます（[11](#)）。
- 再生中の画像の種類や、カメラの状態によって、操作できる項目や表示は異なります。



各部の名称と基本操作

1	動画再生.....	86	4	MENUタブ.....	11
2	レーティングタブ.....	74	5	メニュー項目.....	12
3	前後の画像を表示.....	32			

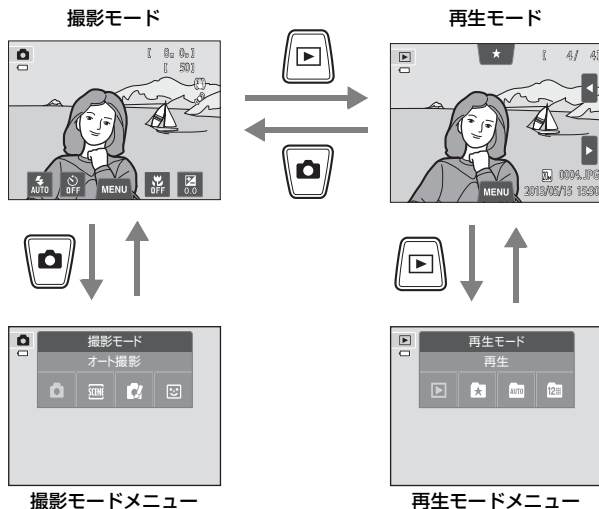
撮影モードと再生モードを切り換える

このカメラには、画像を撮影する「撮影モード」と、撮影した画像を再生する「再生モード」があります。

「再生モード」へ切り換えるには、▶ (再生) ボタンを押します。

「撮影モード」へ切り換えるには、📷 (撮影モード) ボタンを押します。

- 再生モードでシャッターボタン、または ● (▶ 動画撮影) ボタンを押しても、撮影モードになります。



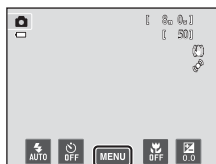
- 撮影モードで 📷 (撮影モード) ボタンを押すと、撮影モードの種類を選ぶ画面 (撮影モードメニュー) が表示されます (☞26)。
- 再生モードで ▶ (再生) ボタンを押すと、再生モードの種類を選ぶ画面 (再生モードメニュー) が表示されます (☞72)。
- 撮影モードや再生モードの種類を選ぶには、各モードのアイコンをタッチします。

メニューを使う (MENUタブ)

撮影モード時

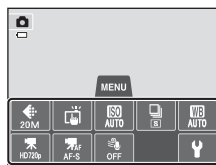
各撮影モードの設定を変更して撮影したいときに使います。

- 設定を変えて撮影するときは、撮影の前に設定してください。
- カメラに関する設定 (セットアップメニュー) も変更できます。



MENUタブをタッチする

- 使用中のモードで変更できるメニュー項目が表示されます。
- MENUタブが非表示のときは、**DISP**をタッチします。



メニュー項目をタッチする

- 選んだメニュー項目の設定画面が表示されま
- す。
- セットアップメニューを表示するには、**Y**をタッチします。
- 項目を非表示にするには、**MENU**タブをもう一度タッチします。



設定項目をタッチする

- 設定が確定されます。
- 設定画面を終了するには、**X**をタッチします。

再生モード時

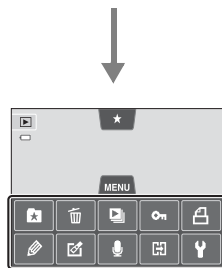
撮影した画像を削除したり、編集したりするときに使います。

- 設定の前に画像を選んでください。メニュー項目を選ぶ画面で画像をドラッグしても画像を選べます。
- カメラに関する設定（セットアップメニュー）も変更できます。



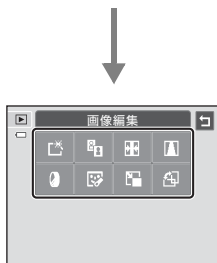
MENUタブをタッチする

- 使用中のモードで変更できるメニュー項目が表示されます。
- MENUタブが非表示のときは、モニターをタッチします。



メニュー項目をタッチする

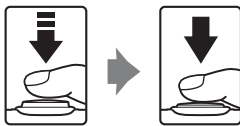
- 選んだメニュー項目の設定画面が表示されます。
- セットアップメニューを表示するには、Yをタッチします。
- 項目を非表示にするには、MENUタブをもう一度タッチします。



設定項目をタッチして設定する

- 直前の画面に戻るには、戻るボタンをタッチします。

シャッターボタンの使い方



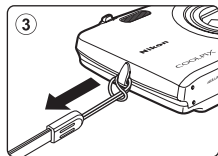
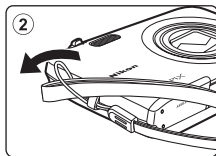
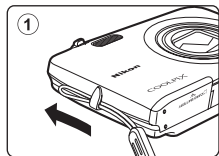
半押し：少し抵抗を感じるころまで押し、ピントと露出を固定する

全押し：深く押し込み、シャッターをきる

・画面をタッチしてもシャッターがきれます。

→ 「// タッチ撮影」(P.39)

ストラップの取り付け方





A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice. There are 15 lines in total, starting from the top right and extending to the bottom left.

撮影と再生の基本ステップ

準備

準備 1	バッテリーを入れる	16
準備 2	バッテリーを充電する	18
準備 3	SD カードを入れる	20



撮影

ステップ 1	電源を ON にする	22
	表示言語と日時を設定する (ご購入直後などに設定します)	24
ステップ 2	撮影モードを選ぶ	26
ステップ 3	カメラを構え、構図を決める	28
ステップ 4	ピントを合わせ、シャッターをきる	30

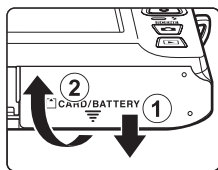


再生

ステップ 5	画像を再生する	32
ステップ 6	不要な画像を削除する	34

準備1 バッテリーを入れる

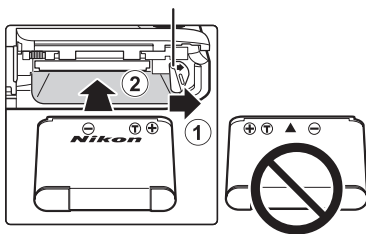
1 バッテリー /SDカードカバーを開ける



2 付属のバッテリー EN-EL19 (リチウムイオン充電電池) を入れる

- バッテリーの側面でオレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押しながら①、奥まで差し込みます②。
- 正しく入れると、バッテリーロックレバーでバッテリーが固定されます。

バッテリーロックレバー

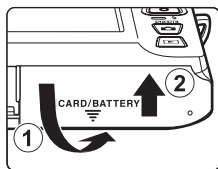


✓ 逆挿入に注意

バッテリーの向きを間違えると、カメラを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

3 バッテリー /SDカードカバーを閉じる

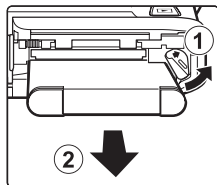
- ご購入直後やバッテリー残量が少なくなったときは、バッテリーを充電してからお使いください。→□18



バッテリーを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー /SDカードカバーを開けます。

オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押しと(①)、バッテリーが押し出されるので、まっすぐ引き抜きます(②)。



☑ 高温注意

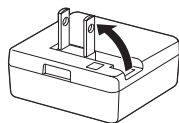
カメラを使った直後は、カメラやバッテリー、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

☑ バッテリーについてのご注意

- ・リチャージャブルバッテリーをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「危険」(☐viii)、「警告」(☐viii)の注意事項を必ずお守りください。
- ・「取り扱い上のご注意」(※2~※5)をよくお読みの上、内容を十分に理解してから正しくお使いください。

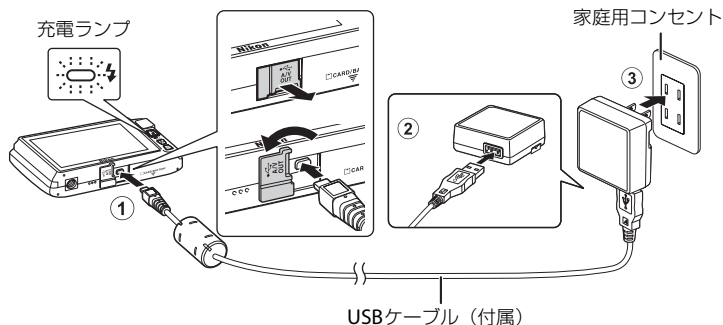
準備2 バッテリーを充電する

1 付属の本体充電ACアダプター EH-70Pを用意する



2 バッテリーを入れたカメラと本体充電ACアダプターを①～③の順に接続する

- 電源はOFFにしたままにしてください。
- プラグの挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。



- カメラの充電ランプが緑色でゆっくり点滅し、充電が始まります。
- 残量がないバッテリーの場合、フル充電までの時間は約2時間20分です。
- フル充電されると、充電ランプが消灯します。
- 充電ランプについて→□□19

3 コンセントから本体充電ACアダプターを外し、USBケーブルを外す

- カメラをEH-70Pでコンセントに接続しているときは、カメラの電源はONにできません。

充電ランプについて

充電ランプ	意味
ゆっくり点滅（緑色）	充電中です。
消灯	充電していません。ゆっくりした点滅（緑色）から消灯に変わると、充電の完了です。
速い点滅（緑色）	<ul style="list-style-type: none"> 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が 5℃～35℃の室内で充電してください。 USB ケーブルまたは本体充電 AC アダプターが正しく接続されていないか、バッテリーの異常です。正しく接続し直すか、バッテリーを交換してください。

▼ 本体充電ACアダプターについてのご注意

- 本体充電ACアダプターをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「警告」(P.76)、
「注意」(P.77)の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意」(P.2~5)をよくお読みの上、内容を十分に理解してから正しくお使いください。

✍ パソコンや充電器で充電する

- COOLPIX S4400をパソコンに接続してもLi-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL19を充電できます (P.76、P.78)。
- 別売のバッテリーチャージャー MH-66 (P.87) を使うと、カメラを使わずにEN-EL19を充電できます。

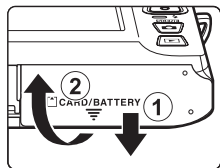
✍ AC電源について

- 別売のACアダプター EH-62G (P.87) を使うと、家庭用コンセント (AC 100 V) からこのカメラへ電源を供給して撮影または再生ができます。
- EH-62G以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

準備3 SDカードを入れる

1 電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー /SDカードカバーを開ける

- ・カバーを開けるときは、必ず電源をOFFにしてください。



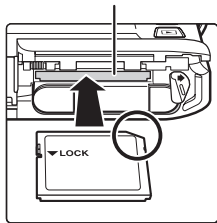
2 SDカードを入れる

- ・カチッと音がするまで差し込みます。

☑ 逆挿入に注意

SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

SDカードスロット



3 バッテリー /SDカードカバーを閉じる

☑ SDカードの初期化について

- ・他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。
- ・SDカードを初期化すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。カード内に必要なデータが残っているときは、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。
- ・SDカードを初期化するには、カードをカメラに入れ、セットアップメニュー（□88）の[カードの初期化]（□89）を選びます。

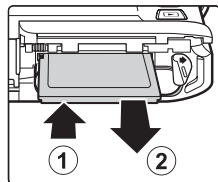
☑ SDカードについてのご注意

SDカードの説明書や「取り扱い上のご注意」の「メモリーカードについて」（☞5）をご覧ください。

SDカードを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー /SDカードカバーを開けます。

SDカードを指で軽く奥に押し込むと (①)、SDカードが押し出されるので、まっすぐ引き抜きます (②)。



⚠ 高温注意

カメラを使った直後は、カメラやバッテリー、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

内蔵メモリーとSDカードについて

撮影したデータは、カメラの内蔵メモリー (約71 MB)、またはSDカードのどちらかに記録されます。内蔵メモリーを使って記録や再生をするときはSDカードを取り出してください。

推奨SDカード

下記のSDカードの動作を確認しています。

- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

	SDメモリーカード	SDHCメモリーカード※2	SDXCメモリーカード※3
SanDisk	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB、128 GB
TOSHIBA	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Panasonic	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Lexar	—	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB、128 GB

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。

※2 SDHC 規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。

※3 SDXC 規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応している必要があります。

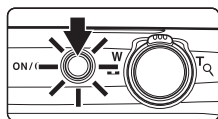
- 上記SDカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、カードメーカーにお問い合わせください。その他のメーカー製のSDカードは、動作の保証をいたしかねます。



ステップ1 電源をONにする

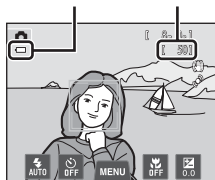
1 電源スイッチを押して電源をONにする

- はじめて電源をONにしたときは→「表示言語と日時を設定する」(□24)
- レンズが繰り出し、液晶モニターが点灯します。



2 バッテリー残量表示と記録可能コマ数を確認する

バッテリー残量表示 記録可能コマ数



バッテリー残量表示	意味
	バッテリー残量はあります。
	バッテリー残量が少なくなりました。 バッテリーの充電や交換の準備をしてください。
 電池残量が ありません	撮影できません。バッテリーを充電または交換してください。

記録可能コマ数

撮影できる残りのコマ数が50コマ以下になると、表示されます。

- SD カードをカメラに入れていないときは、 が表示され、画像を内蔵メモリー (約71 MB) に記録します。
- 記録可能コマ数は内蔵メモリーまたはセットしている SD カードのメモリー残量と画質/画像サイズ (画像モード) によって異なります (□65)。
- イラスト上の記録可能コマ数の数値は、実際とは異なります。

電源のON/OFFについて

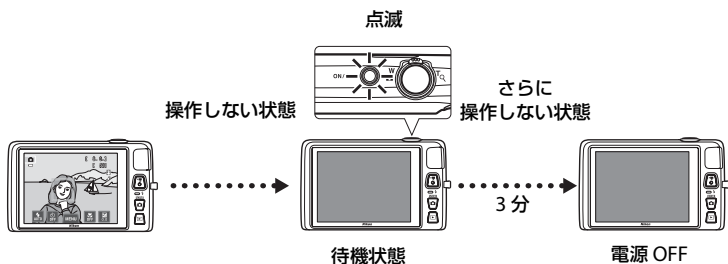
- 電源をONにすると、電源ランプ（緑色）が点灯し、液晶モニターが点灯します（液晶モニターが点灯すると、電源ランプは消灯します）。
- 電源をOFFにするには、電源スイッチを押します。電源ランプも、液晶モニターも消灯します。
- 再生モードで電源をONにするには、▶（再生）ボタンを長押しします。このとき、レンズは繰り出しません。

🔪 節電機能について（オートパワーオフ）

カメラを操作しない状態が続くと、液晶モニターが消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。

電源ランプの点滅中は、以下のボタンを押すと液晶モニターが再点灯します。

→ 電源スイッチ、シャッターボタン、📷ボタン、▶ボタン、または●（🎬動画撮影）ボタン



- 待機状態になるまでの時間は、セットアップメニュー（📖88）の [オートパワーオフ] で変更できます。
- 初期設定では、撮影時または再生時は、約1分で待機状態になります。
- ACアダプター EH-62G（別売）使用時は、30分（固定）で待機状態になります。

ステップ1 電源を ON にする

表示言語と日時を設定する

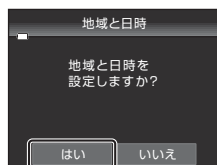
ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

1 表示言語をタッチする


- ・タッチパネルの操作方法→[4](#)



2 [はい] をタッチする

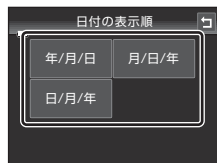


3 または をタッチして自宅のある地域（タイムゾーン）を選び、**OK** をタッチする



- ・夏時間を設定するには→[25](#)
- ・ をタッチすると、ひとつ前の画面に戻ります。



4 年月日の表示順をタッチする



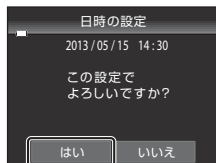
5 日時を合わせ、**OK** をタッチする

- ・変更したい項目をタッチし、 または  をタッチして日時を合わせます。






6 [はい] をタッチする

- 設定が完了すると、レンズが繰り出し、撮影画面になります。




夏時間の設定について

夏時間（サマータイム）制のある地域で、その期間中に日時を設定するときは、手順3の地域設定画面で  をタッチして、夏時間の設定をオンにします。

- 設定をオンにすると、画面上部に  マークが表示されません。オフにするには、 をタッチします。



言語や日時の設定をやり直すときは

- セットアップメニュー (□88) で [言語/Language] または [地域と日時] を設定します。
- セットアップメニュー → [地域と日時] → [タイムゾーン] で、夏時間の設定をオンにすると時計が1時間早くなり、オフにすると1時間戻ります。訪問先 (➡) のタイムゾーンを登録すると、自宅 (🏠) との時差を自動的に計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。
- 日時未設定のまま、日時の設定画面を終了すると、撮影画面で  が点滅します。セットアップメニュー → [地域と日時] で日時を設定してください。

時計用電池について

- カメラの内蔵時計は、カメラに入れるバッテリーとは別のバックアップ用電池で動いています。
- バックアップ用電池は、カメラにバッテリーを入れるか AC アダプターを接続すると、約10時間で充電され、数日間、設定した日時を記憶できます。
- バックアップ用電池が切れたときは、電源をONにすると、日時を設定する画面が表示されます。日時を再設定してください。→「表示言語と日時を設定する」(□24手順2)

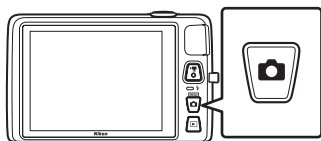
撮影日入りの画像をプリントするには

- 撮影前に、カメラの日時を正しく設定してください。
- セットアップメニュー (□88) で [デート写し込み] を設定すると、撮影時に、画像に日付を写し込めます。
- [デート写し込み] を設定しないで撮影した画像は、ソフトウェア「ViewNX 2」(□77) を使うと、日付を入れてプリントできます。



ステップ2 撮影モードを選ぶ

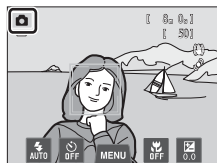
1 撮影時に ボタンを押す

- 撮影モードを選ぶ画面 (撮影モードメニュー) が表示されます。



2 アイコンをタッチして撮影モードを選ぶ

- ここでは、 (オート撮影) モードを例に説明します。 [オート撮影] をタッチしてください。
- 撮影画面の表示について→「液晶モニター/タッチパネルの主な表示と基本操作」(□□6)
- 選んだ撮影モードは電源を OFF にしても記憶されます。



撮影モードの種類

オート撮影 📖38

基本的な撮影ができます。また、撮影状況や撮影意図に合わせて撮影メニュー（📖39）の項目を設定できます。

シーン 📖41

撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。

- ・ シーンを選ぶには、撮影モードメニューで、設定したいシーンのアイコンをタッチします。

スペシャルエフェクト 📖50

画像に効果を付けて撮影できます。6種類の撮影効果から選べます。

- ・ 効果を選ぶには、撮影モードメニューで、設定したい効果のアイコンをタッチします。

ベストフェイス 📖51

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます（笑顔自動シャッター）。美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにできます。

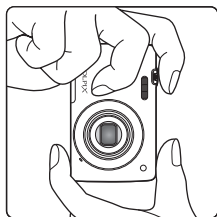
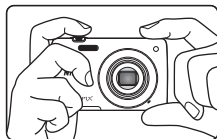
撮影モードで使える機能について

- ・ フラッシュモード、セルフタイマー、マクロモードまたは露出補正の設定ができます。
→ 「撮影の基本設定」（📖54）
- ・ MENU タブをタッチすると（📖11）、選んだ撮影モードに応じたメニュー項目が表示されます。撮影モードに応じたメニュー項目は、「いろいろな撮影」（📖37）をご覧ください。

ステップ3 カメラを構え、構図を決める

1 カメラを両手でしっかりと構える

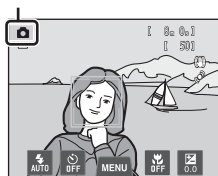
- レンズやフラッシュ、AF補助光、マイク、スピーカーなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。
- 縦位置で撮影するときは、フラッシュ発光部をレンズより上にしてください。



2 構図を決める

- カメラが人物の顔を認識したときは、顔に黄色い二重枠のAF（オートフォーカス）エリアが表示されます。
- 最大12人の顔を認識します。複数の顔を認識したときは、カメラに最も近い顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。
- 人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、AFエリアは表示されません。写したいもの（被写体）を画面の中央付近に合わせます。

撮影モードアイコン



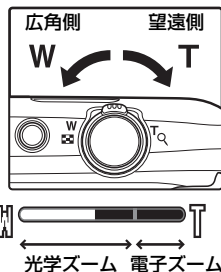
三脚の使用について

- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
 - 暗い場所で撮影するときや、フラッシュモード（□□56）を Ⓢ （発光禁止）にして撮影するとき
 - 望遠側で撮影するとき
- 三脚などに固定して撮影するとき、セットアップメニュー（□□89）の[手ブレ補正]を[OFF]にしてください。

ズームを使う

ズームレバーを回すと、光学ズームが作動します。

- ・ 被写体を大きく写す：T（望遠）方向に回す。
- ・ 広い範囲を写す：W（広角）方向に回す。
- ・ 電源をONにしたときは、最も広角側になっています。
- ・ ズームレバーを回すと、液晶モニター画面の上部にズームの量が表示されます。



電子ズームについて

光学ズームを最も望遠側（光学ズームの最大倍率）にして、さらにズームレバーをT方向に回し続けると、電子ズームが作動します。光学ズームの最大倍率の約4倍まで拡大できます。

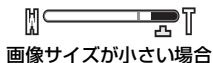


- ・ 電子ズーム使用時は、AF エリアは表示されず、画面中央でピントが合いません。

📎 電子ズームと画質の劣化について

電子ズームは光学ズームとは異なり、画像をデジタル処理で拡大するため、使用する画像モード（□□64）や電子ズーム倍率によって、画質が劣化します。

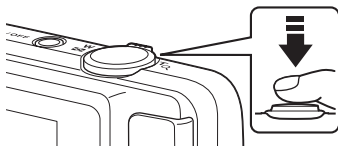
ズーム表示の凸マークは、静止画の撮影で画質の劣化が始まるズーム位置を示しています。このマークを越えてズーム倍率を上げると劣化が始まり、ズーム表示も黄色に変わります。凸マークの位置は画像サイズが小さいほど右に移動しますので、設定した画像モードで画質を劣化させずに静止画を撮影できるズーム位置を事前に確認できます。



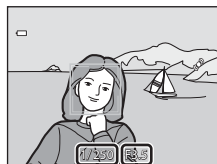
- ・ セットアップメニュー（□□89）の「電子ズーム」で、電子ズームが作動しない設定にできます。

ステップ4 ピントを合わせ、シャッターをきる

- 1 シャッターボタンを指先に少し抵抗を感じるところまで押し、そのまま止める（これを「半押し」といいます）

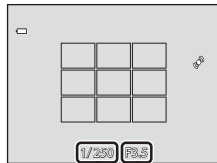


- 半押しすると、ピントと露出（シャッタースピードと絞り値の組み合わせ）が決まります。ピントと露出は、半押しを続けている間、固定されます。
- 顔認識した場合：
二重枠のAFエリアで囲まれた顔にピントが合います。ピントが合うと二重枠が緑色になります。



シャッター スピード 絞り値

- 顔認識していない場合：
9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します（最大9カ所）。



シャッター スピード 絞り値

- 電子ズーム使用時は、AF エリアは表示されず、画面中央でピントが合います。ピントが合うとAF表示（□6）が緑色に点灯します。
- 半押しして、AFエリアまたはAF表示が赤色に点滅したときはピントが合っていないません。構図を変えて、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。

- 2 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（これを「全押し」といいます）

- シャッターがきれ、画像が記録されます。
- シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがあります。ゆっくりと押し込んでください。



✔ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。バッテリー/SDカードカバーを開けたり、バッテリーやSDカードを取り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

✔ オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- ・ 被写体が非常に暗い
- ・ 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- ・ 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- ・ 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- ・ 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- ・ 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、等距離にある別の被写体でピントを合わせる方法（□40）をお試しください。

✔ 被写体との距離が近い場合

ピントが合わないときは、マクロモード（□59）またはシーンモードの「クローズアップ」（□46）での撮影をお試しください。

✔ 顔認識機能についてのご注意

「顔認識機能についてのご注意」（□69）をご覧ください。

✎ タッチシャッターについて

初期設定では、シャッターボタンを使わずに、画面上の被写体にタッチするだけでシャッターをきることができます（□39）。シャッターをきらずにタッチした被写体でピントと露出を合わせる「タッチAF/AE」に変更できます。

✎ AF補助光とフラッシュについて

暗い場所などでは、シャッターボタンを半押ししたときにAF補助光（□89）が点灯することや、全押ししたときにフラッシュ（□55）が発光することがあります。

✎ シャッターチャンス優先する撮影では

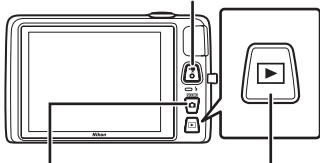
シャッターチャンスが重要な撮影では、半押しせずに、全押ししてもシャッターをきれません。

ステップ5 画像を再生する

1 再生ボタンを押す

- 撮影モードから再生モードに切り換わり、最後に保存した画像を1コマ表示します。

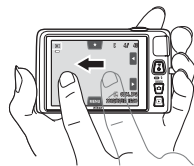
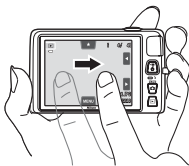
● (動画撮影) ボタン



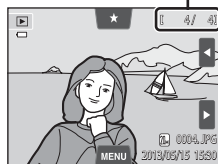
📷 (撮影モード) ボタン ▶ (再生) ボタン

2 画像をドラッグして前後の画像を表示する

- 前の画像を表示する：右へドラッグするか▶をタッチする
- 次の画像を表示する：左へドラッグするか◀をタッチする
- ▶または◀をタッチしたままにすると連続して表示を切り換えます。
- 内蔵メモリーに保存した画像を再生するときは、SDカードを取り出します。「画像の番号/全画像数」に📄が表示されます。
- 撮影に戻るには、📷ボタンまたはシャッターボタンを押します。● (動画撮影) ボタンを押しても戻ります。



画像の番号 / 全画像数






📄 画像の再生について

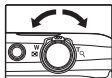
- 前の画像や次の画像に切り換えた直後は、表示が粗いことがあります。
- 顔認識 (📄68) またはペット検出 (📄49) して撮影した画像は、1コマ表示で再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます ([連写]、[BSS]、[マルチ連写] (📄39)、またはターゲット追尾 (📄39) で撮影した画像を除く)。
- 画像の向き (縦横位置) は、[画像回転] (📄75) で変更できます。

📄 関連ページ

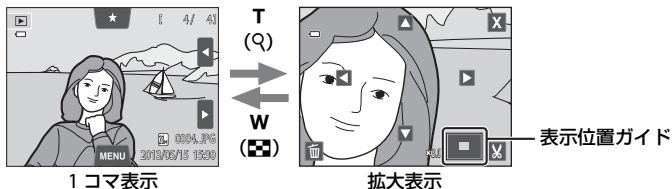
- 「再生モードで使える機能 (再生メニュー)」 (📄75)
- 「再生する画像を絞り込む」 (📄72)
















画像の表示方法を変更する

再生モードでズームレバー（**W** () / **T** ()）（2）を操作すると、画像の表示方法を変更できます。

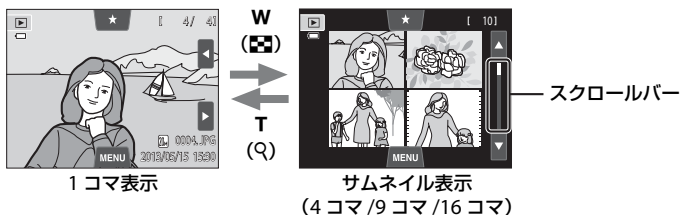






拡大表示



- 拡大率を調節するには、ズームレバー（**W** () / **T** ()）を操作します。約10倍まで拡大できます。
- 表示位置を移動するには、画像をドラッグするか、    をタッチします。
- 顔認識（68）またはペット検出（49）して撮影した画像は、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示されます（[連写]、[BSS]、[マルチ連写]、またはターゲット追尾で撮影した画像を除く）。複数の顔を認識していたときは、ピント合わせを行った顔を中心に拡大表示され、 または  をタッチすると表示する顔が切り換わります。さらに **T** () 方向または **W** () 方向に回すと拡大率が変わり、通常の拡大表示になります。
-  をタッチすると、画像を削除できます。
-  をタッチすると、拡大表示した部分だけを別画像として保存します（25）。
- **X** をタッチするか、画像を2回すばやくタッチすると、1コマ表示に戻ります。

サムネイル表示



- 複数の画像を同時に表示するので、目的の画像が探しやすくなります。
- 表示コマ数は、ズームレバー（**W** () / **T** ()）で変更できます。
-  または  をタッチするか、液晶モニターを上下にドラッグするか、またはスクロールバーを上下にドラッグすると、画面をスクロールします。
- 画像をタッチすると、選んだ画像を1コマ表示します。

ステップ6 不要な画像を削除する

- 1 削除したい画像を表示して、MENUタブをタッチしてメニュー項目を表示し(□□12)、**🗑**をタッチする



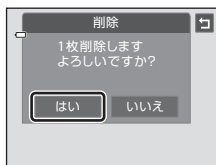
- 2 削除方法をタッチする

- [表示画像]：表示している1コマ、または動画(□□86)を削除します。
- [削除画像選択]：複数の画像を選んで削除します。
→「削除画像選択画面の操作方法」(□□35)
- [全画像]：すべての画像を削除します。
- サムネイル表示(□□33)にして手順1の操作をした場合は、[削除画像選択]または[全画像]から選びます。



- 3 削除の確認画面で [はい] をタッチする

- 削除した画像は、もとに戻せません。
- 削除をやめるには、**🛑**または [いいえ] をタッチします。









✔ 画像削除についてのご注意

- 削除した画像はもとに戻せません。残しておきたい画像は、パソコンに転送して保存するようおすすめします。
- プロテクト設定した画像は、削除されません(□□75)。

削除画像選択画面の操作方法

1 画像をタッチし、を表示する

- 選択を解除するには、もう一度画像をタッチしてを非表示にします。
- またはをタッチするか、またはスクロールバーを上下にドラッグすると、画面をスクロールします。
- またはをタッチするか、ズームレバーを**T** (Q) または**W** () 方向に回すと、画面に表示するコマ数を切り換えできます。



2 削除したい画像すべてにを表示し、**OK**をタッチして選択を決定する

- 確認画面が表示されます。画面の表示に従って操作してください。

削除する画像を絞り込むには

お気に入り再生モード、オート分類再生モードまたは撮影日一覧モードに切り換えると、お気に入りフォルダー、分類や撮影日ごとに画像を絞り込んで削除できます (CQ72)。

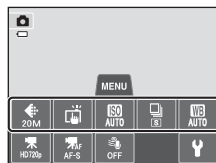
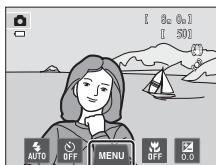
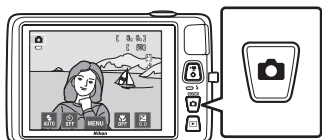


A series of horizontal dashed lines for handwriting practice, spanning the width of the page.

いろいろな撮影

この章では、各撮影モードの特徴や、撮影モードで使える機能などを説明しています。

撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変えると、撮影方法や画像の仕上がりを工夫できます。

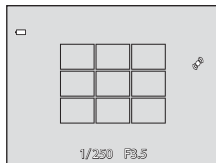


📷 (オート撮影) モード

基本的な撮影ができます。また、撮影状況や撮影意図に合わせて撮影メニュー (📖39) の項目を設定できます。

撮影画面にする → 📷 (撮影モード) ボタン → 📷 オート撮影モード (📖26~27)

- 顔を認識したときは、顔にピントが合います。→ 「顔認識撮影について」 (📖68)
- 顔を認識しないときは、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します (最大9カ所)。



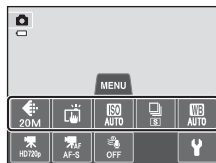
- [タッチシャッター] (初期設定) では、シャッターボタンを使わずに、画面上の被写体にタッチするだけでシャッターをきることができます (📖39)。シャッターをきらずにタッチした被写体でピントと露出を合わせる [タッチAF/AE] に変更できます (📖39)。
- ピントを合わせるAFエリアが被写体を追尾する [ターゲット追尾] も設定できます (📖39)。

📷 (オート撮影) モードの設定を変える

- フラッシュモード、セルフタイマー、マクロまたは露出補正の設定を変更できます。→ 「撮影の基本設定」 (📖54)
- MENUタブをタッチすると (📖11)、📷 (オート撮影) モードで設定できるメニュー項目が表示されます。→ 「オート撮影メニューの種類」 (📖39)

オート撮影メニューの種類

📷 (オート撮影) モードでは、以下の項目の設定が変更できます。



📷 (オート撮影) モードの撮影画面にする → MENUタブをタッチする (📖11)

項目	内容	📖
🔙 画像モード	記録する画像サイズと画質の組み合わせを選びます (📖64)。 初期設定は📷 [5152×3864] です。 この設定は、他の撮影モードにも適用されます。	64
📷/📷/📷 タッチ撮影	画面にタッチするだけでシャッターがきれる [タッチシャッター] (初期設定) と、画面をタッチしてAFエリアを選ぶ [タッチAF/AE]、またはAFエリアが被写体を追いかける [ターゲット追従] を切り換えます。	📷35
ISO ISO感度設定	ISO感度を高くするほど、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体ブレを軽減しやすくなります。[オート] (初期設定) では、カメラが自動でISO感度を設定します。	📷42
📷 連写	連続撮影の設定を [単写]、[連写]、[BSS] (📖47)、[マルチ連写] から選びます。初期設定は [単写] (1コマずつ撮影) です。[連写] に設定して、シャッターボタンを全押しし続けると、約0.9コマ/秒の速さで約6コマまで連写できます (画像モードが📷 [5152×3864] のとき)	📷43
WB ホワイトバランス	画像の色合いを見た目に近づけたいときなどに設定します。[オート] (初期設定) でほとんどの光源に対応できますが、思い通りの色合いにならないときは、天候や光源に合わせて設定してください。 ホワイトバランスを [オート]、[フラッシュ] 以外に設定したときは、フラッシュモード (📖55) を📷 (発光禁止) に設定してください。	📷44

🔪 組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります (📖66)。

📷 (オート撮影) モード

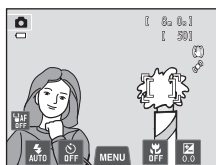
オートフォーカスが苦手な被写体を撮影するときは

オートフォーカスが苦手な被写体 (📷31) を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、以下の方法をお試しください。

- 1 📷 (オート撮影) モードに切り換えて (📷38)、タッチ撮影の設定を [タッチAF/AE] にする

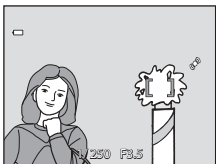


- 2 ピントを合わせたい被写体と等距離にある別の被写体にタッチする



- 3 シャッターボタンを半押しする

- ピントが合い、AFエリア表示が緑色に点灯します。
- 露出は、半押ししてピント合わせした被写体に合います。



- 4 半押ししたまま構図を変える

- 半押ししている間は被写体とカメラの距離を変えないでください。



- 5 シャッターボタンを全押しして撮影する



シーンモード（シーンに合わせて撮影する）

撮影シーンを以下から選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。

撮影画面にする → 📷（撮影モード）ボタン → 📷 シーンモード → シーンの選択
（☞26～27）

📷 おまかせシーン （☞43）	👤 ポートレート （☞43）	🏞️ 風景 （☞43）	🏃 スポーツ （☞44）
🌃 夜景ポートレート （☞44）	🎉 パーティー （☞44）	🏖️ ビーチ （☞45）	❄️ 雪 （☞45）
🔥 夕焼け （☞45）	🌅 トワイライト （☞45）	🌃 夜景 （☞46）	📄 クローズアップ （☞46）
🍴 料理 （☞46）	🎵 ミュージアム （☞47）	💣 打ち上げ花火 （☞47）	📄 モノクロコピー （☞47）
✍️ 手書きメモ （☞47）	🌅 逆光 （☞48）	🏞️ パノラマアシスト （☞48）	🐶 ペット （☞49）

📄 各シーンの説明を見るには（ヘルプ表示）

シーンを選ぶ画面で📄をタッチすると、[ヘルプ選択] 画面になります。シーンのアイコンをタッチすると、それぞれのシーンの特徴を表示できます。もとの画面に戻るには、🏠をタッチします。





シーンモードの設定を変える

- シーンによっては、フラッシュモード、セルフタイマー、マクロまたは露出補正の設定を変更できます。→「初期設定一覧」（☞62）
- MENU タブをタッチすると（☞11）、設定できるメニュー項目が表示されます。シーンモードでは[画像モード]（☞64）と[タッチ撮影]（☞39）の設定を変更できます（一部のシーンでは設定が固定され、変更できません）。
 - [画像モード] の設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります。
 - [タッチ撮影] は、[タッチシャッター]（初期設定）または[タッチ AF/AE] を選べます。

シーンモード（シーンに合わせて撮影する）

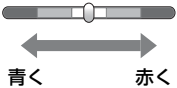
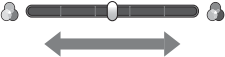
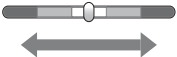
シーンエフェクトの調整

以下のシーンモードでは、をタッチするとシーンエフェクト調整スライダーが表示されます。

- シーンエフェクト調整スライダーをタッチまたはドラッグして、シーンの効果を調整できます。
- 調整が終わったら、をタッチしてシーンエフェクト調整スライダーを非表示にしてください。










シーンエフェクト
調整スライダー


🍴料理	 <p>青く 赤く</p>
🏞️風景、📷クローズアップ	 <p>鮮やかさを減らす 鮮やかさを増す</p>
🌅夕焼け、🌃トワイライト	 <p>青味強く 赤味強く</p>

シーンモードの種類と特徴

おまかせシーン

構図を決めるだけでカメラが以下の撮影シーンを自動判別して選ぶので、簡単にシーンに適した撮影ができます。

：ポートレート、：風景、：夜景ポートレート、：夜景、：クローズアップ、：逆光、：その他の撮影シーン

- シーンを自動判別すると、撮影画面の撮影モードアイコンが切り換わります。
- 自動判別した撮影シーンによって AF エリアが変わります。人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について→ [□□68](#)）。
- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、（オート撮影）モード（[□□38](#)）に切り換えるか、目的にあったシーンモードを選んで撮影してください。
- 電子ズームは使えません。

ポートレート

人物のポートレート撮影に使います。

- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（[□□68](#)）。
- 美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにします（[□□70](#)）。
- 顔を認識しないときは、シャッターボタンを半押しすると、画面中央でピントが合います。
- 電子ズームは使えません。

風景





自然の風景や街並みなどを、色鮮やかに撮影したいときに使います。

- シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（[□□30](#)）が緑色に点灯します。
- シーンエフェクト調整スライダーで色の鮮やかさを調整できます（[□□42](#)）。

シーンモード（シーンに合わせて撮影する）

☆ スポーツ



運動会などスポーツ写真を撮影するときに使います。動きのある被写体の一瞬の動きを連写（連続撮影）によって鮮明にとらえます。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッター（39）またはタッチ AF/AE（39）で、ピントが合うエリアを変えられます。
- 連写するには、シャッターボタンを全押しし続けます。約 0.9 コマ / 秒で最大 6 コマまで連写できます（画像モードが  [5152 × 3864] のとき）。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。
- 連写した画像のピント、露出および色合いは、1 コマ目を撮影した条件に固定されます。
- 画像モード、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- タッチシャッター（39）で撮影すると、1 コマずつの撮影になります。

夜景ポートレート







夕景や夜景をバックに人物を撮影するときに使います。

- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（68）。
- 美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにします（70）。
- 顔を認識しないときは、シャッターボタンを半押しすると、画面中央でピントが合います。
- 電子ズームは使えません。

宴会パーティー

パーティー会場などでの撮影に使います。キャンドルライトなどの背景を活かして、雰囲気のある画像に仕上げます。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッター（39）またはタッチ AF/AE（39）で、ピントが合うエリアを変えられます。
- 暗い場所では手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（89）の [手ブレ補正] を [OFF] にしてください。

⊗：⊗ が記載されているシーンでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（89）の [手ブレ補正] を [OFF] にしてください。

 ビーチ

晴天の海や砂浜を明るく鮮やかに撮影したいときに使います。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッター（[□□39](#)）またはタッチ AF/AE（[□□39](#)）で、ピントが合うエリアを変えられます。

 雪


雪景色を明るく鮮やかに撮影したいときに使います。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッター（[□□39](#)）またはタッチ AF/AE（[□□39](#)）で、ピントが合うエリアを変えられます。

 夕焼け

赤い夕焼けや朝焼けの撮影に使います。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- シーンエフェクト調整スライダーで色味を調整できます（[□□42](#)）。

 トワイライト

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中での風景撮影に使います。

- シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（[□□30](#)）が緑色に点灯します。
- シーンエフェクト調整スライダーで色味を調整できます（[□□42](#)）。

シーンモード（シーンに合わせて撮影する）

夜景



遅いシャッタースピードで夜景の雰囲気表現します。

- シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示 (□□30) が緑色に点灯します。

クローズアップ

草花や昆虫、小さな被写体などの接写（近接撮影）に使用します。

- マクロモード (□□59) が ON になり、ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッター (□□39) またはタッチ AF/AE (□□39) で、ピントが合うエリアを変えられます。
- シーンエフェクト調整スライダーで色の鮮やかさを調整できます (□□42)。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

料理




料理の撮影に使用します。

- マクロモード (□□59) が ON になり、ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッター (□□39) またはタッチ AF/AE (□□39) で、ピントが合うエリアを変えられます。
- シーンエフェクト調整スライダーで、照明によって被写体の色が変わる影響を調整できます (□□42)。料理モードのシーンエフェクトの調整は電源を OFF にしても記憶されます。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

⊗：⊗が記載されているシーンでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー (□□89) の [手ブレ補正] を [OFF] にしてください。

血 ミュージアム

フラッシュ撮影が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で使います。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッター（39）またはタッチ AF/AE（39）で、ピントが合うエリアを変えられます。
- シャッターボタンを全押しし続けると、最大 10 コマ連写し、最も鮮明に撮れている 1 コマだけをカメラが自動で選んで記録します（BSS（ベストショットセクター））。
- タッチシャッター（39）で撮影すると、BSS は作動しません。




🔥 打ち上げ花火

遅いシャッタースピードで、打ち上げ花火を撮影します。

- ピントは遠景に固定されます。
- シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（30）が緑色に点灯します。

📄 モノクロコピー


ホワイトボードや印刷物などの文字を、シャープに撮影したいときに使います。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッター（39）またはタッチ AF/AE（39）で、ピントが合うエリアを変えられます。
- 近くのを撮影するときは、マクロモード（59）を併用してください。

📝 手書きメモ

タッチパネルで文字や絵を描いて、画像として保存します。

保存される画像サイズは  [640×480] になります。

詳しくは「手書きメモの使い方」（62）をご覧ください。

シーンモード（シーンに合わせて撮影する）

☒ 逆光

逆光状態での撮影に使用します。フラッシュが常に発光し、人物が陰にならずに撮影できます。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。タッチシャッター（☐39）またはタッチ AF/AE（☐39）で、ピントが合うエリアを変えられます。

☒ パノラマアシスト



パノラマ写真用の画像を複数撮影し、パソコンでパノラマ写真に合成したいときに使用します（☞3）。

- 画像をつなげる方向（▲ ▼ ◀ ▶）をタッチして選びます。
- 1 コマ目を撮影したら、画面の表示でつなぎ目を確認しながら必要なコマ数を撮影します。撮影を終了するには、**X** をタッチします。
- 撮影した画像は、パソコンに取り込んで、ソフトウェア「Panorama Maker」（☐78、☞4）で合成してください。

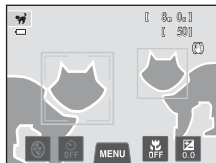
🐾 ペット

犬または猫の撮影に使用します。カメラが犬または猫の顔を検出し、その顔にピントを合わせます。ピントが合うと、初期設定では自動でシャッターをきり（ペット自動シャッター）、3コマ連写します。

- 検出した顔は、二重枠の AF エリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が緑色になります。

最大 5 匹の顔を同時に検出します。顔を複数検出したときは、画面内で最も大きい顔が二重枠の AF エリア表示で、それ以外の顔が一重枠で囲まれます。

- ペット検出していないときは、シャッターボタンでシャッターをきると、画面中央の被写体にピントが合います。



- MENU** タブをタッチしてメニュー項目を表示すると、ペットで撮影するときの **[連写]** の設定を変更できます。
 - **[単写]**：1 コマずつ撮影します。
 - **[連写]**（初期設定）：ペット自動シャッターが **[ON]** のときは、検出した顔にピントが合うと、3 コマ連写します（連写速度：画像モードが **[5152 × 3864]** のとき、約 1 コマ / 秒）。ペット自動シャッターを使わないときは、シャッターボタンを全押ししている間、約 0.9 コマ / 秒で最大 6 コマまで連写できます（画像モードが **[5152 × 3864]** のとき）。
 - MENU** タブをタッチしてメニュー項目を表示すると、**[ペット自動シャッター]** の設定を変更できます。
 - **[ON]**（初期設定）：検出した顔にピントが合うと自動でシャッターをきりません。
 - **[OFF]**：シャッターボタンまたは、タッチシャッター（**[39]**）でシャッターをきります。
 - 電子ズームは使えません。
 - ペットとの距離、ペットの動く速さ、顔の向きや明るさなど、撮影条件によっては、犬や猫を検出しないことや、犬や猫以外を検出することがあります。
 - 以下の場合は **[ペット自動シャッター]** が自動的に **[OFF]** になります。
 - 自動シャッターによる連写を 5 回繰り返したとき
 - 撮影中に内蔵メモリまたは SD カードの残量がなくなったとき
- [ペット自動シャッター]** での撮影を続けるときは、**MENU** タブ → **[ペット自動シャッター]** を **[ON]** に再設定してください。

スペシャルエフェクトモード(効果を付けて撮影する)

画像に効果を付けて撮影できます。

撮影画面にする → (撮影モード) ボタン → スペシャルエフェクトモード
→ 効果の選択 (□□26~27)

以下の6種類の効果の中から選べます。



種類	内容
SOFT ソフト	やわらかな雰囲気にするために、画像全体を少しぼかします。
SEPIA ノスタルジックセピア	セピア色でコントラストが低めの、昔の写真のような雰囲気にします。
硬調モノクローム	コントラストがはっきりした調子の白黒写真にします。
HI ハイキー	画像全体を明るいトーンで表現します。
LO ローキー	画像全体を暗いトーンで表現します。
セレクトカラー	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。

- ・ [セレクトカラー] を選んだときは、スライダーをタッチまたはドラッグして残したい色を選びます。
- ・ 色を選び終わったら、 をタッチしてスライダーを非表示にしてください。再表示するには、 をタッチします。






スペシャルエフェクトモードの設定を変える


- ・ フラッシュモード、セルフタイマー、マクロまたは露出補正の設定を変更できます。→ 「撮影の基本設定」 (□□54)
- ・ MENU タブをタッチすると (□□11)、設定できるメニュー項目が表示されます。スペシャルエフェクトモードでは [画像モード] (□□64) と [タッチ撮影] (□□39) の設定を変更できます。
 - [画像モード] の設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります。
 - [タッチ撮影] は、[タッチシャッター] (初期設定) または [タッチ AF/AE] を選べます。

ベストフェイスモード（笑顔を撮影する）

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます（笑顔自動シャッター）。美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにできます。


撮影画面にする → （撮影モード）ボタン →  ベストフェイスモード
（26～27）

1 構図を決め、シャッターボタンを押さずに笑顔を待つ

- カメラが人物の顔を認識すると、顔が黄色い二重枠のAFエリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が一瞬緑色になりピントが固定されます。
- 最大3人の顔を認識します。複数の顔を認識したときは、最も画面の中央に近い顔が二重枠のAFエリア表示で囲まれ、他の顔が一重枠で囲まれます。一重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔にAFエリアを変更できます。
- [笑顔自動シャッター]（53）により、カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- シャッターがきれるときに、顔認識と笑顔検出による自動撮影を繰り返します。



2 撮影を終了する

- 笑顔検出による自動撮影を終了するには、以下の操作を行います。
 - 電源をOFFにする
 - [笑顔自動シャッター] を [OFF] にする
 -  ボタンを押して他の撮影モードに切り換える

ベストフェイスモード（笑顔を撮影する）

✔ ベストフェイスモードについてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- 撮影条件などによっては、適切に顔の認識や笑顔の検出ができないことがあります。
- 「顔認識機能についてのご注意」 → 69

✎ 笑顔自動シャッター使用時の節電機能について

[笑顔自動シャッター] が [ON] のときは、カメラを操作しないまま以下の状態が続くと、オートパワーオフ（69）が作動して、電源がOFFになります。

- カメラが顔を認識しない。
- カメラが顔を認識していても、笑顔を検出できない。

✎ セルフタイマーランプについて

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅します。

✎ 手でシャッターをきるには

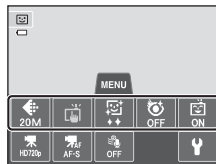
シャッターボタンを押してもシャッターがきれます。顔認識していないときは、画面中央の被写体にピントが合います。

ベストフェイスモードの設定を変える

- ・フラッシュ、セルフタイマーまたは露出補正の設定を変更できます。→「撮影の基本設定」（□□54）
- ・MENU タブをタッチすると（□□11）、ベストフェイスモードで設定できるメニュー項目が表示されます。→「ベストフェイスメニューの種類」（□□53）

ベストフェイスメニューの種類

ベストフェイスモードでは、以下の項目の設定が変更できます。



ベストフェイスモードの撮影画面にする → MENU タブをタッチする（□□11）

項目	内容	📖
🔙 画像モード	記録する画像サイズと画質の組み合わせを選びます（□□64）。 初期設定は📷 [5152×3864] です。 この設定は、他の撮影モードにも適用されます。	64
📷/👆 タッチ撮影	画面にタッチするだけでシャッターがきれる [タッチシャッター]（初期設定）と、画面をタッチしてAFエリアを選ぶ [タッチAF/AE] を切り換えます。	👓35
👤 美肌効果	美肌の効果を設定します。人物の顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。効果の度合いを選べます。初期設定は [標準] です。	👓47
👁️ 目つぶり軽減	[ON] にすると、撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。[ON] にすると、フラッシュは使えません。初期設定は [OFF] です。	👓48
👤 笑顔自動シャッター	[ON]（初期設定）にすると、顔認識した人物の笑顔を検出するたびに、カメラが自動でシャッターをきります。セルフタイマーは同時に使えません。	👓48

🔗 組み合わせて使えない機能

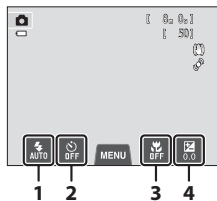
他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります（□□66）。

撮影の基本設定

撮影時にモニター下のアイコンをタッチすると、以下の機能を設定できます。

- 1 フラッシュモード
- 2 セルフタイマー
- 3 マクロモード
- 4 露出補正

・アイコンが非表示のときは **DSP** をタッチします。



設定できる機能の種類

設定できる機能は、撮影モードによって、以下のように異なります。

・各撮影モードの初期設定は「初期設定一覧」(□62)をご覧ください。

機能				
フラッシュモード (□55)	○	※1	○	○※2
セルフタイマー (□57)	○		○	○※2
マクロ (□59)	○		○	×
露出補正 (□61)	○		○	○

※1 シーンによって異なります。→「初期設定一覧」(□62)

※2 ベストフェイスメニューの設定によって異なります。→「初期設定一覧」(□62)

組み合わせて使えない機能

フラッシュを使う（フラッシュモード）

フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

1 フラッシュモードアイコンをタッチする



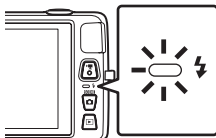
2 設定したいフラッシュモードのアイコンをタッチする

- ・フラッシュモードの種類→56
- ・ひとつ前の画面に戻るには、フラッシュの設定アイコンをタッチします。
- ・他の設定アイコンをタッチすると、タッチした設定の画面になります。



3 構図を決めて撮影する

- ・シャッターボタンを半押しすると、フラッシュランプでフラッシュの状態を確認できます。
 - 点灯：シャッターボタンを全押しすると、発光します。
 - 点滅：フラッシュの充電中です。撮影できません。
 - 消灯：発光しません。
- ・バッテリー残量が少なくなると、フラッシュの充電中は液晶モニターが消灯します。



フラッシュの光が届く距離

フラッシュの光が十分に届く距離は、広角側で約0.5～4.5 m、望遠側で約1.0～2.4 mです（ISO感度設定がオート時）。

フラッシュモードの種類



AUTO

自動発光

暗い場所などで、自動的にフラッシュを発光します。



赤目軽減自動発光

人物撮影に適しており、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減できます。



発光禁止

フラッシュは発光しません。

- ・ 暗い場所で撮影するときは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。



強制発光

被写体の明るさに関係なく、フラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。



スローシンクロ

自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせることで撮影します。夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。



フラッシュモードの設定について

- ・ 設定は、撮影モードによって異なります。
 - 「初期設定一覧」(□□62)
 - 「設定できる機能の種類」(□□54)
- ・ 他のメニュー設定と組み合わせることで使えない機能があります(□□66)。
- ・ 📷 (オート撮影) モードの場合、変更したフラッシュモード設定は、電源をOFFにしても記憶されません。



赤目軽減自動発光について

このカメラは、「アドバンスド赤目軽減方式」を採用しています。画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。撮影する際は、以下にご注意ください。

- ・ 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- ・ 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ・ ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

セルフタイマーを使う

記念撮影など自分も一緒に写りたいときや、シャッターボタンを押す操作による手ブレを軽減したいときは、セルフタイマーが便利です。タイマー時間は10秒と2秒から選べます。セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（[189](#)）の[手ブレ補正]を[OFF]にしてください。

1 セルフタイマーアイコンをタッチする



2 10sまたは2sをタッチする

- 10s（10秒）：記念撮影などに適しています。
- 2s（2秒）：手ブレの軽減に適しています。
- 設定したセルフタイマーモードが表示されます。
- ひとつ前の画面に戻るには、セルフタイマーの設定アイコンをタッチします。
- 他の設定アイコンをタッチすると、タッチした設定の画面になります。



3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。



4 シャッターボタンを全押しする

- セルフタイマーが作動し、シャッターがきれるまでの秒数が液晶モニターに表示されます。作動中はセルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは [OFF] になります。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。



セルフタイマーについてのご注意

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります (66)。

マクロ（接写）モードを使う

最短で、レンズ前約5 cmまでの被写体にピント合わせができます。
草花などの小さな被写体を大きく写したいときなどに便利です。

1 マクロモードアイコンをタッチする



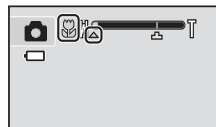
2 ONをタッチする

- ひとつ前の画面に戻るには、マクロの設定アイコンをタッチします。
- 他の設定アイコンをタッチすると、タッチした設定の画面になります。



3 ズームレバーを操作し、マークやズーム表示が緑色になるズーム位置にする

- 被写体に近づいて撮影できる距離は、ズーム位置によって異なります。
マークやズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約10 cmまでの被写体にピント合わせができます。最も広角側のズーム位置（△マークの位置）では、レンズ前約5 cmまでの被写体にピント合わせができます。



撮影の基本設定

✔ フラッシュ撮影についてのご注意

撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

📎 オートフォーカスについて

静止画を撮影する場合、マクロモードにすると、シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、オートフォーカスによるピント合わせを自動的に繰り返します。常にピントを合わせる動作音がします。

📎 マクロモードの設定について

- 撮影モードによっては、マクロモードを使えません。→「初期設定一覧」(□62)
- 他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります(□66)。
- 📷(オート撮影)モードの場合、マクロモードの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

明るさを調整する（露出補正）

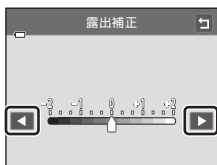
露出補正を設定して撮影すると、画像全体の明るさを明るく、または暗く調整できます。

1 露出補正アイコンをタッチする



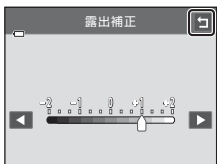
2 ◀または▶をタッチして補正値を変更する

- 被写体を明るくしたいとき：補正値を「+」側に設定します。
- 被写体を暗くしたいとき：補正値を「-」側に設定します。
- スライダーバーをドラッグしても補正値を変更できます。
- 何も操作しないまま数秒経過すると、撮影画面に戻ります。



3 シャッターボタンを押して撮影する

- 撮影せずに設定画面を終了するには、**ESC**をタッチします。
- 露出補正を解除するときには、手順1に戻って補正値を [0] にして **ESC**をタッチしてください。



露出補正の設定について

（オート撮影）モードの場合、露出補正の設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。


- ・ シーンモードについては、次ページをご覧ください。

	フラッシュ (□55)	セルフタイ マー (□57)	マクロ (□59)	露出補正 (□61)
 (オート撮影)	 AUTO	OFF	OFF	0.0
 (スペシャルエフェクト)	 AUTO	OFF	OFF	0.0
 (ベストフェイス)	 AUTO ※ ¹	OFF ※ ²	OFF ※ ³	0.0

※1 [目つぶり軽減] が [ON] のときは使えません。

※2 [笑顔自動シャッター] を [OFF] にすると設定できます。


※3 変更できません。

- ・  (オート撮影) モードの場合、設定した内容は、電源をOFFにしても記憶されます (セルフタイマーを除く)。

シーンモードの初期設定は以下のとおりです。

	フラッシュ (□55)	セルフタイマー (□57)	マクロ (□59)	露出補正 (□61)
 (□43)	 ※ ¹ AUTO	OFF	— ※ ³	0
 (□43)	 ※ ²	OFF	OFF ※ ²	0
 (□43)	 ※ ²	OFF	OFF ※ ²	0
 (□44)	 ※ ²	OFF ※ ²	OFF ※ ²	0
 (□44)	 ※ ⁴	OFF	OFF ※ ²	0
 (□44)	 ※ ⁵	OFF	OFF ※ ²	0
 (□45)	 AUTO	OFF	OFF ※ ²	0
 (□45)	 AUTO	OFF	OFF ※ ²	0
 (□45)	 ※ ²	OFF	OFF ※ ²	0
 (□45)	 ※ ²	OFF	OFF ※ ²	0
 (□46)	 ※ ²	OFF	OFF ※ ²	0
 (□46)	 ※ ²	OFF	ON ※ ²	0
 (□46)	 ※ ²	OFF	ON ※ ²	0
 (□47)	 ※ ²	OFF	OFF	0
 (□47)	 ※ ²	OFF ※ ²	OFF ※ ²	0 ※ ²
 (□47)	 ※ ²	OFF	OFF	0
 (□47)	—	—	—	—
 (□48)	 ※ ²	OFF	OFF ※ ²	0
 (□48)	 ※ ²	OFF	OFF	0
 (□49)	 ※ ²	— ※ ⁶	OFF	0

※1 判別したシーンに合わせて、カメラが自動でフラッシュモードを設定します (□55)。

 (発光禁止) に変更できます。

※2 変更できません。

※3 クローズアップに判別されると、マクロモードになります (□59)。

※4 赤目軽減スローシンクロ強制発光に固定されます。

※5 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。

※6 セルフタイマーは使えません。ペット自動シャッターのON/OFFを設定できます (□49)。

組み合わせで使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせで使えない機能があります (□66)。












◀ 画像サイズ（画像モード）を変える

撮影メニューの「画像モード」で、記録時の画像サイズ（画像の大きさ）と画質（画像の圧縮率）の組み合わせを選べます。

撮影画面にする → MENUタブをタッチする → ◀ 画像モード

画像の用途や内蔵メモリー/SDカードの残量に合わせて設定してください。画像サイズの大きい画像モードほど、大きくプリントするのに適していますが、記録できるコマ数は少なくなります。



画像モード（画像サイズ/画質）の種類

画像モード※	内容
 5152×3864★	 よりも高画質な画像になります。圧縮率は約1/4です。
 5152×3864 (初期設定)	ファイルサイズと画質のバランスが良く、一般的な撮影に適した画像モードです。圧縮率は約1/8です。
 3648×2736	
 2272×1704	
 1600×1200	 、  、  よりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。圧縮率は約1/8です。
 640×480	電子メールへの添付や画面の縦横比が4：3のテレビへの表示に適しています。圧縮率は約1/8です。
 5120×2880	縦横比が16：9の画像を撮影できます。圧縮率は約1/8です。

※ 記録データの総画素数と長辺×短辺の画素数を表しています。

例： 5152×3864 は、約20メガピクセル＝5152×3864ピクセル








画像モードの設定について

- （オート撮影）モード以外の撮影モードでも、MENUタブをタッチしてメニュー項目を表示し、をタッチすると設定できます。
- 設定は、他の撮影モードにも適用されます。
- 他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります（□□66）。

記録可能コマ数

4 GBのSDカードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量のSDカードでも、カードの種類によって、記録可能コマ数が異なることがあります。

内蔵メモリー（約71 MB）使用時の記録可能コマ数の目安は、撮影時の画面でご確認ください。

画像モード	SDカード※1、2（4 GB）	プリント時の大きさ※3
 5152×3864★	約350コマ	約43×32 cm
 5152×3864	約710コマ	約43×32 cm
 3648×2736	約1400コマ	約31×23 cm
 2272×1704	約3490コマ	約19×14 cm
 1600×1200	約6650コマ	約13×10 cm
 640×480	約26300コマ	約5×4 cm
 5120×2880	約950コマ	約43×24 cm






※1 撮影画面では、撮影できる残りのコマ数が50コマ以下になると、記録可能コマ数が表示されません（□□22）。

※2 再生画面の画像の番号/全画像数の表示は、記録したコマ数が10,000コマ以上になると、10,000コマ目以降は「9999」となります。

※3 出力解像度を300 dpiに設定した場合のサイズです。
ピクセル数÷プリンター解像度（dpi）× 2.54 cm で計算しています。同じ画像サイズでも、高い解像度で印刷すると印刷サイズは小さくなり、低い解像度で印刷すると、印刷サイズは大きくなります。

組み合わせて使えない機能

撮影時の設定には、他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。

制限される機能	設定	内容
フラッシュ	連写 (☐39)	[連写]、[BSS]、[マルチ連写] にして撮影するときは、フラッシュは使えません。
	目つぶり軽減 (☐53)	[目つぶり軽減] が [ON] のときは、フラッシュは使えません。
セルフタイマー	ターゲット追尾 (☐39)	タッチ撮影を [ターゲット追尾] にすると、セルフタイマーは使えません。
マクロモード	ターゲット追尾 (☐39)	タッチ撮影を [ターゲット追尾] にすると、マクロモードは使えません。
画像モード	連写 (☐39)	[マルチ連写] で撮影するときは、[画像モード] は  (画像サイズ：2560×1920ピクセル) に固定されます。
	ISO感度設定 (☐39)	[ISO感度設定] を [3200] にして撮影するときは、選べる [画像モード] は、  [2272×1704]、  [1600×1200]、  [640×480] に制限されます。これらの画像サイズ以外に設定していたときに [ISO感度設定] を [3200] にすると、  [2272×1704] に変更されます。
ISO感度設定	連写 (☐39)	[マルチ連写] で撮影するときは、[ISO感度設定] は明るさに応じて自動的に設定されます。
連写	セルフタイマー (☐57)	セルフタイマーで撮影するときは、[単写] に固定されます。
	タッチシャッター (☐39)	タッチシャッターを使うと1コマずつの撮影になります。
モーション検知	ターゲット追尾 (☐39)	ターゲット追尾で撮影するときは、[モーション検知] は作動しません。
	連写 (☐39)	[マルチ連写] で撮影するときは、[モーション検知] は作動しません。
	ISO感度設定 (☐39)	ISO感度を [オート] 以外にすると、[モーション検知] は作動しません。

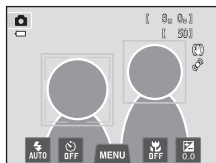
制限される機能	設定	内容
目つぶり検出設定	連写 (📖39)	[連写]、[BSS]、[マルチ連写] にして撮影するときは、目つぶり検出しません。
電子ズーム	連写 (📖39)	[マルチ連写] にして撮影するときは、電子ズームは使えません。
	ターゲット追尾 (📖39)	タッチ撮影を [ターゲット追尾] にすると、電子ズームは使えません。

✔ 電子ズームについてのご注意

- 撮影モードや設定によっては、電子ズームを使えません (👓73)。
- 電子ズーム使用時は、画面中央でピント合わせを行います。

顔認識撮影について

以下の撮影モードでは、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。顔を複数認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。



撮影モード	認識する顔の数	AFエリア（二重枠）
📷（オート撮影）モード（□38） シーンモード（□41）の [おまかせシーン]、 [ポートレート]、 [夜景ポートレート]	最大12人	カメラに最も近い顔
ベストフェイスモード（□51）	最大3人	画面中央に最も近い顔

- 📷（オート撮影）モードでは、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。
- [おまかせシーン] では、自動判別した撮影シーンによってAFエリアが変わります。
- [ポートレート]、[夜景ポートレート]、またはベストフェイスモードでは、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。
- 一重枠で囲まれた顔をタッチすると、タッチした顔にAFエリアを変更できます（□39）。
- ターゲット追尾では、顔認識して枠で囲まれた顔をタッチすると、タッチした顔でターゲット追尾が始まります（□39）。

✓ 顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなど撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。また、以下のような場合は、顔を認識できません。
 - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
 - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえずぎている
- 複数の人物がいた場合、どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどによっても異なります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」(□□31)の撮影では、二重枠が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。ピントが合わないときは、等距離にある別の被写体でピントを合わせる方法(□□40)をお試しください。

✍ 顔認識撮影した画像の再生について

- 再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます([連写]、[BSS]、[マルチ連写])(□□39)、またはターゲット追尾(□□39)で撮影した画像を除く)。
- 1コマ表示でズームレバーをT(Q)方向に回すか、画像を2回すばやくタッチすると、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示されます(□□33)([連写]、[BSS]、[マルチ連写])(□□39)、またはターゲット追尾(□□39)で撮影した画像を除く)。

美肌機能について

以下の撮影モードでは、シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し（最大3人）、画像処理で顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。

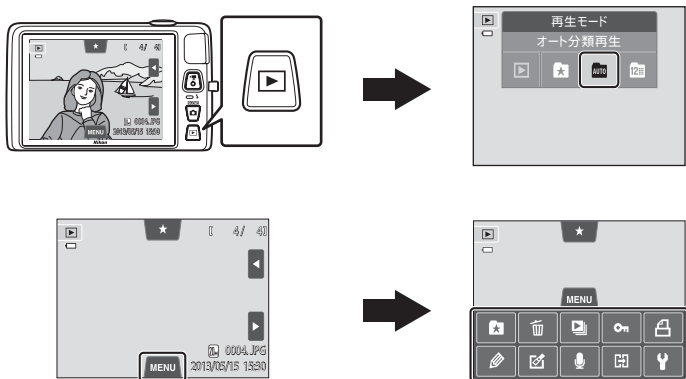
- シーンモードの [おまかせシーン] (□43)、[ポートレート] (□43) または [夜景ポートレート] (□44)
- ベストフェイスモード
- 撮影後にも、記録した画像に [メイクアップ効果] で [美肌] などの編集ができます (□75)。

✔ 美肌機能についてのご注意

- 美肌機能を使って撮影する場合は、画像の記録時間が通常より長くなる場合があります。
- 撮影条件によっては、撮影時の画面でカメラが顔を認識していても、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。望ましい効果が得られない場合は、[美肌効果] を [OFF] にして撮影し直してください。
- シーンモードの [ポートレート]、[夜景ポートレート] では、美肌効果の度合いは設定できません（シーンモードの ☞ [おまかせシーン] で切り換わった場合を含む）。

いろいろな再生

この章では、再生する画像を絞り込む方法や再生時に使える機能について説明しています。











いろいろな再生

再生する画像を絞り込む

再生モードの種類を切り換えると、画像を絞り込んで再生できます。

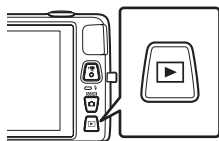
再生モードの種類

- | | | |
|---|----------------|--|
|  | 再生 |  32 |
| <p>画像を絞り込まずに、撮影したすべての画像を再生します。撮影モードから再生モードに切り換えると、このモードになります。</p> | | |
|  | お気に入り再生 |  5 |
| <p>お気に入りフォルダーに登録した画像のみを再生します。このモードに切り換える前に、お気に入りフォルダーへの画像登録が必要です (375)。</p> | | |
|  | オート分類再生 |  9 |
| <p>撮影した画像は、人物、風景、動画などの項目別に自動で分類されます。同じ分類の画像のみを再生します。</p> | | |
|  | 撮影日一覧 |  11 |
| <p>同じ撮影日の画像のみを再生します。</p> | | |

再生モードの切り換え方法

1 再生時に▶ボタンを押す

- 再生モードの種類を選ぶ画面（再生モードメニュー）が表示されます。



2 設定したい再生モードのアイコンをタッチする

- ▶（再生）を選んだときは、再生画面になります。
- ▶（再生）以外を選んだときは、お気に入りフォルダー、分類、または撮影日の選択画面になります。
- 再生モードを切り換えずに再生モードに戻るには、▶ボタンを押します。



3 お気に入りフォルダー、分類、または撮影日をタッチする

- お気に入り再生 → 005
- Auto オート分類再生 → 009
- 12日 撮影日一覧 → 011
- お気に入りフォルダー、分類、または撮影日を選び直すときは、手順1から繰り返してください。

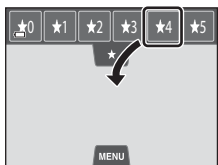


オート分類再生
モードのとき

画像にランクを設定する（レーティング）

画像にランク（5段階）を設定すると、同じランクの画像だけに絞り込んで再生できます。

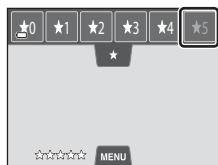
- ランクを設定するには、1コマ表示またはサムネイル表示（**33**）でレーティングタブをタッチし、設定したいランクのアイコンを画像にドラッグアンドドロップします。
- ランクを変更するには、別のランクをドラッグアンドドロップします。
- ランクの設定を解除するには、★0をドラッグアンドドロップします。
- 1コマ表示のときは、☆の数でランクを確認できます。
- ランクの設定中は、画像をドラッグすると画像の切り換えができます。ズームレバー（**W** **Q**）を操作することで拡大表示またはサムネイル表示への切り換えもできます。



ランク別に再生する

1コマ表示またはサムネイル表示で、レーティングタブをタッチし、再生したいランクのアイコンをタッチします。

- タッチしたランクのアイコンが黄色になり、そのランクに設定されている画像だけが表示されます。複数のランクを選べます。
- 選んだランクを解除するには、解除したいランクをタッチします。
- ランク別の再生をやめるには、すべてのランクを解除します。



✔ ランク設定についてのご注意

- 1つのランクに設定できる画像は999コマまでです。
- COOLPIX S4400で設定したランク（レーティング情報）は、パソコンで利用できません。

再生モードで使える機能（再生メニュー）

1コマ表示中に**MENU**タブをタッチすると、以下のメニュー項目が表示されます。

- メニュー操作をするには、項目をタッチします（☞12）。



項目	内容	📖
📁 お気に入り登録	お気に入り再生モード以外では、画像をお気に入りフォルダーへ登録します。お気に入り再生モードでは、お気に入りフォルダーから画像の登録を解除します。	👁️5
🗑️ 削除※ ¹	画像や動画を削除します。	34
📺 スライドショー※ ¹	内蔵メモリー/SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。	👁️49
🔒 プロテクト設定※ ¹	大切な画像を誤って削除しないように、プロテクト（保護）します。	👁️51
🖨️ プリント指定※ ¹	SDカードに記録した画像をプリンターでプリントするときに、どの画像を何枚プリントするかを設定します。	👁️53
🖌️ ペイント※ ²	撮影した画像に絵を描いたり、スタンプを押ししたりできます。	👁️14
✂️ 画像編集※ ²	撮影した画像を編集できます。編集機能には🔍 [簡単レタッチ]、📄 [D-ライティング]、📏 [スリム効果]、📏 [アオリ効果]、📏 [フィルター効果]、📏 [メイクアップ効果]、📏 [スモールピクチャー]があります。	👁️12
	🔄 [画像回転] で、撮影後にカメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定できます。	👁️57
🎧 音声メモ	撮影した画像に、カメラのマイクを使って音声メモを付けます。音声メモの再生や削除もできます。	👁️58
📄 画像コピー※ ¹ 、 ³	内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。	👁️60

※¹ サムネイル表示にしても設定できます。お気に入り再生、オート分類再生または撮影日一覧モードでサムネイル表示に切り換えたときは、選んだフォルダー、分類または撮影日の画像だけを対象に設定ができます。

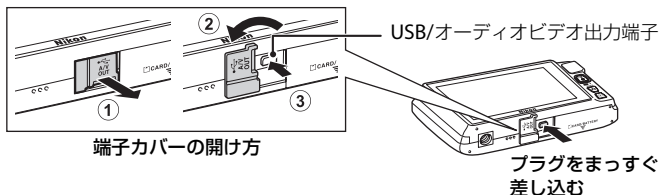
※² [画像回転]を除き、画像を編集し、元画像とは別に保存します。[画像モード]（☞64）を📏 [5120×2880]にして撮影した画像の編集ができない、同じ種類の編集の繰り返しができないなどの制限があります（👁️12、👁️13）。

※³ お気に入り再生モード、オート分類再生モード、撮影日一覧モードのときは、選べません。

テレビ、パソコン、プリンターとの接続

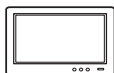
テレビやパソコン、プリンターに接続すると、撮影した画像や動画をいろいろな方法で楽しむことができます。

- 外部機器と接続するときは、カメラのバッテリー残量が充分にあることを確認し、必ず、カメラの電源をOFFにしてから接続してください。また、接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書も併せてお読みください。



テレビで鑑賞する

🔗27



撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。
接続方法：別売のオーディオビデオケーブル（AVケーブル）EG-CP14の映像プラグと音声プラグをテレビの外部入力端子に接続します。

パソコンで閲覧、管理する

📖77



パソコンに転送すると、静止画や動画の再生だけではなく、簡易編集や画像データの管理ができます。
接続方法：付属のUSBケーブルをパソコンのUSB端子に接続します。

- パソコンと接続する前に付属 CD-ROM「ViewNX 2」を使って、ViewNX 2 をパソコンにインストールしてください。付属 CD-ROM「ViewNX 2」の使い方、パソコンへの簡単な転送手順については、79 ページをご覧ください。
- パソコンから電源を供給するタイプの他の USB 機器がパソコンに接続されているときは、接続する前にそれらの機器をパソコンから取り外してください。同時に接続すると動作に不具合が発生したり、パソコンからの供給電力が過大になり、カメラ、SD カードなどが壊れるおそれがあります。

パソコンを使わずにプリントする

🔗29



PictBridge対応プリンターと接続すると、パソコンを使わずに画像をプリントできます。
接続方法：付属のUSBケーブルをプリンターのUSB端子に接続します。

ViewNX 2を使う

ViewNX 2は、画像や動画の転送、閲覧、編集、共有、これら全てを可能とするオールインワンソフトです。

付属CD-ROM「ViewNX 2」からインストールできます。



ViewNX 2をインストールする

・ インストールにはインターネットに接続できる環境が必要です。

対応OS

Windows

Windows 8、Windows 7、Windows Vista、Windows XP

Macintosh

Mac OS X 10.6、10.7、10.8

対応OSに関する最新情報、動作環境の詳細は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

1 パソコンを起動し、付属CD-ROM「ViewNX 2」をCD-ROMドライブに入れる

- ・ Windows：ディスク（CD-ROM）に対する操作の指示が画面に表示されたときは、画面の指示に従って [Welcome] を開きます。
- ・ Mac OS：[ViewNX 2] ウィンドウが表示されるので、ウィンドウ内の [Welcome] アイコンをダブルクリックします。

2 [言語選択] ダイアログで言語を選択し、[Welcome] ウィンドウを開く

- [言語選択] ダイアログのメニューに選択したい言語がない場合は、[地域選択] をクリックし、地域を選択してから言語を選択してください。
- [次へ] をクリックすると、[Welcome] ウィンドウが開きます。



3 インストールを開始する

- インストールをする前に、[Welcome] ウィンドウの [インストールガイド] をクリックして、インストール方法のヘルプと動作環境を確認することをおすすめします。
- [Welcome] ウィンドウの [インストール (推奨)] をクリックします。

4 ソフトウェアをダウンロードする

- [ソフトウェアのダウンロード] 画面が表示されたら、[同意して、ダウンロード開始] をクリックします。
- 画面の指示に従ってインストールを続けてください。

5 インストール終了画面が表示されたら、インストールを終了する

- Windows : [はい] をクリックします。
- Mac OS : [OK] をクリックします。

以下のソフトウェアがインストールされます。

- ViewNX 2 (以下の3つのモジュールで構成されています)
 - Nikon Transfer 2 : 画像をパソコンに取り込みます
 - ViewNX 2 : 取り込んだ画像の閲覧、編集、印刷ができます
 - Nikon Movie Editor : 取り込んだ動画の簡易編集ができます
- Panorama Maker (シーンモードのパノラマアシストを使って撮影した画像をパノラマ写真に合成します)

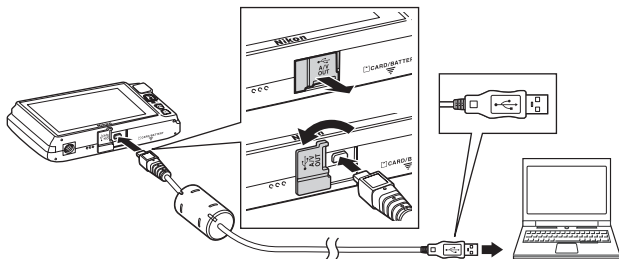
6 CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す

パソコンに画像を取り込む

1 画像の入ったSDカードを用意する

SD カード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込めます。

- SD カードを入れたカメラの電源をOFF にしてから、付属のUSB ケーブルでカメラとパソコンを接続する。カメラの電源が自動的にON になります。内蔵メモリー内の画像を取り込むには、カメラにSD カードを入れずにパソコンに接続します。



- カードスロットを装備したパソコンのときは、カードスロットに直接SD カードを差し込む。
- 市販のカードリーダーをパソコンに接続して、SD カードをセットする。

起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2 を選びます。

・ Windows 7 をお使いの場合

右の画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。

- 1 [画像とビデオのインポート] の [プログラムの変更] をクリックすると表示される画面で、[画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用] を選んで、[OK] をクリックする
- 2 [画像ファイルを取り込む] をダブルクリックする



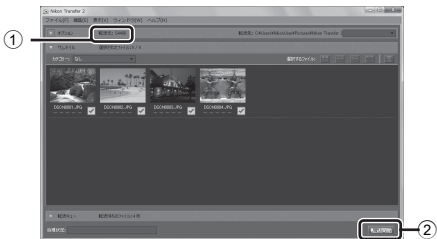
SDカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる場合があります。Nikon Transfer 2が起動するまでお待ちください。

☑ USBケーブル接続についてのご注意

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

2 画像をパソコンに取り込む

- Nikon Transfer 2 の [オプション] の [転送元] に、接続したカメラ名またはリムーバブルディスクのデバイス名が表示されていることを確認します (①)。
- [転送開始] ボタンをクリックします (②)。



- 記録されているすべての画像がパソコンに取り込まれます (ViewNX 2 の初期設定)。

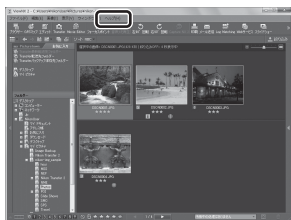
3 接続を解除する

- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFFにして、USB ケーブルを抜きます。
- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはSDカードを取り外してください。

画像を見る

ViewNX 2 を起動する

- 画像の取り込みが終わると、ViewNX 2 が自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。
- ViewNX 2 の詳しい使い方は、ViewNX 2 のヘルプを参照してください。

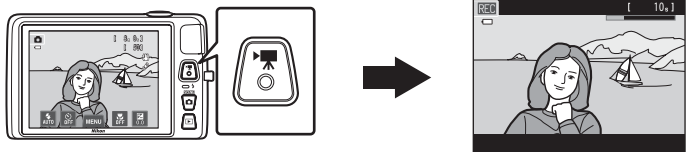


ViewNX 2 を手動で起動するには

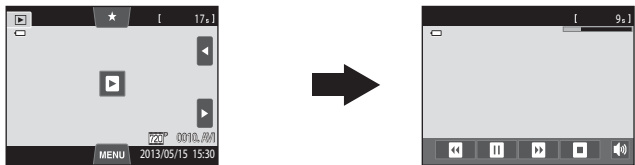
- Windows : デスクトップの [ViewNX 2] のショートカットアイコンをダブルクリックします。
- Mac OS : Dock の [ViewNX 2] アイコンをクリックします。

動画を撮影、再生する

- (📹動画撮影) ボタンを押すだけで、動画を撮影できます。



再生モードで▶をタッチすると、動画を再生します。



動画を撮影、再生する

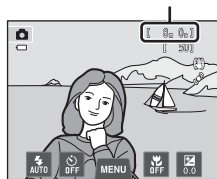
動画を撮影する

- (● 動画撮影) ボタンを押すだけで、すぐに動画を撮影できます。色合いやホワイトバランスなどの静止画の設定は、動画にも引き継がれます。
- 1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズが2 GBまで、または最長29分までです (84)。
- SDカードを入れていないとき(内蔵メモリ使用時)は、[動画設定] (85) の初期設定は **VGA [VGA (640×480)]** になります。 **HD720P [HD 720p (1280×720)]** は選べません。

1 電源をONにして、撮影画面を表示する

- 動画は、どの撮影モード (26) を選んでいても撮影できます(手書きメモを除く)。
- ※ イラスト上の記録可能時間の数値は、実際とは異なります。

動画の記録可能時間※



2 ● (● 動画撮影) ボタンを押して、動画の撮影を開始する

- 液晶モニターが一度消灯した後、動画撮影が開始します。
- 画面中央でピントが合います。動画の撮影中は、AFエリアは表示されません。
- [動画設定] (85) が **HD720P [HD 720p (1280×720)]** (初期設定) の場合、撮影画面の縦横比が16:9に切り換わります(右の画面の範囲で記録されます)。
- セットアップメニューの[モニター設定] (88) の[モニター表示設定]を[動画枠+情報AUTO]にすると、動画撮影開始前に動画撮影範囲の枠を画面に表示できます。



- 記録可能な残り時間の目安を液晶モニターで確認できます。内蔵メモリへの記録中は、**100**が表示されます。
- 記録可能な残り時間が無くなると、撮影が自動的に終了します。

3 ● (● 動画撮影) ボタンを押して撮影を終了する

✔ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。バッテリー /SDカードカバーを開けたり、バッテリーやSDカードを取り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

✔ 動画撮影についてのご注意

- 動画をSDカードに記録するときは、SDスピードクラスがClass 6以上のSDカードをおすすめします (□21)。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- [動画設定] を [HD 720p (1280×720)] にして動画を撮影したときは、画角 (写る範囲) が静止画に比べて狭くなります。
- 光学ズームの倍率は、動画の撮影を開始すると変更できません。
- 動画の撮影中は、ズームレバーで電子ズームを操作できます。ズームできる範囲は、撮影開始前の光学ズーム倍率から4倍までです。
- 電子ズームを使うと画質が劣化します。電子ズームは、動画撮影を終了するとキャンセルされます。
- ズームレバーなどの操作音、オートフォーカス、手ブレ補正、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画の撮影では、液晶モニターにスミア (※3) が発生すると、記録される動画にもスミアの影響が残ります。スミアの影響を避けるため、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします
- 撮影距離やズーム倍率によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す被写体 (布地や建物の格子窓など) に色の着いた縞模様 (干渉縞、モアレ) が現れることがあります。これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で故障ではありません。

✔ オートフォーカスについてのご注意

- [動画AFモード] がAF-S [シングルAF] (初期設定) の場合、● (● 動画撮影) ボタンで撮影を開始したときに、ピントは固定されます (□85)。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」(□31) では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を動画で撮影するときは、以下の方法をお試しください。
 1. 撮影前に [動画AFモード] をAF-S [シングルAF] (初期設定) にする。
 2. 等距離にある別の被写体を画面中央に配置して● (● 動画撮影) ボタンを押し、動画撮影を開始してから構図を変える。

動画を撮影する

✓ カメラの温度について

- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなる場合があります。
- 動画撮影中にカメラ内部が極端に高温になると、30秒後に撮影が自動終了します。
自動終了までの残りの秒数（🕒30s）が画面に表示されます。
自動終了後、5秒後に電源もOFFになります。
カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。



📎 動画の記録可能時間

設定	SDカード (4 GB) ※ ²
📺720p HD 720p (1280×720)	約15分
📺VGA VGA (640×480)	約45分
📺QVGA QVGA (320×240)	約2時間45分

数値はおおよその目安です。同じ容量でもSDカードの種類によって記録可能時間は異なります。

内蔵メモリー（約71 MB）使用時の記録可能時間の目安は、撮影時の画面でご確認ください。

- ※1 内蔵メモリー使用時は、📺720p [HD 720p (1280×720)] は選べません。
- ※2 1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ2GBまで、または最長29分までです。撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。

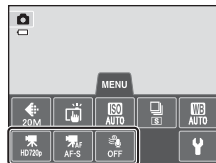
📎 動画撮影で使える機能

- 露出補正、ホワイトバランス（📷（オート撮影）モード時）、シーンエフェクト調整スライダー（シーンモード時）または効果の色合い（スペシャルエフェクトモード時）の設定も撮影する動画に反映します。マクロモードのときは、より被写体に近づいて動画を撮影できます。動画の撮影を開始する前に設定を確認してください。
- セルフタイマー（🕒57）を使えます。セルフタイマーを設定してから、●（📷動画撮影）ボタンを押すと、画面中央でピントが合い、10秒または2秒後に動画撮影を開始します。
- フラッシュは発光しません。
- 動画の撮影を開始する前に MENU タブをタッチすると、動画メニューの設定ができます（🕒85）。

動画撮影の設定を変える（動画メニュー）

撮影画面にする → MENUタブをタッチする (📖11)

以下のメニュー項目の設定が変更できます。



項目	内容	📖
🔊 動画設定	<p>撮影する動画の種類を📺720P [HD 720p (1280×720)] (初期設定)、VGA [VGA (640×480)]、QVGA [QVGA (320×240)] から選べます。</p> <p>📺720P [HD 720p (1280×720)] を選ぶと、16:9の動画を撮影できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 内蔵メモリー使用時は、初期設定がVGA [VGA (640×480)] になります。 	🎮62
🎧 AF 動画AFモード	<p>動画撮影開始時のピントに固定するAF-S [シングルAF] (初期設定)、または動画撮影中にピント合わせを繰り返すAF-F [常時AF] を選べます。AF-F [常時AF] にすると、ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、AF-S [シングルAF] での撮影をおすすめします。</p>	🎮62
🌀 風切り音低減	<p>動画の撮影時にマイクに吹き付ける風の音を抑えて記録するかどうかを [ON] または [OFF] (初期設定) から設定します。</p>	🎮63

動画を再生する

再生モード (□32) で動画を選び、**▶** をタッチする

- **▶** が表示されている画像が動画です。
- 動画が再生されます。
- **MENU** タブをタッチしてメニュー項目を表示し、**🔊** をタッチすると、再生前に音量を調節できます。



動画再生中の操作

再生中に液晶モニターをタッチすると、画面下に操作パネルが表示されます。操作パネルのアイコンをタッチすると、以下の操作ができます。

動画再生中



機能	アイコン	内容
音量	🔊	タッチすると、音量を調節できます。
巻き戻し	◀	タッチしている間、巻き戻します。
早送り	▶	タッチしている間、早送りします。
一時停止	⏸	タッチすると、一時停止します。 一時停止中に以下の操作ができます。
		◀ タッチすると、1コマ戻ります。触れ続けると、連続してコマ戻しします。
		▶ タッチすると、1コマ進みます。触れ続けると、連続してコマ送りします。
	▶ 画面中央に表示される ▶ をタッチすると、再生を再開します。	
再生終了	⏹	タッチすると、1コマ表示に戻ります。

✓ 動画再生について

COOLPIX S4400以外で撮影した動画は再生できません。

🔊 音量の調節について

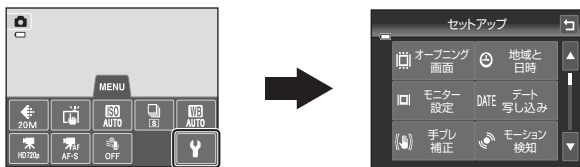
再生中にズームレバー **T/W** (□2) を回しても音量の調節ができます。

✂ 動画の削除について

「ステップ6 不要な画像を削除する」→□34


カメラに関する基本設定

この章では、**Y**セットアップメニューで設定できる項目の種類を説明しています。











- メニュー画面の基本操作については、「メニューを使う (MENU タブ)」(□11) をご覧ください。
- 設定できる項目のより詳しい説明は、「詳細編 セットアップメニュー」(664) をご覧ください。














セットアップメニュー

MENUタブをタッチする →  をタッチする (□11)


以下のメニュー項目の設定が変更できます。



項目	内容	
 オープニング画面	[COOLPIX] を選ぶと、電源ON時に、オープニング画面 (COOLPIXロゴ) を表示してから、撮影/再生画面を表示します。[撮影した画像] を選ぶと、オープニング画面として撮影した画像を表示します。	 64
 地域と日時	内蔵時計の日時を設定します。[タイムゾーン] では、ご使用の地域や夏時間 (サマータイム) を設定します。また、訪問先 (➡) のタイムゾーンを登録すると、自宅 (🏠) との時差を自動計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。	 65
 モニター設定	撮影画面や再生画面に情報を表示するかどうかを選びます。構図を決める参考になる格子線を表示する [格子線+情報AUTO] も選べます。初期設定は、[情報AUTO] です。また、撮影後の画像表示や画面の明るさを設定します。	 68
DATE データ写し込み	撮影時に画像に撮影日時を写し込んで記録します。初期設定は、[OFF] です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 以下の場合は日付を写し込みません。 <ul style="list-style-type: none"> - シーンモードの [パノラマアシスト] にしたとき - 動画のとき 	 70

項目	内容	
 手ブレ補正	撮影時に手ブレの影響を軽減します。 初期設定は、[ON] です。 ・ 三脚などでカメラを固定するときは、補正機能の誤動作を防ぐため [OFF] にしてください。	 71
 モーション検知	静止画の撮影時に被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。 初期設定は、[AUTO] です。	 72
 AF補助光	[AUTO] 時は、暗い場所などでオートフォーカスによるピント合わせを補助するAF補助光 (□□2) が点灯します。 初期設定は、[AUTO] です。 ・ AF 補助光が届く距離は、広角側で約 1.9 m、望遠側で約 1.1 m です。 ・ AF 補助光の設定に関わらず、AF エリアの位置やシーンモードによっては点灯しません。	 73
 電子ズーム	[ON] 時は、光学ズームが最も望遠側にある状態でズームレバーをT (Q) 方向に回すと、電子ズームが作動します (□□29)。 初期設定は、[ON] です。	 73
 操作音	操作時に電子音を鳴らすかどうかを設定します。 [設定音] および [シャッター音] の初期設定は [ON] です。 ・ 撮影モードなどの設定によっては、電子音は鳴りません。	 74
 オートパワーオフ	節電のために液晶モニターが消灯するまでの時間を設定します。 初期設定は、[1分] です。	 75
 メモリーの初期化/カードの初期化 (フォーマット)	SDカードを入れていないときは内蔵メモリーを、SDカードを入れているときはSDカードを初期化(フォーマット)します。 ・ 初期化すると内蔵メモリーまたはSDカード内のデータはすべて削除され、もとに戻せません。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに保存してください。	 76

セットアップメニュー

項目	内容	
 言語/Language	画面に表示する言語を設定します。	 77
VIDEO ビデオ出力	テレビと接続するときのビデオ出力方式を [NTSC] と [PAL] から選べます。	 77
 パソコン接続 充電	[AUTO] (初期設定) 時は、パソコンと接続すると、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内のバッテリーを充電します。 ・パソコンで充電する場合、本体充電 AC アダプター EH-70P 使用時に比べて、充電に時間がかかります。また、画像を転送しながら充電すると、充電に時間がかかります。	 78
 目つぶり検出 設定	ベストフェイスモード以外で顔認識撮影 (□68) した直後、被写体の人物が目を閉じている可能性をカメラが検出すると [目つぶり確認] 画面が表示され、撮影した画像を確認できます。 初期設定は、[OFF] です。	 80
 Eye-Fi送信機能	市販のEye-Fiカードによるパソコンへの画像送信機能を有効にするかどうか設定します。 初期設定は [無効] です。	 82
 設定クリアー	カメラを初期設定にリセットします。 [地域と日時]、[言語/Language] など、基本設定の一部はリセットされません。	 83
Ver バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。	 85



詳細編

詳細編では、機能の詳細や使い方のヒントなどを記載しています。


撮影

- 手書きメモの使い方 003
- パノラマアシストの使い方 003

再生

- お気に入り再生モード 005
- オート分類再生モード 009
- 撮影日一覧モード 011
- 画像の編集（静止画） 012
- テレビとの接続（テレビ画面での再生） 027
- プリンターとの接続（ダイレクトプリント） 029


メニュー

- 撮影メニュー（（オート撮影）モード） 035
- ベストフェイスメニュー 047
- 再生メニュー 049
- 動画メニュー 062
- セットアップメニュー 064


資料

- 記録データのファイル名とフォルダー名 086
- 別売アクセサリ 087
- 警告メッセージ 088










手書きメモの使い方

タッチパネルで文字や絵を描いて、画像として保存します。保存される画像サイズは [640×480] になります。

1 撮影モードを [手書きメモ] にする




- 撮影モードをシーンモードの[手書きメモ]に設定する方法は「シーンモード(シーンに合わせて撮影する)」をご覧ください。→41

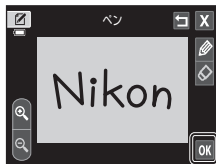
2 文字や絵を描く

-  (ペン) をタッチして、文字や絵を描きます(15)。
-  (消しゴム) をタッチすると、文字や絵を消せます(15)。
-  をタッチするか、ズームレバーを**T** (Q) 方向に回すと、画像を全画面に表示し、もう一度 をタッチするか、ズームレバーを**T** (Q) 方向に回すと、3倍に拡大表示できます。表示範囲を移動するには、 をタッチします。拡大表示を終了するには、 をタッチするか、ズームレバーを**W** () 方向に回します。



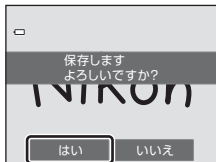
3 をタッチする

-  をタッチする前に、 をタッチすると、ペン、消しゴムで行った動作を取り消して、ひとつ前の状態に戻ります(最大5回前まで)。
-  をタッチすると確認画面が表示されます。
[はい] をタッチすると、描いた内容を保存せずに終了します。



4 [はい] をタッチする


- メモが保存されます。







パノラマアシストの使い方

三脚を使うと、構図を合わせやすくなります。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー(□89)の[手ブレ補正]を[OFF]にしてください。

1 撮影モードを [パノラマアシスト] にする

- ・ 撮影モードをシーンモードの [パノラマアシスト] に設定する方法は「シーンモード (シーンに合わせて撮影する)」をご覧ください。→□41
- ・ パノラマ方向 (画像をつなげる方向) を示す  マークが表示されます。

2 パノラマ方向をタッチする

- ・ 右方向につなげるときは 、左方向は 、上方は 、下方は  をタッチします。
- ・ もう一度、パノラマ方向のアイコンをタッチすると、方向を選び直せます。
- ・ 撮影時の設定を変えるときは (□41)、ここで設定します。



3 一番端の被写体に構図を合わせ、1コマ目を撮影する

- ・ 画面中央でピントを合わせます。
- ・ 撮影した画像が、画面の約 1/3 の部分に半透明で表示されます。



4 2コマ目以降を撮影する

- ・ 次の被写体の 1/3 が前の絵柄に重なるように構図を合わせて、シャッターボタンを押します。
- ・ この手順を繰り返して、必要な画像を撮影します。



5 必要な画像を撮影し終わったら、**X** をタッチする

- ・ 手順2の状態に戻ります。



✔ パノラマアシストについてのご注意

- ・ 撮影時の設定 (□41) は、1コマ目のシャッターをきる前に設定してください。1コマ目を撮影した後は変更できません。1コマ目を撮影した後は、ズーム操作、画像の削除もできません。
- ・ 撮影中にオートパワーオフ (👁75) による待機状態になると撮影が終了します。オートパワーオフの時間を長めに設定しておくことをおすすめします。

📎 AE/AF-L表示について

パノラマアシストモードでは、パノラマ写真を構成するすべての画像を、1コマ目と同じ露出、ホワイトバランスおよびピントで撮影します。

1コマ目を撮影すると、露出、ホワイトバランスとピントをロック (固定) したことを示す AE/AF-L が画面に表示されます。



📎 パノラマ写真に合成するには (Panorama Maker)

- ・ 撮影した画像をパソコンに転送して (□79)、Panorama Makerでパノラマ写真に合成します。
- ・ Panorama Makerは、付属CD「ViewNX 2」でインストールできます (□77)。
- ・ Panorama Makerをインストールしたら、次のように起動します。
Windows : [スタート] から [すべてのプログラム] → [ArcSoft Panorama Maker] → [Panorama Maker] の順にクリックします。
Mac OS X : [アプリケーション] フォルダを開き、[Panorama Maker] をダブルクリックします。
- ・ Panorama Makerの使い方は、Panorama Makerの操作画面やヘルプをご覧ください。

📎 関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名 → 👁86

お気に入り再生モード

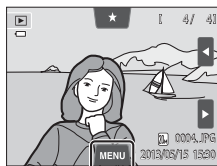
お気に入りの画像は、撮影後、9つあるお気に入りフォルダーに登録することで分類できます（動画を除く）。登録後、お気に入り再生モードに切り換えると、登録した画像のみを再生できます。

- フォルダーをイベントや被写体の種類などで使い分けると、画像を探しやすくなります。
- 同じ画像を複数のフォルダーに登録できます。
- 1つのお気に入りフォルダーに登録できる画像は、最大200コマです。

お気に入りフォルダーに画像を登録する

1 登録したい画像を1コマ表示し、MENUタブをタッチする


- お気に入り再生モードでは、画像の登録はできません。



2 をタッチする



3 画像を登録したいお気に入りフォルダーをタッチする

- 登録が完了し、登録画面に戻ります。
- 別のフォルダーをタッチすると、続けて複数のフォルダーへ登録ができます。
- 画像をドラッグすると表示画像が切り換わり、登録する画像を変更できます。
- 登録をやめるには  をタッチします。



お気に入りフォルダーの画像を再生する

▶ ボタンを押す（再生モード） → ▶ ボタン → 📁 お気に入り再生モード

表示したいお気に入りフォルダーを選び、タッチすると、選んだフォルダーに登録した画像のみ絞り込んで再生します。

- 📁 をタッチすると、フォルダーのアイコン（色とかたち）を変更できます（📁8）。
- 1コマ表示またはサムネイル表示でMENUタブをタッチすると、再生メニュー（📖75）の機能が選べます。



🗑️ 削除についてのご注意


画像をお気に入りフォルダーに登録しても、画像ファイルはお気に入りフォルダーへコピーも移動もされません。

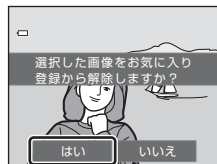
お気に入りフォルダーには画像のファイル名が登録され、お気に入り再生モードではファイル名から画像を呼び出して再生します。

お気に入り再生モードで画像を削除すると、お気に入りフォルダーから画像が消えるだけでなく、内蔵メモリーまたはSDカードに記録されている元の画像も削除されます。

お気に入りフォルダーの画像登録を解除する

画像を削除しないで、お気に入りフォルダーから画像の登録を解除したいときは、以下のように操作してください。

- お気に入り再生モードの 1 コマ表示で解除したい画像を選びます→MENU タブをタッチしてメニュー項目を表示します→ をタッチすると、登録解除の確認画面が表示されます。
- [はい]** をタッチし、登録を解除します。



お気に入りフォルダーのアイコンを変更する

お気に入りフォルダーのアイコン（色とかたち）は変更できます。変更すると、どのフォルダーにどのような分類で画像を登録したか分かりやすくなります。

1 お気に入りフォルダーの選択画面（006）で、**2** をタッチする

- ・アイコンとアイコンの色の選択画面になります。



2 アイコンをタッチして選び、スライダーをタッチまたはドラッグしてアイコンの色を選んだら、**OK**をタッチする

- ・フォルダーの選択画面になります。



3 変更したいフォルダーをタッチする

- ・アイコンが変更されます。
- ・**2**をタッチすると、アイコンとアイコンの色の選択画面に戻ります。



▼ お気に入りフォルダーのアイコン設定についてのご注意

お気に入りフォルダーのアイコンは、内蔵メモリーまたはSDカードごとに設定してください。

- ・内蔵メモリーのお気に入りフォルダーアイコンを変更するときは、SDカードをカメラから取り出してください。
- ・アイコンの初期設定は数字アイコンです。

オート分類再生モード

撮影した画像は、人物、風景、動画などの項目別に自動で分類されます。

▶ボタンを押す（再生モード）→▶ボタン→📷 オート分類再生モード

表示したい分類を選び、タッチすると、同じ分類の画像のみを絞り込んで再生します。

- 1コマ表示またはサムネイル表示でMENUタブをタッチすると、再生メニュー（📄75）の機能が選べます。



分類項目の種類と内容

項目	内容
📷 笑顔	ベストフェイスモード（📄51）で笑顔自動シャッターを[ON]にして撮影した画像。
👤 人物	📷（オート撮影）モード（📄38）で顔認識撮影（📄68）した画像。 シーンモード（📄41）の[ポートレート]*、[夜景ポートレート]*、[パーティー]、[逆光]*で撮影した画像。 ベストフェイスモード（📄51）で笑顔自動シャッターを[OFF]にして撮影した画像。
🍽️ 料理	シーンモード（📄41）の[料理]で撮影した画像。
🌄 風景	シーンモード（📄41）の[風景]*で撮影した画像。
🌃 夜景	シーンモード（📄41）の[夜景]*、[夕焼け]、[トワイライト]、[打ち上げ花火]で撮影した画像。
📷 接写	📷（オート撮影）モードでマクロ（📄59）に設定して撮影した画像。 シーンモード（📄41）の[クローズアップ]*で撮影した画像。
🐾 ペット	シーンモード（📄41）の[ペット]で撮影した画像。
🎬 動画	動画（📄82）。
📄 編集済み画像	画像編集（📄12）で作成した画像。
📄 その他の画像	他の分類項目に該当しない画像。

* おまかせシーン（📄43）で切り換わった場合も含まれます。

オート分類再生モード

オート分類再生モードについてのご注意

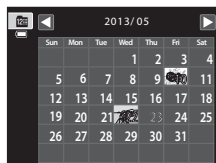
- 1つの分類項目で表示できるのは、最大999コマです。撮影時にすでに999コマある分類項目に該当した画像/動画は、オート分類再生モードに登録できず、オート分類再生モードで表示できません。通常の再生モード (□32) または撮影日一覧モード (📅11) で表示してください。
- 内蔵メモリーまたはSD カードからコピーした画像や動画 (📷60) は、オート分類再生モードでは表示できません。
- COOLPIX S4400以外で記録した画像や動画は、オート分類再生モードで表示できません。

撮影日一覧モード

▶ボタンを押す（再生モード）→▶ボタン→📅撮影日一覧モード

表示したい日付を選び、タッチすると、同じ撮影日の画像のみを絞り込んで再生します。

- カレンダーの月を変更するには、◀ または ▶ をタッチします。
- 1コマ表示またはサムネイル表示でMENUタブをタッチすると、再生メニュー（🗨75）の機能が選べます。



🗒️ 撮影日一覧モードについてのご注意

- 撮影日一覧モードで表示できる画像は、最新の画像から9,000コマまでです。
- 日時を設定せずに撮影した画像は、「2013年1月1日」の画像として扱われます。

画像の編集（静止画）

画像編集の種類


このカメラでは以下の機能を使って画像を簡単に編集できます。以下の機能で編集した画像は元画像とは別に、異なるファイル名で保存されます（**086**）。

編集の種類	用途
ペイント (014)	画像に絵を描いたり、スタンプを押したりします。
簡単タッチ (017)	コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成します。
D-ライティング (018)	逆光やフラッシュの光量不足で暗くなった部分を明るく補正します。
スリム効果 (019)	画像を横方向に伸縮します。人物を細く見せたり、太く見せたりするときなどに使います。
アオリ効果 (020)	横位置で撮影した画像の遠近感を強めたり、弱めたりします。シフトレンズのようなアオリ効果があります。建物を撮影したときなどに使います。
フィルター効果 (021)	デジタルフィルターでいろいろな効果をつけます。効果の種類には、[ピクチャーカラー]、[ソフト]、[セレクトカラー]、[クロススクリーン]、[魚眼効果]、[ミニチュア効果]、[絵画調] があります。
メイクアップ効果 (023)	人物の顔の肌をなめらかにしたり、顔を小さく見せたり、目を大きく見せたりします。
スモールピクチャー (024)	サイズの小さい画像を作成します。電子メールに添付して送信するときなどに使います。
トリミング (025)	画像の一部を切り抜きます。被写体をクローズアップしたいときや構図に手を加えたいときなどに使います。

画像回転については**057**ページをご覧ください。


画像編集についてのご注意

- ・ [画像モード] (**064**) を **0** [5120×2880] にして撮影した画像は、編集できません。
- ・ COOLPIX S4400以外で撮影した画像は、COOLPIX S4400で編集できません。
- ・ 画像から人物の顔を検出できないときは、メイクアップ効果の編集はできません (**023**)。
- ・ COOLPIX S4400以外のデジタルカメラでは、COOLPIX S4400で編集した画像の正常な表示やパソコンへの転送ができないことがあります。
- ・ 内蔵メモリー /SDカードに十分な空き容量がないときは、編集できません。
- ・ 手書きメモ (**002**) で作成した画像は、ペイント、スモールピクチャー、またはトリミングだけが使えます。




 画像編集の制限

編集で作成した画像に別の編集を追加するときには、以下の制限があります。

編集に使った機能	追加できる編集機能
ペイント	ペイント、スモールピクチャーまたはトリミングができます。
簡単レタッチ D-ライティング スリム効果 アオリ効果 フィルター効果	ペイント、スモールピクチャー、メイクアップ効果またはトリミングができます。
メイクアップ効果	メイクアップ効果以外の編集ができます。
スモールピクチャー	追加編集できません。
トリミング	追加編集できません。ただし、640×480以上の画像サイズで保存された画像にはペイントができます。

- ペイントを除き、編集で作成した画像に同じ種類の編集を繰り返すことはできません。
- スモールピクチャーまたはトリミングと別の編集機能を組み合わせるときは、スモールピクチャーまたはトリミングは最後に編集してください。
- 撮影時に美肌機能を使って撮影した画像（47）にも、メイクアップ効果で美肌などの編集ができます。

 元画像と編集画像の関係について

- 編集で作成した画像は、元画像を削除しても削除されません。また編集で作成した画像を削除しても、元画像は削除されません。
- 編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。
- ランク設定（74）、プロテクト設定（51）またはプリント指定（53）した画像を編集しても、これらの設定内容は編集で作成した画像に反映されません。

ペイント

▶ ボタンを押す（再生モード）→ 画像を選ぶ → MENU タブをタッチする →
 ペイント

1 、、、 を使ってペイントする

- ペイントツールの使い方 → 15
- をタッチするか、ズームレバーを **T (Q)** 方向に回すと、画像を全画面に表示し、もう一度 をタッチするか、ズームレバーを **T (Q)** 方向に回すと、3倍に拡大表示できます。表示範囲を移動するには、 をタッチします。拡大表示を終了するには、 をタッチするか、ズームレバーを **W (Z)** 方向に回します。
- をタッチすると、ペン、消しゴム、スタンプで行った動作を取り消して、ひとつ前の状態に戻ります（最大5回前まで）。



2 **OK** をタッチする

- **X** をタッチすると確認画面が表示されます。[はい] をタッチすると、ペイントした内容を保存せずに終了します。




3 [はい] をタッチする


- ペイント画像が作成されます。
- [画像モード] (64) が [2272 × 1704] 以上の画像は 2048 × 1536、 [1600 × 1200]、 [640 × 480] は 640 × 480 の画像サイズで保存されます。
- ペイントした画像は、再生画面で が表示されず。



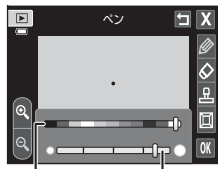
ペイントツールの使い方

文字や絵を描く

をタッチすると、文字や絵を描けます。


パレットでペンの色や太さを変更できます。パレットを閉じるには、をタッチするか画像をタッチします。


- 「ペンの色」スライダーをタッチまたはドラッグすると、ペンの色を選べます。
- 「ペンの太さ」スライダーをタッチすると、ペンの太さを選べます。



ペンの色 ペンの太さ

文字や絵を消す

をタッチすると、画像に描いた線やスタンプを消せます。

パレットで消しゴムの大きさを変更できます。パレットを閉じるには、をタッチするか画像をタッチします。



- 「消しゴムの大きさ」スライダーをタッチすると、消しゴムの大きさを選べます。






消しゴムの大きさ


画像の編集（静止画）




スタンプを押す

 をタッチすると、スタンプを押せます。パレットでスタンプの種類と大きさを変更できます。パレットを閉じるには、 をタッチするか画像をタッチします。

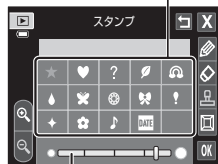
- 「スタンプの種類」は、14種類から選べます。
- 「スタンプの大きさ」スライダーをタッチすると、スタンプのサイズを選べます。
- 「スタンプの種類」で  を選んだときは、（年・月・日）と （年・月・日・時刻）を選べます。

フレームを付ける

 をタッチすると、画像にフレームを付けられます。

-  または  をタッチすると、7種類のフレームが順番に表示されます。 をタッチすると、フレームを決定します。





スタンプの種類




スタンプの大きさ



撮影日スタンプについてのご注意

- [画像モード] ( 64) が  [640×480] の画像に撮影日のスタンプを押すと、日付が読みづらいことがあります。撮影するときに、[画像モード] を  [1600×1200] 以上にしてください。
- 年月日の並びは、セットアップメニューの [地域と日時] の [日付の表示順] ( 65) での設定と同じになります。
- スタンプできる日時は、撮影時点でカメラに設定されていた日時です。スタンプする日時は変更できません。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名 →  86


✳️ 簡単レタッチ（コントラストと鮮やかさを高める）

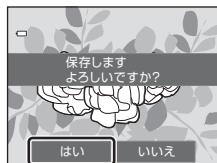
- ▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENU タブをタッチする →
 画像編集をタッチする → ✳️ 簡単レタッチ

1 効果の度合いを選び、OK をタッチする



2 [はい] をタッチする

- レタッチした画像が作成されます。
- 簡単レタッチで作成した画像は、再生画面で  が表示されます。



関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名 →  86

📷 D-ライティング（画像の暗い部分を明るく補正する）

- ▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENUタブをタッチする →
☑️ 画像編集をタッチする → 📷 D-ライティング

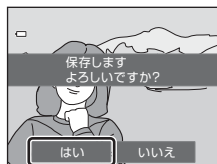
1 OKをタッチする

- 補正前（左側）と補正後（右側）の見本が表示されます。



2 [はい] をタッチする

- 編集した画像が作成されます。
- D-ライティングで作成した画像は、再生画面で📷が表示されます。



✎ スリム効果（画像を伸縮させる）

- ▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENUタブをタッチする →
 画像編集をタッチする → ✎ スリム効果

- 1 または をタッチするか、画面下のスライダーをタッチまたはドラッグして、スリム効果を調節する



- 2 をタッチする



- 3 [はい] をタッチする

- 編集した画像が作成されます。
- スリム効果で作成した画像は、再生画面で が表示されます。



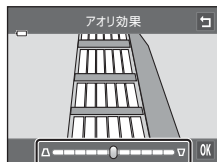
関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名 →  86

▲ アオリ効果（遠近効果をつける）

- ▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENUタブをタッチする →
☑ 画像編集をタッチする → ▲ アオリ効果

- 1 ▲ または ▽ をタッチするか、画面下のスライダーをタッチまたはドラッグして、アオリの効果
を調節する

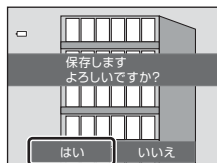


- 2 OK をタッチする



- 3 [はい] をタッチする

- ・ 編集した画像が作成されます。
- ・ アオリ効果で作成した画像は、再生画面で [] が表示されます。



🌀 フィルター効果（デジタルフィルター）

- ▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENUタブをタッチする →
 ☑ 画像編集をタッチする → 🌀 フィルター効果

種類	内容
🌀 ピクチャーカラー	カラーフィルターで画像の色調を変えます。色調の種類は 🌀（ビビッドカラー）、🌀（白黒）、🌀（セピア）、🌀（クール）があります。
SOFT ソフト	タッチした部分の周りを、ぼかしたようにソフトな雰囲気にします。
🖋 セレクトカラー	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。
✳ クロススクリーン	太陽の反射や街灯などの光源から、放射状に光の筋を伸ばします。夜景などを撮影した画像が適しています。
👁 魚眼効果	魚眼レンズで撮影したような画像にします。マクロで撮影した画像が適しています。
🏠 ミニチュア効果	ミニチュア（模型）を接写したように加工します。ミニチュア効果には、高いところから見下ろして撮影した画像で、主要な被写体が画面中央付近に写った画像が適しています。
🎨 絵画調	絵画のような雰囲気に加工します。

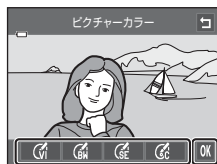
1 設定したい効果のアイコンをタッチする

- メニュー項目表示中は、画像をドラッグすると画像の切り換えができます。



2 効果を調節する

- [ピクチャーカラー]：色を選び、**OK**をタッチします。
- [ソフト]：効果をつけたい部分をタッチしたら、効果の度合いを選び、**OK**をタッチします。
- [セレクトカラー]：スライダーをタッチして残したい色合いを選び、**OK**をタッチします。
- [クロススクリーン]、[魚眼効果]、[ミニチュア効果]、[絵画調]：効果を確認し、**OK**をタッチします。
- **⏪**をタッチすると、効果をつけずに手順1の画面に戻ります。



【ピクチャーカラー】の場合

3 保存の確認画面で【はい】をタッチする

- 編集した画像が作成されます。
- フィルター効果で作成した画像は、再生画面で④が表示されます。



👤 メイクアップ効果（肌をなめらかに、さらに顔を小さく目を大きく見せる）

- ▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENUタブをタッチする →
 画像編集をタッチする → 👤 メイクアップ効果

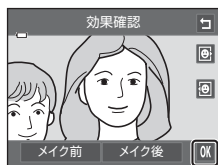
1 [すべて] または [美肌] をタッチする

- [すべて]：美肌に加え、小顔効果、目を大きく見せる効果を追加します。
- [美肌]：顔の肌をなめらかにします。
- 効果の確認画面が表示されます。



2 効果を確認する

- 最も画面の中央に近い順に、最大12人の肌を編集します。
- [メイク前] または [メイク後] をタッチすると、処理前の画像と処理後の画像を切り換えます。
- 編集した顔が複数あるときは、👤または👤をタッチすると、顔の切り換えができます。
- 効果を変えたいときは、👤をタッチして手順1に戻ります。
- OKをタッチすると、保存確認画面を表示します。



3 [はい] をタッチする

- 編集した画像が作成されます。
- メイクアップ効果で作成した画像は、再生画面で👤が表示されます。



✔ メイクアップ効果についてのご注意

- 画像から人物の顔を検出できないときは、メイクアップ効果の編集はできません。
- 顔の向きや明るさなど、画像によっては、適切に顔を検出できないことや望ましい効果が得られないことがあります。

📄 関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名 → 📄86

🖼️ スモールピクチャー（画像サイズを小さくする）

- ▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENUタブをタッチする →
☑️ 画像編集をタッチする → 🖼️ スモールピクチャー

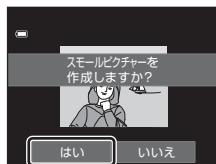
1 作成したいスモールピクチャーのサイズのアイコンをタッチしてOKをタッチする

- サイズは🖼️ [640×480]、🖼️ [320×240]、または🖼️ [160×120] から選べます。



2 [はい] をタッチする

- スモールピクチャーが作成されます（圧縮率約1/16）。
- スモールピクチャーで作成した画像は、黒の枠で囲まれて表示されます。



✂ トリミング（画像の一部を切り抜く）

拡大表示（□□33）中に✂が表示されている画像は、液晶モニターに表示している部分だけにトリミング（切り抜き）できます。トリミングした画像は、元画像とは別に保存されます。

1 トリミングしたい画像を拡大表示する（□□33）

2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節する

- ・ズームレバーをT（Q）またはW（☒）方向に回して拡大率を調節します。
- ・画像をドラッグするか、▲▼◀▶をタッチして表示範囲を移動します。



3 ✂をタッチする



4 [はい] をタッチする


- ・トリミングした画像が作成されます。




画像の編集（静止画）

画像サイズについて

切り抜く範囲が狭くなるほど、トリミングで作成した画像の画像サイズ（ピクセル数）は小さくなります。

トリミングして画像サイズが320×240または160×120になった画像は、再生時に黒の枠で囲まれ、画面左側にスモールピクチャーののアイコンが表示されます。

縦位置の画像を縦位置のままトリミングするには

[**画像回転**] (57) で画像を横位置に回転してからトリミングし、もう一度回転して縦位置に戻します。縦位置画像は、左右の黒い帯が見えなくなるまで画像を拡大するとトリミングできますが、トリミング画像は横位置になります。

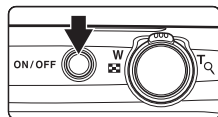
関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名→86

テレビとの接続（テレビ画面での再生）

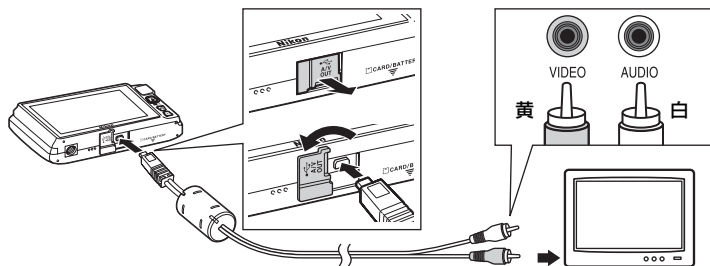
カメラを別売のオーディオビデオケーブルEG-CP14（AVケーブル）でテレビに接続すると、テレビ画面で、撮影した画像の1コマ表示、スライドショー、動画の再生ができます。

1 カメラの電源をOFFにする



2 カメラとテレビを接続する

- ・黄色のプラグをテレビの映像入力端子に、白色のプラグを音声入力端子に接続します。
- ・プラグの挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。プラグを引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。

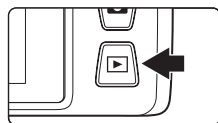


3 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

- ・詳しくはお使いのテレビの説明書をご覧ください。

4 カメラの▶ボタンを押し続けて電源をONにする

- ・カメラは再生モードになり、撮影した画像がテレビに表示されます。
- ・テレビに画像が表示されているときは、カメラの液晶モニターが消灯します。
- ・テレビ接続中の操作→ 28



テレビとの接続（テレビ画面での再生）

テレビ接続中の操作

テレビに1コマ表示されているときに、カメラの液晶モニターをドラッグすると、前後の画像を表示できます。

動画の最初のフレームが表示されたときは、カメラの液晶モニターをタッチすると動画を再生できます。

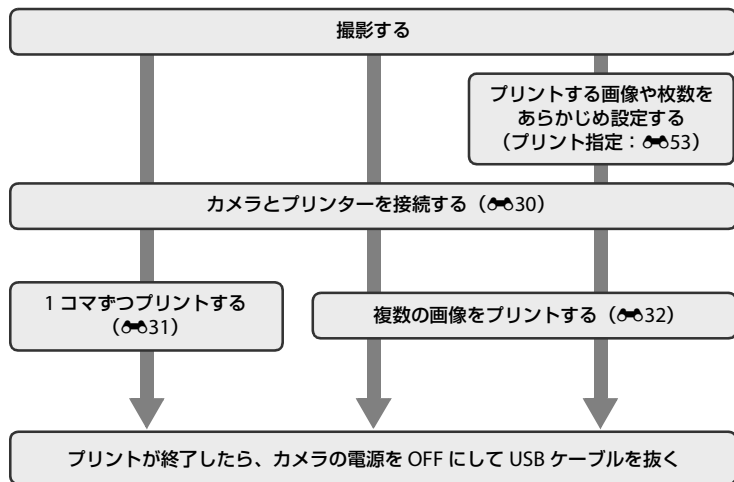
- カメラの液晶モニターにタッチすると、テレビの表示が消え、カメラの液晶モニター表示に切り換わります。カメラ表示中はアイコンをタッチしてカメラを操作できます。
- トリミングはできません。
- 以下の場合は、自動的にテレビ表示に切り換わります。
 - カメラを操作しない状態が数秒続いたとき
 - スライドショーを再生したとき
 - 動画を再生したとき

画像がテレビに映らないときは

[セットアップ] メニュー (□88) → [ビデオ出力] (👁77) がお使いのテレビに合っているか確認してください。

プリンターとの接続（ダイレクトプリント）

PictBridge（※16）対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます（ダイレクトプリント）。ダイレクトプリントの手順は、次のとおりです。



☑ 電源についてのご注意

- プリンターと接続するときは、途中で電源が切れないように、充分に残量のあるバッテリーをお使いください。
- 別売のACアダプター EH-62Gを使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）から COOLPIX S4400へ電源を供給できます。EH-62G以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

✍ 画像のプリント方法について

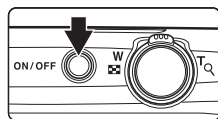
SDカードに記録した画像は、パソコンに転送したり、カメラをプリンターに接続してプリントする他に以下の方法でプリントできます。

- カードスロットが付いたDPOF対応プリンターでプリントする。
- プリントサービス店にプリントを依頼する。

これらの方法でプリントするときは、プリントする画像やプリント枚数などを、カメラの【プリント指定】メニューを使って、あらかじめSDカードに設定できます（☞53）。

カメラとプリンターを接続する

1 カメラの電源をOFFにする

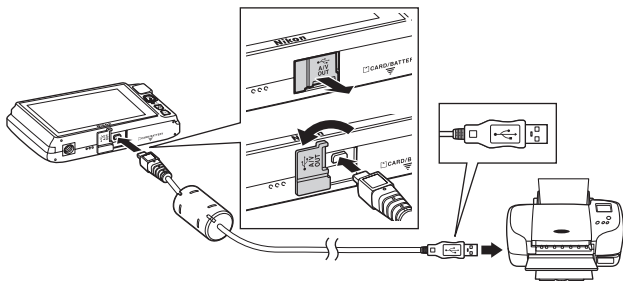


2 プリンターの電源をONにする

- ・プリンターの設定を確認します。

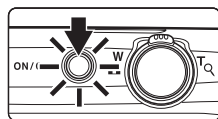
3 付属のUSBケーブルで、カメラとプリンターを接続する

- ・プラグの挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。プラグを引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。



4 カメラの電源が自動的にONになる

- ・正しく接続されると、カメラの液晶モニターに [PictBridge] 画面 (①) が表示された後、画像の選択画面 (②) が表示されます。



☑ PictBridge画面が表示されないときは

カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外してください。カメラのセットアップメニューの [パソコン接続充電] (🔌78) を [OFF] に設定してから、接続をやり直してください。

1 コマずつプリントする

カメラとプリンターを正しく接続してから (30)、以下の手順でプリントしてください。

- 1 **▲** または **▼** をタッチしてプリントする画像を選び、**OK** をタッチする

- **Q** をタッチするか、ズームレバーを **W** (四角) 方向に回すと9コマ表示に切り換わります。**Q** をタッチするか、ズームレバーを **T** (丸) 方向に回すと1コマ表示に切り換わります。



- 2 **[プリント枚数設定]** をタッチする



- 3 **プリントしたい枚数 (9枚まで)** をタッチする





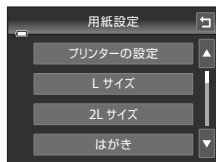
- 4 **[用紙設定]** をタッチする



プリンターとの接続（ダイレクトプリント）

5 印刷したい用紙サイズをタッチする

-  または  をタッチすると、前後のページを表示します。
- プリンターの設定を優先したいときは、[プリンターの設定] を選びます。

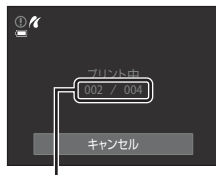


6 [プリント実行] をタッチする




7 プリントが始まる

- プリントが終わると、手順1の画面に戻ります。

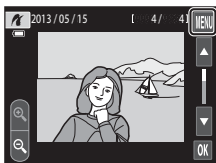


プリント中の枚数/総枚数


複数の画像をプリントする

カメラとプリンターを正しく接続してから（30）、以下の手順でプリントしてください。

1 画像の選択画面が表示されたら、 をタッチする





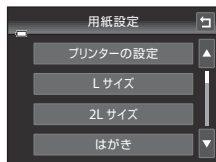
2 [用紙設定] をタッチする

- プリントメニューを終了したいときは、 をタッチします。



3 印刷したい用紙サイズをタッチする

-  または  をタッチすると、前後のページを表示します。
- プリンターの設定を優先したいときは、[プリンターの設定] を選びます。








4 [プリント選択]、[全画像プリント] または [DPOFプリント] をタッチする



プリント選択

プリントする画像 (最大99コマまで) と、それぞれのプリント枚数 (各9枚まで) を設定できます。

- プリントしたい画像をタッチして選び、画面下の  または  をタッチしてプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を 0 にすると、その画像の選択を解除できます。
-  をタッチするか、ズームレバーを **T** (Q) 方向に回すと 1 コマ表示に切り換わります。 をタッチするか、ズームレバーを **W** (R) 方向に回すと 9 コマ表示に切り換わります。
-  をタッチすると、すべての画像の選択を解除します。
- 設定が終了したら **OK** をタッチします。
- 右の画面が表示されたら、[プリント実行] をタッチすると画像のプリントが始まります。[キャンセル] をタッチすると、プリントメニューに戻ります。

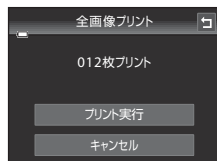


プリンターとの接続（ダイレクトプリント）

全画像プリント

SDカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントできます。

- 右の画面が表示されたら、**[プリント実行]** をタッチすると画像のプリントが始まります。**[キャンセル]** をタッチすると、プリントメニューに戻ります。



DPOFプリント

[プリント指定] (053) であらかじめ指定しておいた画像をプリントできます。

- 右の画面が表示されたら、**[プリント実行]** をタッチすると画像のプリントが始まります。**[OK]** をタッチすると、プリントメニューに戻ります。
- **[画像の確認]** をタッチすると、どの画像をプリント指定したか確認できます。**[OK]** をタッチすると、画像のプリントが始まります。



5 プリントが始まる

- プリントが終わると、手順2の画面に戻ります。



プリント中の枚数/総枚数

用紙設定について

用紙設定画面では、**[プリンターの設定]** 以外に、**[L サイズ]**、**[2L サイズ]**、**[はがき]**、**[100×150 mm]**、**[4×6 in.]**、**[8×10 in.]**、**[Letter]**、**[A3 サイズ]**、**[A4 サイズ]** のうち、プリンターが対応している用紙サイズを表示します。

撮影メニュー (📷 (オート撮影) モード)

- 📷 [画像モード] については、「📷 画像サイズ (画像モード) を変える」(📖64) をご覧ください。

📷/📷/📷/📷 タッチ撮影

📷 (オート撮影) モードの撮影画面にする → MENUタブをタッチする → 📷/📷/📷/📷 タッチ撮影

- 📷 (オート撮影) モード以外でも設定できます ([ターゲット追尾] を除く)。
- 撮影モードによって、[タッチシャッター] および [タッチAF/AE] の動作が異なります (📷36、📷40)。

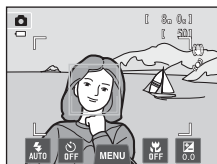
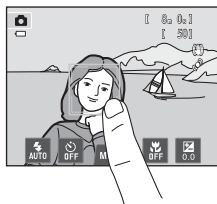
項目	内容	📖
📷 タッチシャッター (初期設定)	画面にタッチするだけで、シャッターがきれます。	📷36
📷 ターゲット追尾	動きのある被写体を撮影するときに使います。ピントを合わせたい被写体を登録すると、ターゲット追尾が始まり、AFエリアが被写体を追いかけて移動します。	📷38
📷 タッチAF/AE	オートフォーカスでピント合わせをするAFエリアを、画面にタッチして選べます。シャッターボタンを押すと、選んだエリアでピントと露出が合いシャッターがきれます。	📷40

👆 画面にタッチしてシャッターをきる (タッチシャッター)

📷 (オート撮影) モードの撮影画面にする → MENU タブをタッチする → 👆/👉/👈 タッチ撮影をタッチする → 👆 タッチシャッター

ピントを合わせたい被写体をタッチして撮影する

- ・液晶モニターにタッチするとき力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる (手ブレする) ことがありますのでご注意ください。
- ・電子ズーム使用時は、画面中央の被写体にピントが合います。
- ・タッチシャッターに設定していても、シャッターボタンを押して撮影できます。
- ・液晶モニターにタッチして [] が表示されたときは、シャッターがきれません。[] の内側または顔認識して表示される枠をタッチしてください。



✔️ タッチシャッターについてのご注意

- ・[連写] (📷43) の [連写] または [BSS] を使って撮影するときや、シーンモード (📷41) の [スポーツ] または [ミュージアム] で撮影するときには、シャッターボタンを押して撮影してください。タッチシャッターを使うと1コマずつの撮影になります。
- ・誤って画面に触れてシャッターをきらないようにご注意ください。📷 (オート撮影) モード、一部のシーンモードでは、タッチ撮影の設定を [タッチAF/AE] に切り換えると、画面にタッチしてもシャッターがきれないようにできます (📷40)。
- ・オートフォーカスが苦手な被写体を撮影すると、ピントが合わないことがあります (📷31)。
- ・セルフタイマー (📷57) を設定してから、画面の被写体をタッチすると、ピントが固定され、10秒または2秒後にシャッターがきれます。
- ・他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります (📷66)。

📷 タッチシャッターが使える撮影モードについて

📷 (オート撮影) モード以外でも、タッチシャッターを使えます。撮影モードによって、タッチシャッターの動作は以下のように異なります。

撮影モード	タッチシャッターの動作
📷(オート撮影)モード (📷38)、 シーンモード (📷41) の [スポーツ] / [パーティー] / [ビーチ] / [雪] / [コースアップ] / [料理] / [ミュージアム] / [モノクロコピー] / [逆光]	ピントを合わせたい被写体にタッチしてください。タッチしたエリアでカメラがピントと露出を合わせます。複数の顔を認識したときは、一重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔にカメラがピントと露出を合わせます。
シーンモード (📷41) の [おまかせシーン]、スペシャルエ フェクトモード (📷50)、 ベストフェイスモード ([笑顔自動シャッター]が[OFF] のとき) (📷51)	<ul style="list-style-type: none"> 顔認識しているときは、枠で囲まれた顔をタッチしてください。タッチした顔にカメラがピントと露出を合わせます。 顔認識していないときは、タッチしたエリアでカメラがピントを合わせます。
シーンモード (📷41) の [ポートレート] / [夜景ポートレート]	顔認識して表示される枠以外は選べません。複数の顔を認識したときは、一重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔にカメラがピントと露出を合わせます。
シーンモード (📷41) の [風景] / [夕焼け] / [トワイライト] / [夜景] / [打ち上げ花火] / [パノラマアシスト]	シャッターボタンを押して撮影するときと同じAFエリアで、ピントと露出を合わせます。詳しくは、「シーンモードの種類と特徴」(📷43)をご覧ください。
ベストフェイスモード ([笑顔自動シャッター]が[ON] のとき) (📷51)	タッチシャッターは使えません。複数の顔を認識したときは、一重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔にAFエリアを移動できます。
シーンモード (📷41) の [ペット]	[ペット自動シャッター]が[ON]のとき：タッチシャッターは使えません。 [OFF]のとき：ペット認識して表示される枠以外は選べません。複数のペットを認識したときは、一重枠で囲まれたペットの顔をタッチすると、その顔にカメラがピントを合わせます。

👤 動く被写体にピントを合わせて撮影する (ターゲット追尾)

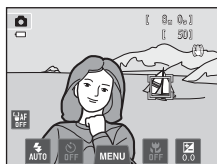
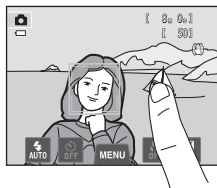
📷 (オート撮影) モードの撮影画面にする → MENU タブをタッチする → 👤/👤/👤 タッチ撮影をタッチする → 👤 ターゲット追尾

📷 (オート撮影) モード (📷38) では、タッチ撮影の設定を [タッチシャッター] (初期設定) から [ターゲット追尾] に切り換えられます。

- ・撮影モードが、📷 (オート撮影) モード以外のときは、👤 (ターゲット追尾) を使えません。

1 被写体を登録する

- ・ピントを合わせたい被写体に画面上でタッチします。
 - 被写体が登録されます。
 - 顔認識しているときは、枠で囲まれた顔をタッチすると、顔が登録され、ターゲット追尾が始まります。複数の人物を認識していた場合、登録された顔以外の枠の表示が消えます。
 - 顔以外の被写体が登録されると、黄色いAFエリア表示で囲まれ、ターゲット追尾が始まります。
 - 枠が赤色で表示されたときは、被写体にピントを合わせられません。構図を変えて、もう一度被写体を登録してください。
- ・被写体が登録できない場所をタッチしたときは、液晶モニターに [] が表示されます。[] で囲まれた範囲内で、タッチしてください。
- ・ターゲットを変えたいときは、もう一度ピントを合わせたい被写体をタッチしてください。
- ・被写体の登録を解除するときは、画面左側の 👤 をタッチします。
- ・カメラがターゲットを見失って AF エリア表示が消えたときは、もう一度被写体を登録してください。



2 シャッターボタンを押して撮影する

- シャッターボタンを半押ししてAF エリアでピントが合うと、AFエリア表示が緑色になり、ピントが固定されます。
- AFエリア表示が点滅したときは、被写体にピントが合っていません。もう一度シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてください。
- AFエリアが表示されていない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。
- シャッターボタンを全押しするとシャッターがきれます。



✔ ターゲット追尾についてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- ターゲット追尾中は、常にピントを合わせる動作音がします。
- ズーム位置や撮影時の設定 (📄38) は、被写体を登録する前に設定してください。被写体を登録した後に変更すると、被写体の登録が解除されます。
- 被写体の動きが速いときや手ブレが大きいとき、類似した被写体がある場合など、撮影条件によっては、被写体をターゲットに登録できないことや追尾できないこと、または別の被写体を追尾することがあります。被写体の大きさや明るさなどによっても、適切にターゲット追尾できないことがあります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」 (📄31) の撮影では、AFエリア表示が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。このようなときは、等距離にある別の被写体でピントを合わせる方法 (📄40) をお試しください。
- 他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります (📄66)。





📝 タッチ撮影の設定について

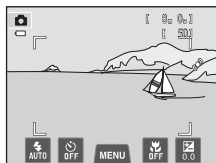
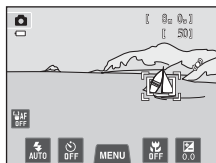
ターゲット追尾での被写体の登録は、電源をOFFにすると解除されます。

AF/AE 画面にタッチしてピントを合わせる (タッチAF/AE)

📷 (オート撮影) モードの撮影画面にする → MENU タブをタッチする → 📷/📷/📷 タッチ撮影をタッチする → 📷/📷 タッチAF/AE

1 ピントを合わせたい被写体をタッチする

- タッチした場所には、 または二重枠のAFエリアが表示されます。
- 電子ズーム使用時は、AFエリアは選べません。
- AF エリアの選択を解除するときは、画面左側の  をタッチします。
- AFエリアに選べない場所をタッチしたときは、液晶モニターに  が表示されます。 で囲まれた範囲内で、タッチしてください。



2 シャッターボタンを押して撮影する

- シャッターボタンを半押しするとピントと露出が固定され、全押しするとシャッターがきれます。



✔ タッチAF/AEについてのご注意

オートフォーカスが苦手な被写体の撮影では、ピント合わせができないことがあります (📖31)。

📷 タッチAF/AEが使える撮影モードについて

📷 (オート撮影) モード以外でも、タッチAF/AEを使えます。撮影モードによって、タッチAF/AEの動作は以下のように異なります。

撮影モード	タッチAF/AEの動作
📷 (オート撮影) モード (📖38)、 シーンモード (📖41) の [スポーツ] / [パーティー] / [ビーチ] / [雪] / [クローズアップ] / [料理] / [ミュージアム]/[モノクロコピー]/[逆光]	タッチしたエリアでカメラがピントと露出を合わせます。
シーンモード (📖41) の [おまかせシーン]、スペシャルエフェ クトモード (📖50)、 ベストフェイスモード ([笑顔自動シャッター] が [OFF] の とき) (📖51)	<ul style="list-style-type: none"> 顔認識しているときは、枠で囲まれた顔以外は選べません。複数の顔を認識したときは、一重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔にAFエリアを移動できます。 顔認識していないときは、タッチしたエリアでカメラがピントを合わせます。
シーンモード (📖41) の [ポートレート]/[夜景ポートレート]、 ベストフェイスモード ([笑顔自動 シャッター] が [ON] のとき) (📖51)	顔認識して表示される枠以外は選べません。複数の顔を認識したときは、一重枠で囲まれた顔をタッチすると、その顔にAFエリアを移動できます。
シーンモード (📖41) の [風景] / [夕焼け] / [トワイライト] / [夜景] / [打ち上げ花火] / [パノラマアシスト]	AFエリアの変更はできません。
シーンモード (📖41) の [ペット] *	[ペット自動シャッター] が [ON] のとき: タッチAF/AEは使えません。 [OFF] のとき: ペット認識して表示される枠以外は選べません。複数のペットを認識したときは、一重枠で囲まれたペットの顔をタッチすると、その顔にカメラがピントを合わせます。

* ペット自動シャッターを [OFF] にすると、タッチシャッター (初期設定) またはタッチAF/AEを選べます。

ISO ISO感度設定

📷 (オート撮影) モードの撮影画面にする → MENUタブをタッチする → ISO ISO感度設定

ISO感度を高くすると、より少ない光量で撮影できます。

ISO感度を高くするほど、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体の動きによるブレを軽減しやすくなります。

- ISO感度を高くすると、暗い被写体の撮影、フラッシュを使わない撮影、望遠側での撮影などに効果的ですが、撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	明るい場所ではISO 80になり、暗い場所では自動的にISO 1600までISO感度が高くなります。
ISO 感度制限オート	カメラが自動的にISO感度を変更するときの範囲を[ISO 80-400]、[ISO 80-800]から選べます。選んだ範囲の上限値以上にISO感度は上がりません。ISO感度の上限値を設定することで、画像のざらつきを抑える効果があります。
80、100、200、400、800、1600、3200	ISO感度を選んだ値に固定します。

✔ ISO感度設定についてのご注意

- 他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります (📖66)。
- ISO感度設定を[オート]以外にすると、[モーション検知] (📷72) は作動しません。

✔ ISO感度 [3200] についてのご注意

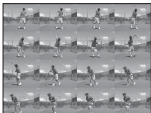
[ISO感度設定] を [3200] にして撮影するときは、選べる[画像モード] は、4M [2272×1704]、2M [1600×1200]、VGA [640×480] に制限されます。ISO感度設定には、📷マークが付きます。



📷 連写

📷 (オート撮影) モードの撮影画面にする → MENU タブをタッチする → 📷 連写

連写 (連続撮影) や BSS (ベストショットセクター) を設定できます。

項目	内容
🔄 単写 (初期設定)	1コマずつ撮影します。
📷 連写	シャッターボタンを全押ししている間、約0.9コマ/秒で最大6コマまで連写できます (画像モードが📷 [5152×3864] のとき)。
BSS BSS (ベストショットセクター)	暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときや、望遠側で撮影するときなど、手ブレしやすい状況で撮影する場合に設定します。 シャッターボタンを全押ししている間、連写を続け (最大10コマ)、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている1コマをカメラが自動的に選んで記録します。
📷 マルチ連写	シャッターボタンを1回全押しすると約30コマ/秒で16コマの連続写真を撮影し、1コマの画像として記録します。 <ul style="list-style-type: none"> 記録される画像モードは📷 (画像サイズ: 2560 × 1920 ピクセル) に固定されます。 電子ズームは使えません。 

✔ 連写についてのご注意

- [連写]、[BSS] または [マルチ連写] で撮影するときは、フラッシュは使えません。ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。
- 画像モード、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなる場合があります。
- 他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります (📷66)。

✔ BSSについてのご注意

[BSS] は静止している被写体の撮影に効果的です。動いている被写体の撮影や、構図を変えながらの撮影では、望ましい結果が得られない場合があります。

✔ マルチ連写についてのご注意

マルチ連写の撮影では、液晶モニターにスミア (📷3) が発生すると、記録される画像にもスミアの影響が残ります。スミアの影響を避けるため、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。

WB ホワイトバランス (色合いの調整)

📷 (オート撮影) モードの撮影画面にする → MENU タブをタッチする →
WB ホワイトバランス

人間の目には、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。人間の目に白く見える色を、デジタルカメラで白く撮影するには、光源の色に合わせて調整が必要です。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。

初期設定の [オート] でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせて設定を変更してください。

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。ほとんどの場合、この設定のまま撮影できます。
PRE プリセットマニュアル	特殊な照明の下などでの撮影に適しています。詳しくは「プリセットマニュアルの使い方」(📷45)をご覧ください。
☀️ 晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
💡 電球	白熱電球の下での撮影に適しています。
💡 蛍光灯	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
☁️ 曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
📷 フラッシュ	フラッシュを使う撮影に適しています。

✔️ ホワイトバランスについてのご注意

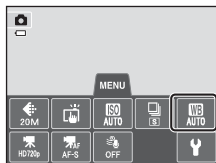
[オート]、[フラッシュ] 以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを🚫 (発光禁止) に設定してください (📷55)。

プリセットマニュアルの使い方

特殊な照明の下で撮影するときなど、[オート] や [電球] などのホワイトバランス設定では望ましい結果が得られない場合に使います (赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せたいときなど)。以下の手順で、撮影する照明下のホワイトバランス値を測定して、撮影します。

1 白またはグレーの被写体を用意し、撮影する照明下に置く

2 MENU タブをタッチしてメニュー項目を表示し (📖11)、**WB** をタッチする



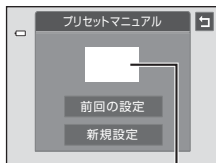
3 PRE をタッチする

- ・レンズが測定用のズーム位置になります。



4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を取める

- ・前回測定したホワイトバランス値を使いたいときは、[前回の設定] をタッチします。再測定せずに、ホワイトバランスが前回の値に設定されます。



測定窓

5 [新規設定] をタッチして、ホワイトバランス値を測定する

- ・シャッターがきかれて、ホワイトバランスのプリセット値が新たに設定されます (画像は記録されません)。







撮影メニュー (📷 (オート撮影) モード)


✔️ プリセットマニュアルについてのご注意

フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、[ホワイトバランス] を [オート] または [フラッシュ] に設定してください。




ベストフェイスメニュー

-  [画像モード] については、「 画像サイズ (画像モード) を変える」(P.64) をご覧ください。
-  [タッチ撮影] については、「撮影メニュー ( (オート撮影) モード)」の「タッチ撮影」(P.35) をご覧ください。

美肌効果

ベストフェイスモードの撮影画面にする → MENUタブをタッチする →  美肌効果

美肌の効果を設定します。

項目	内容
 強め	シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し (最大3人)、画像処理で顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。効果の度合いを選べます。
 標準 (初期設定)	
 弱め	
OFF OFF	美肌機能はOFFになります。

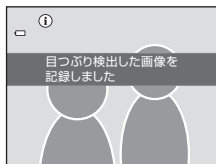
撮影画面の被写体では、効果の度合いは確認できません。撮影後に画像を再生して確認してください。

👁️ 目つぶり軽減

ベストフェイスモードの撮影画面にする → MENUタブをタッチする →
👁️ 目つぶり軽減

撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。

項目	内容
ON ON	ON [ON] にすると、フラッシュは使えません。 目をつぶっている可能性のある画像を記録したときは、右のメッセージが数秒間表示されます。
OFF OFF (初期設定)	目つぶり軽減機能をOFFにします。



😊 笑顔自動シャッター

ベストフェイスモードの撮影画面にする → MENUタブをタッチする →
😊 笑顔自動シャッター

カメラが顔認識した人物の笑顔を検出するたびにシャッターをきります。

項目	内容
ON ON (初期設定)	笑顔自動シャッターを設定します。
OFF OFF	笑顔自動シャッターをOFFにします。

再生メニュー

- ・ [お気に入り登録] については、「お気に入り再生モード」(5) をご覧ください。
- ・ [削除] については、「ステップ6 不要な画像を削除する」(34) をご覧ください。
- ・ [ペイント] および [画像編集] については、「画像の編集（静止画）」(12) をご覧ください。

スライドショー

ボタンを押す（再生モード）→ MENU タブをタッチする → スライドショー

内蔵メモリー /SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。

1 [開始] をタッチする

- ・ [開始] をタッチする前に [効果] をタッチすると、スライドショー中の効果を選べます。[クラシック]、[ズーム] および [キャラクター] から選べます。
- ・ 画像の表示時間を変更するには、[開始] を選ぶ前に [インターバル設定] をタッチし、画像の表示時間を選びます。
- ・ 繰り返し再生するには、[開始] をタッチする前に [エンドレス] をタッチします。
- ・ スライドショーを再生せずにやめるには、 をタッチします。



2 スライドショーが始まる

- ・液晶モニターをタッチすると、画面下に操作パネルが表示されます。

操作パネルのアイコンをタッチすると、以下の操作ができます。



機能	アイコン	内容
巻き戻し		タッチしている間、巻き戻しします。
早送り		タッチしている間、早送りします。
一時停止		タッチすると、一時停止します。 ・再生を再開するには、画面中央に表示される をタッチします。
再生終了		タッチすると、スライドショーを終了します。

スライドショーについてのご注意

- ・動画は1フレーム目だけを表示します。
- ・スライドショーを連続再生できる時間は、[エンドレス] に設定している場合も含め、最大30分です (🕒75)。

🔒 プロテクト設定

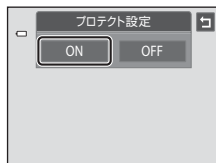
▶ ボタンを押す (再生モード) → MENU タブをタッチする → 🔒 プロテクト設定

大切な画像を誤って削除しないように、画像にプロテクト（保護）を設定できます。プロテクト設定した画像は、カメラでの再生時に🔒マーク (📖8) が表示されます。

1コマだけ保護（プロテクト）する

ON [ON] をタッチする

- ・ 画像がプロテクトされます。
- ・ プロテクトをやめるには、🔒をタッチします。



🔒 プロテクト設定についてのご注意

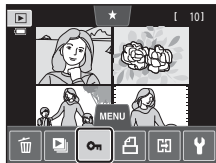
内蔵メモリー /SDカードを初期化（フォーマット、🔗76）すると、プロテクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。

複数の画像を保護（プロテクト）する

複数の画像を一度にプロテクトできます。

- サムネイル表示にして（**33**）、**MENU**タブをタッチしてメニュー項目を表示し、**On**をタッチする

・ 画像の選択画面に切り換わります。



- プロテクトしたい画像をタッチする

- ・ 選択した画像にはチェックマークが表示されます。もう一度タッチすると、チェックマークが外れます。
- ・ **Q**または**W**をタッチするか、ズームレバーを**T**（**Q**）または**W**（**Q**）方向に回すと、画面に表示するコマ数を切り換えできます。



- OK**をタッチする

- ・ 画像がプロテクトされます。
- ・ プロテクトをやめるには、**Off**をタッチします。



プロテクト設定を解除する

- ・ 1コマずつプロテクト設定を解除するには、プロテクト設定された画像を1コマ表示して「1コマだけ保護（プロテクト）する」（**51**）の操作をし、「1コマだけ保護（プロテクト）する」の画面で**[OFF]**をタッチします。
- ・ 複数画像のプロテクト設定を解除するには、「複数の画像を保護（プロテクト）する」の手順2の画面で、プロテクト設定された画像のチェックマークを外します。

☺ プリント指定（プリントする画像や枚数を設定する）

▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENU タブをタッチする → ☺ プリント指定

SDカードに記録した画像を以下の方法でプリントする場合、どの画像を何枚プリントするかを、あらかじめSDカードに設定できます。

- カードスロットが付いたDPOF対応（☺16）のプリンターでプリントする。
- DPOF対応のプリントサービス店にプリントを依頼する。
- カメラを PictBridge 対応（☺16）のプリンターに接続してプリントする（☺29）（カメラからSDカードを取り外すと、内蔵メモリーに記録した画像にもプリント指定できます）。

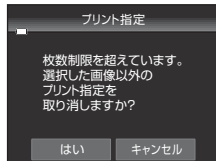
1 コマだけプリント指定する

1 プリントする枚数（9枚まで）をタッチし、OK をタッチする

- プリント指定をやめるには、☒ をタッチします。

- 今回のプリント指定を追加することで設定コマ数が99コマを超える場合は、右の画面が表示されます。

- [はい] を選ぶと、他の画像のプリント指定をすべて解除して、今回の設定だけを残します。
- [キャンセル] を選ぶと、他の画像のプリント指定を残して、今回の設定を取り消します。

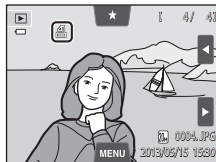


2 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する


- [日付] をタッチしてチェックボックスをオン [✓] にすると、撮影日を印字します。
- [撮影情報] をタッチしてチェックボックスをオン [✓] にすると、撮影情報（シャッタースピードと絞り値）を印字します。
- **OK** をタッチして、設定を有効にします。



プリント指定を行った画像は、再生時の画面で確認できます。








複数の画像をプリント指定する

- 1 サムネイル表示にして (□33)、MENUタブをタッチしてメニュー項目を表示し、をタッチする

- ・プリント指定画面に切り換わります。



- 2 プリントしたい画像（最大99コマまで）をタッチして選び、画面下のまたはをタッチしてプリント枚数（各9枚まで）を設定する

- ・プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、その画像の選択を解除できます。
- ・またはをタッチするか、ズームレバーをT (Q) またはW (R) 方向に回すと、画面に表示するコマ数を切り換えることができます。
- ・をタッチすると、すべての画像に対するプリント指定を取り消しできます。
- ・設定が終了したらOKをタッチします。



- 3 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する

- ・[日付] をタッチしてチェックボックスをオン [✓] にすると、すべての画像に撮影日を印字します。
- ・[撮影情報] をタッチしてチェックボックスをオン [✓] にすると、すべての画像に撮影情報（シャッタースピードと絞り値）を印字します。
- ・OKをタッチして、設定を有効にします。



プリント指定を解除する

- 1コマずつプリント指定を解除するには、プリント指定された画像を1コマ表示して「1コマだけプリント指定する」(🔍53)の操作をし、手順1の画面で「0」をタッチします。
- 複数画像のプリント指定を解除するには、「複数の画像をプリント指定する」(🔍55)の手順2の画面で、プリント指定された画像のチェックマークを外します。🔍をタッチすると、すべての画像に対するプリント指定を取り消しできます。

✔ 日付と撮影情報を入れてプリントするときのご注意

プリント指定で設定した【日付】と【撮影情報】は、「日付」や「撮影情報」が印字可能なDPOF対応プリンター (🔍16) で印字できます。

- 付属のUSBケーブルでカメラをプリンターに接続して「DPOFプリント」(🔍34)するときは、「撮影情報」は印字できません。
- プリント指定を行った後、再び【プリント指定】を表示すると、【日付】と【撮影情報】の設定はリセットされますのでご注意ください。
- プリントされる日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。撮影後にセットアップメニューの【地域と日時】で【日時の設定】や【タイムゾーン】を変更してもプリントされる日付には反映されません。



📎 【デート写し込み】について

セットアップメニューの【デート写し込み】(🔍70)を使うと、撮影時に日時を画像に写し込んで記録できます。日付の印字に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。

デート写し込みした画像は、【プリント指定】で日付の印字を設定しても、デート写し込みした日付のみがプリントに表示されます。

🔄 画像回転

- ▶ ボタンを押す (再生モード) → MENU タブをタッチする →
 ☑️ 画像編集をタッチする → 🔄 画像回転

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き (縦横位置) を設定します。静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。撮影時に縦位置で記録された画像は、時計回り/反時計回りのどちらか一方に180度まで回転できます。

- 🔄 または 🔄 をタッチすると、画像が90度回転します。



- **OK** をタッチすると、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。
- 画像回転をやめるには、🔄 をタッチします。

音声メモ

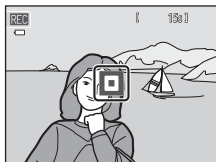
▶ ボタンを押す (再生モード) → 画像を選ぶ → MENUタブをタッチする →
🎤 音声メモ

撮影した画像に、カメラのマイクを使って音声によるメモが付けられます。音声メモを付けた画像を選ぶと、音声メモを再生できます。






- 音声メモが付いていない画像を選ぶと録音画面になり、音声メモが付いた画像 (1コマ表示で🔍が表示されている画像) を選ぶと再生画面になります。

音声メモを録音する

- 📱 をタッチすると、約20秒まで音声メモを録音できます。
- 録音中はカメラのマイクに触れないようご注意ください。
- 音声メモを録音せずにやめるには、🔴 をタッチします。
- 録音中は REC が点滅します。
- 録音中に 📱 をタッチすると、録音が停止します。
- 録音が終了すると、音声メモ再生画面になります。「音声メモを再生する」(👁️59) にしたがって再生できます。




音声メモを再生する

-  をタッチすると、音声メモを再生します。
- 再生を途中で止めるには、 をタッチします。
- 再生中は、 をタッチして音量を調節できます。
- 再生中は  が点滅します。
- 音声メモを再生せずにやめるには、 をタッチします。



音声メモを削除する

「音声メモを再生する」の画面で  をタッチします。
 [はい] をタッチすると、音声メモだけを削除します。



音声メモについてのご注意

- 音声メモが付いた画像を削除すると、その画像に付けた音声メモも削除されます。
- 画像にプロテクト設定すると、画像の削除だけでなく、音声メモの削除もできません。
- すでに音声メモが録音されている画像には、音声メモを録音できません。録音内容を変更するときは、いったん音声メモだけを削除してから、もう一度音声メモを録音してください。
- COOLPIX S4400以外で撮影した画像には、COOLPIX S4400で音声メモを付けられません。

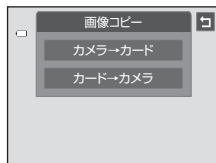
☒ 画像コピー（内蔵メモリーとSDカード間のコピー）

▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENU タブをタッチする → ☒ 画像コピー

内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。

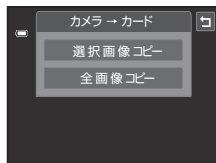
1 コピーする方向をタッチする

- ・ [カメラ→カード]：内蔵メモリーから SD カードへコピーします。
- ・ [カード→カメラ]：SD カードから内蔵メモリーへコピーします。



2 コピーの方法をタッチする

- ・ [選択画像コピー]：画像を選んでコピーします。→手順3へ
- ・ [全画像コピー]：すべての画像をコピーします。確認画面が表示されたら、[はい] をタッチしてください。画像がコピーされます。[いいえ] をタッチすると、コピーせずに再生メニューに戻ります。



3 コピーしたい画像をタッチする

- ・ 選択した画像にはチェックマークが表示されます。もう一度タッチすると、チェックマークが外れます。
- ・ 🔍 をタッチするか、ズームレバーを T (Q) 方向に回すと1コマ表示に、🔍 をタッチするか、ズームレバーを W (R) 方向に回すと9コマ表示に切り換わります。



4 OK をタッチする


- ・ 確認画面が表示されたら、[はい] をタッチしてください。画像がコピーされます。[いいえ] をタッチすると、コピーせずに再生メニューに戻ります。



✔ 画像コピーについてのご注意

- コピーできるファイルの形式は、JPEG、AVI、WAV です。これ以外の形式のファイルはコピーできません。
- 画像コピーでは、画像に付けた「音声メモ」(0058) も画像と同時にコピーします。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像のコピーは動作を保証していません。
- [プリント指定] (0053) した画像をコピーしても、プリント指定の設定内容はコピーされません。ランク設定した画像 (□74) や [プロテクト設定] (0051) した画像をコピーすると、これらの設定内容はコピー先の画像にも反映されます。
- 内蔵メモリーまたは SD カードからコピーした画像や動画は、オート分類再生モード (009) では表示できません。
- お気に入り登録 (005) した画像をコピーしても、お気に入り登録の登録内容はコピーされません。

✍ 【撮影画像がありません】のメッセージについて

SDカードに画像が記録されていないときに再生モードに切り換えると、[撮影画像がありません] と表示されますが、MENUタブをタッチして  をタッチすると画像コピー画面が表示され、内蔵メモリー内の画像をSDカードにコピーできます。

✍ 関連ページ




記録データのファイル名とフォルダー名 → 0086

動画メニュー

📷 動画設定


撮影画面を表示する → MENU タブをタッチする → 📷 動画設定

撮影する動画の種類を選びます。画像サイズが大きいほど高画質になりますが、ファイルサイズは大きくなります。

種類	内容
 HD 720p (1280×720) (初期設定※)	縦横比16：9の動画を記録します。
 VGA (640×480)	縦横比4：3の動画を記録します。
 QVGA (320×240)	縦横比4：3の動画を記録します。

※ 内蔵メモリー使用時は、初期設定が  [VGA (640×480)] になります。

・撮影フレーム数は、いずれの設定も約30フレーム/秒です。

 関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名 → 📷📷86


📷 AF 動画AFモード

撮影画面を表示する → MENU タブをタッチする → 📷 AF 動画AFモード

動画撮影時のオートフォーカスの方法を選びます。

設定	内容
AF-S シングルAF (初期設定)	● (📷 動画撮影) ボタンで撮影を開始したときのピントに固定します。 撮影中に被写体との距離があまり変化しない撮影に適しています。
AF-F 常時AF	動画撮影中、ピント合わせを繰り返します。 撮影中に被写体との距離が変化する撮影に適しています。 ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、[シングルAF] に設定して撮影することをおすすめします。

風切り音低減

撮影画面を表示する → MENU タブをタッチする →  風切り音低減

動画の撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定します。

種類	内容
ON ON	マイクに吹き付ける風の音を抑えて記録します。強風時の撮影に適しています。再生時に風切り音以外の音が聞こえにくくなる場合があります。
OFF OFF (初期設定)	風切り音を低減しません。

セットアップメニュー

📷 オープニング画面

MENU タブをタッチする → 📷 (セットアップメニュー) をタッチする → 📷 オープニング画面

カメラの電源をONにしたときに、液晶モニターにオープニング画面を表示するかどうかを設定します。


項目	内容
なし (初期設定)	オープニング画面を表示しないで、撮影または再生画面を表示します。
COOLPIX	オープニング画面を表示してから、撮影または再生画面を表示します。
撮影した画像	<p>撮影した画像をオープニング画面として表示します。画像の選択画面が表示されたら画像を選び、OK をタッチして登録します。</p> <ul style="list-style-type: none">• 画像の選択画面で、📷 をタッチするか、ズームレバーを T (📷) 方向に回すと 1 コマ表示に、📷 をタッチするか、ズームレバーを W (📷) 方向に回すと 9 コマ表示に切り換わります。• 登録した画像はカメラに記憶されるため、元画像を削除しても、オープニング画面に残ります。• [画像モード] (📷64) を 📷 [5120 × 2880] にして撮影した画像、およびスモールピクチャー (📷24) やトリミング (📷25) で作成した画像サイズ 320 × 240 以下の画像は登録できません。



⌚ 地域と日時

MENU タブをタッチする → 📁 (セットアップメニュー) をタッチする →
⌚ 地域と日時

カメラに内蔵された時計を設定します。

項目	内容
日時の設定	<p>内蔵時計の日付と時刻を設定します。</p> <p>表示される設定画面で、項目(年、月、日、時、分)をタッチして設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 項目を選ぶ: 変更したい項目をタッチする。 項目の内容を合わせる: ▲▼ をタッチする。 設定を完了する: OK をタッチする。 
日付の表示順	<p>日付の表示順を、[年/月/日]、[月/日/年]、[日/月/年] から選べます。</p>
タイムゾーン	<p>自宅 (🏠) のタイムゾーン (地域) や夏時間 (サマータイム) を設定します。また、訪問先 (📍) のタイムゾーンを登録すると、自宅 (🏠) との時差を自動的に計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。海外旅行などに便利です。</p>

時差のある地域で使うには

1 [タイムゾーン] をタッチする



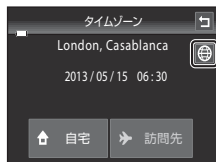
2 [📍 訪問先] をタッチする

- 訪問先の時計に切り換わります。







3 をタッチする


- 地域の設定画面が表示されます。



4 または をタッチして訪問先の地域（タイムゾーン）を選び、 をタッチする

- 夏時間（サマータイム）が現在実施されている地域で使うときは、 をタッチして夏時間の設定をオンにします。設定をオンにすると、画面上部に  マークが表示され、時計が1時間進みます。オフにするには、もう一度  をタッチします。
- 訪問先の時計に設定しているときは、撮影時の画面に  マークが表示されません。



 **🏠（自宅）の設定について**

- 自宅のタイムゾーンに戻すには、手順2で [**🏠 自宅**] をタッチしてください。
- 自宅のタイムゾーンを変更するには、手順2で [**🏠 自宅**] をタッチして、[**➡ 訪問先**] と同様の手順でタイムゾーンを変更してください。

 **🌞 夏時間の設定について**

夏時間（サマータイム）が始まったときや終わったときは、手順4の地域設定画面で、夏時間のオンとオフを切り換えてください。

 **📅 日付を画像に写し込むには**

日時を設定した後に、セットアップメニューの [**📅 デート写し込み**]（📷70）で設定します。[**📅 デート写し込み**] を設定して撮影すると、撮影日時を画像に写し込んで記録できます。

□ モニター設定

MENU タブをタッチする → Y (セットアップメニュー) をタッチする → □ モニター設定

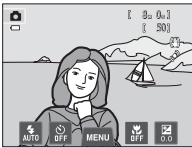
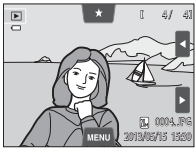
以下の項目を設定します。

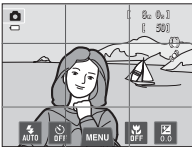

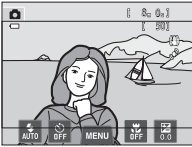
項目	内容
モニター表示設定	撮影、再生時の画面に表示される情報について設定します。
撮影後の画像表示	<ul style="list-style-type: none"> • [ON] (初期設定) : 撮影直後に、撮影した画像を表示してから撮影画面に戻ります。 • [OFF] : 撮影直後に、撮影した画像を表示しません。
画面の明るさ	画面の明るさを5段階で調節できます。初期設定は [3] です。

[モニター表示設定] について


画面に表示される情報について設定します。


液晶モニターの表示内容については → ⑧

	撮影時	再生時
情報ON		
情報AUTO (初期設定)	[情報ON] と同じ情報を表示した後、操作しない状態が数秒経過すると、情報表示がOFFになります。操作すると、再び情報を表示します。撮影画面では操作しない状態が数秒経過すると、一部の操作アイコンや撮影情報の表示がOFFになります。DISP をタッチすると再表示します。	



	撮影時	再生時
格子線+ 情報AUTO	 <p>構図を決める際の参考となる格子線を表示します。動画撮影中は表示しません。</p>	 <p>[情報AUTO] と同じです。</p>
動画枠+ 情報AUTO	 <p>動画撮影開始前に動画撮影範囲の枠を画面に表示します。シャッターボタン半押し中、動画撮影中は、表示しません。</p>	<p>[情報AUTO] と同じです。</p>


DATE デート写し込み（日付の写し込み）

MENU タブをタッチする → （セットアップメニュー）をタッチする →
DATE デート写し込み






撮影時に日時を画像に写し込んで記録できます。日付の印字（56）に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。




項目	内容
 年・月・日	画像に日付を写し込みます。
 年・月・日・時刻	画像に日付と時刻を写し込みます。
OFF（初期設定）	日付、時刻のどちらも写し込みません。

デート写し込みの設定は、撮影時の画面で確認できます（6）。[OFF] のときは何も表示されません。



デート写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- 以下の場合は日付を写し込みません。
 - シーンモードの「**パノラマアシスト**」にしたとき
 - 動画のとき
- 「**画像モード**」（64）が  **[640×480]** の画像にデート写し込みを行うと、写し込んだ日付が読みづらいことがあります。画像モードは  **[1600×1200]** 以上に設定してください。
- 年月日の並びは、「**地域と日時**」（24、65）での設定と同じになります。

「デート写し込み」と「プリント指定」について

日付や撮影情報の印刷が可能なDPOF対応のプリンターでプリントするときは、「**デート写し込み**」で日時を写し込んでいない画像でも、「**プリント指定**」（53）で撮影日時や撮影情報をプリントするように設定できます。


手ブレ補正

MENU タブをタッチする →  (セッティングメニュー) をタッチする →  手ブレ補正

撮影するときの手ブレ補正を設定します。

望遠側での撮影やスローシャッターでの撮影時に起こりがちな手ブレを補正します。静止画撮影だけでなく、動画撮影時の手ブレも補正します。

三脚などでカメラを固定して撮影するときには、手ブレ補正を [OFF] にしてください。

項目	内容
 ON (初期設定)	レンズシフト方式で手ブレを補正します。
OFF OFF	手ブレ補正をしません。

手ブレ補正の設定は、撮影時の画面で確認できます (□6)。[OFF] のときは、何も表示されません。

手ブレ補正についてのご注意

- ・カメラの電源をONにした直後、または再生モードから撮影モードに切り換えた直後は、液晶モニターの画像が安定してから撮影してください。
- ・手ブレ補正の原理上、撮影直後に液晶モニターの画像がずれて見えることがあります。
- ・手ブレ補正機能を設定しても、撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。

📡 モーション検知

MENU タブをタッチする → 📷 (セットアップメニュー) をタッチする →
📡 モーション検知

静止画の撮影時に被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。



項目	内容
AUTO (初期設定)	<p>カメラが被写体の動きや手ブレを検知すると、ブレを軽減するためにISO感度を上げてシャッタースピードを速くします。</p> <p>ただし、以下の場合は、モーション検知は作動しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タッチ撮影が [ターゲット追尾] のとき ・フラッシュが発光するとき ・📷 (オート撮影) モードで、[ISO 感度設定] (📷42) を [感度制限オート] に設定したとき、または ISO 感度を固定したとき ・[マルチ連写] (📷43) のとき ・以下のシーンモードのとき：[スポーツ] (📷44)、[夜景ポートレート] (📷44)、[トワイライト] (📷45)、[夜景] (📷46)、[ミュージアム] (📷47)、[打ち上げ花火] (📷47)、[逆光] (📷48)、[ペット] (📷49)
OFF	モーション検知をしません。

モーション検知の設定は、撮影時の画面で確認できます (📷6)。カメラがブレを検知してシャッタースピードを速くしたときは、モーション検知表示は緑色に変わります。[OFF] のときは、何も表示されません。

👍 モーション検知のご注意

- ・モーション検知を設定しても、撮影状況によっては手ブレや被写体ブレを完全に軽減できないことがあります。
- ・極端にブレているときや暗すぎるときは、モーション検知が作動しないことがあります。
- ・撮影した画像が多少ざらつくことがあります。



AF補助光

MENU タブをタッチする →  (セットアップメニュー) をタッチする →
 AF補助光

暗い場所などでオートフォーカスによるピント合わせを補助するAF補助光の点灯/非点灯を設定します。

項目	内容
AUTO (初期設定)	暗い場所などで自動的にAF補助光が点灯します。AF補助光が届く距離は、広角側で約1.9 m、望遠側で約1.1 mです。 ただし、[AUTO] に設定していても、AFエリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。
OFF	AF補助光は点灯しません。暗い場所などでピントが合いにくくなる場合があります。

電子ズーム

MENU タブをタッチする →  (セットアップメニュー) をタッチする →
 電子ズーム

電子ズームの動作を設定します。

項目	内容
ON (初期設定)	光学ズームが最も望遠側にある状態でズームレバーをT (Q) 方向に回すと、電子ズーム (📖29) が作動します。
OFF	電子ズームは作動しません (動画撮影中を除く)。

電子ズームについてのご注意

- 電子ズーム作動中はAFエリアが中央に固定されます。
- 以下の場合、電子ズームは使えません。
 - タッチ撮影が [ターゲット追尾] のとき
 - シーンモードが [おまかせシーン]、[ポートレート]、[夜景ポートレート] または [ペット] のとき
 - ベストフェイスモードのとき
 - [マルチ連写] (📷43) のとき

🔊 操作音

MENU タブをタッチする → 📁 (セットアップメニュー) をタッチする → 🔊 操作音

操作音について設定します。

項目	内容
設定音	設定音（電子音1回：設定完了時など）、合焦音（電子音2回：ピントが合ったとき）、警告音（電子音3回：禁止動作を行ったときなど）およびオープニング音の [ON] （初期設定） / [OFF] を設定します。
シャッター音	シャッターをきったときのシャッター音の [ON] （初期設定） / [OFF] を設定します。 ただし、連写、BSSなどで撮影するときや、動画撮影時は、 [ON] に設定しても、シャッター音は鳴りません。

✔ 操作音についてのご注意

シーンモードの **[ペット]** では、設定音およびシャッター音は鳴りません。

🔄 オートパワーオフ

MENU タブをタッチする → 📁 (セットアップメニュー) をタッチする → 🔄 オートパワーオフ

電源をONにしたまま、カメラを操作しない状態が続くと、節電のために液晶モニターが消灯して待機状態になります (📄23)。

このメニューでは、撮影時または再生時に待機状態になるまでの時間を設定します。

[30 秒]、[1 分] (初期設定)、[5 分]、[30 分] から選べます。

🔋 節電により液晶モニターが消灯したときは

- ・ 待機状態では、電源ランプが点滅します。
- ・ 待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
- ・ 電源ランプの点滅中は、以下のボタンを押すと液晶モニターが再点灯します。
→ 電源スイッチ、シャッターボタン、📷 ボタン、または ● (📹 動画撮影) ボタン

🔋 オートパワーオフの設定について

- ・ 以下の場合、待機状態に入るまでの時間は固定です。
 - 設定画面、モードメニュー、セットアップメニュー表示中：3分
 - スライドショー再生中：最大30分
 - ACアダプター EH-62G接続中：30分
- ・ Eye-Fiカードを使用した画像の転送中は、待機状態になりません。

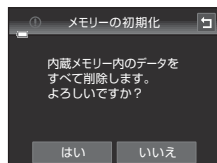
📁/📄 メモリー / カードの初期化 (フォーマット)

MENU タブをタッチする → 📁 (セットアップメニュー) をタッチする →
📁 メモリーの初期化/📄 カードの初期化

内蔵メモリーまたはSDカードを初期化 (フォーマット) します。初期化すると、内蔵メモリーまたはSDカード内のデータはすべて削除されます。削除したデータはもとに戻せません。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに転送してください。

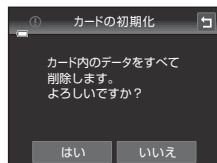
📁 内蔵メモリーの初期化

内蔵メモリーを初期化するときには、SDカードを取り出します。セットアップメニューの項目に [メモリーの初期化] が表示されます。



📄 SDカードの初期化



SDカードをカメラに入れると、SDカードを初期化できます。セットアップメニューの項目に [カードの初期化] が表示されます。



✔ 初期化についてのご注意


- ・内蔵メモリー/SDカードを初期化すると、お気に入りフォルダーのアイコン設定 (📁) は初期設定 (数字アイコン) に戻ります。
- ・初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリー/SDカードカバーを開けたりしないでください。
- ・他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

言語/Language

MENU タブをタッチする →  (セットアップメニュー) をタッチする →
 言語/Language

画面に表示する言語を、日本語（初期設定）または英語に設定します。

VIDEO ビデオ出力

MENU タブをタッチする →  (セットアップメニュー) をタッチする →
VIDEO ビデオ出力

テレビとの接続に必要な設定を行います。ビデオの出力方式を [NTSC] と [PAL] から選べます。[NTSC] と [PAL] はいずれも、アナログカラーテレビ放送の規格です。日本ではNTSC方式が、欧州ではPAL方式が主流です。

📷 パソコン接続充電

MENU タブをタッチする → 📷 (セットアップメニュー) をタッチする →
📷 パソコン接続充電

カメラをパソコンにUSBケーブルで接続したときに、カメラ内のバッテリーを充電するかどうかを設定します。

項目	内容
AUTO (初期設定)	カメラを起動済みのパソコンに接続したときに、パソコンからの電力供給状態に応じて、カメラ内のバッテリーを充電します。
OFF	カメラをパソコンに接続しても、カメラ内のバッテリーを充電しません。

✔ カメラとプリンターを接続してプリントするときのご注意

- ・カメラをPictBridge対応プリンターに接続しても、バッテリーの充電はできません。
- ・プリンターによっては、[パソコン接続充電] を [AUTO] にするとプリントできない場合があります。プリンターに接続して電源をONにしてもカメラにPictBridge画面が表示されないときは、カメラの電源をいったんOFFにしてUSBケーブルを外し、[パソコン接続充電] を [OFF] に設定してから、接続をやり直してください。

✔ パソコンに接続して充電するときのご注意

- ・パソコンに接続しても、ご購入後にカメラの表示言語と日時 (📷24) を設定していないときは、充電やデータの転送はできません。また、時計用電池 (📷25) が切れて日時がリセットされたまま再設定していないときも、充電やデータの転送はできません。本体充電ACアダプター EH-70Pでバッテリーを充電し (📷18)、カメラの日時を設定してください。
- ・カメラの電源をOFFにすると、バッテリーの充電も中止されます。
- ・充電中にパソコンが休止状態 (スリープ状態) になると、充電が中止され、カメラの電源がOFFになることがあります。
- ・カメラとパソコンの接続を外すときは、カメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルを外してください。
- ・残量がないバッテリーの場合、フル充電までの時間は約2時間30分です。また、画像を転送しながら充電すると、充電に時間がかかります。
- ・充電だけをしたいときに、カメラをパソコンに接続して、パソコンでNikon Transfer 2などが起動した場合は、これらの画面を閉じてください。
- ・充電が完了し、パソコンとの通信が無い状態が30分続くと、カメラの電源は自動的にOFFになります。
- ・パソコンの仕様、設定または状態によっては、カメラ内のバッテリーを充電できないことがあります。

 充電ランプについて

パソコンに接続しているときのカメラの充電ランプの状態と意味は以下のとおりです。

充電ランプ	意味
ゆっくり点滅（緑色）	充電中です。
消灯	充電していません。 電源ランプが点灯したまま、ゆっくりした点滅（緑色）から消灯になると、充電の完了です。
速い点滅（緑色）	<ul style="list-style-type: none"> 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が 5℃～ 35℃の室内で充電してください。 USB ケーブルが正しく接続されていないか、バッテリーの異常です。正しく接続し直るか、バッテリーを交換してください。 パソコンが休止状態（スリープ状態）で電力を供給していません。パソコンを復帰してください。 パソコンの仕様または設定がカメラへの電力供給に対応していないため充電できません。

👁️ 目つぶり検出設定

MENU タブをタッチする → 📁 (セットアップメニュー) をタッチする → 👁️ 目つぶり検出設定

以下の撮影モードで顔認識撮影 (📄68) したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。

- 📷 (オート撮影) モード (📄38)
- シーンモードの [おまかせシーン] (📄43)、[ポートレート] (📄43) または [夜景ポートレート] (📄44)

項目	内容
ON	顔認識して撮影した直後に、被写体の人物が目を閉じて写っている可能性があるときカメラが検出したときは、液晶モニターに [目つぶり確認] 画面を表示します。 目を閉じて写っている可能性のある人物の顔が黄色い枠で囲まれます。撮影した画像を見て、撮り直すかどうかを確認できます。 → 「目つぶり確認画面の操作方法」 (📄81)
OFF (初期設定)	目つぶり検出をしません。

👁️ 目つぶり検出設定についてのご注意

連写の設定が [連写]、[BSS] または [マルチ連写] のときは、目つぶり検出をしません。

目つぶり確認画面の操作方法

【目つぶり確認】画面が表示されたときは、以下の操作ができます。

何も操作しないまま数秒経過すると、自動的に撮影画面に戻ります。



機能	アイコン/ ボタン	内容
目つぶり検出した顔を拡大表示する	T (Q)	ズームレバーを T (Q) 方向に回します。複数の人物の目つぶりを検出した場合、拡大表示中に Q または Q をタッチすると、拡大表示する顔が切り換わります。
1コマ表示に戻る	W (Q)	ズームレバーを W (Q) 方向に回します。
撮影した画像を削除する		をタッチします。
撮影画面に戻る	OK	OK をタッチします。シャッターボタンを押しても撮影画面に戻ります。

📶 Eye-Fi送信機能

MENUタブをタッチする → 📶 (セットアップメニュー) をタッチする →
📶 Eye-Fi送信機能

項目	内容
有効	カメラで作成した画像を、あらかじめ設定した保存先へ送信します。
無効 (初期設定)	画像を送信しません。

✔ Eye-Fiカードを使用するときの注意



- 電波の状態が悪い場合、[有効] に設定していても送信できないことがあります。
- 電波の出力が禁止されている場所では、設定を[無効] にしてください。
- Eye-Fiカードの使用方法はEye-Fiカードの説明書をご覧ください。Eye-Fiカードに関する不具合や質問は、カードメーカーにお問い合わせください。
- このカメラにはEye-Fiカードの通信機能をON/OFFする機能がありますが、Eye-Fiカードの全ての機能を保証するものではありません。
- エンドレスメモリー機能には対応していません。パソコンで設定をしている場合は、OFFにしてください。エンドレスメモリー機能を設定していると、撮影した画像枚数表示が正常に表示されなくなることがあります。
- Eye-Fiカードの送信機能の使用は、ご購入された国でのみ使用が認められています。使用する国の法律に従ってお使いください。
- [有効] にしていると、バッテリーの消耗は通常より早くなります。

🔍 Eye-Fiカード使用時の表示について

カメラ内のEye-Fiカードの通信状態は、画面で確認できます (□□6)。

- 📶: [Eye-Fi送信機能] が[無効] に設定されています。
- 🔦 (点灯): 画像の送信を待っています。
- 🔦 (点滅): 画像の送信中です。
- 📶: 未送信の画像がありません。
- 🚫: エラーが発生しました。Eye-Fiカードをコントロールできません。

設定クリアー








MENU タブをタッチする →  (セットアップメニュー) をタッチする →
 設定クリアー

[はい] を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

撮影の基本機能

項目	初期設定
フラッシュモード (□□55)	自動発光
セルフタイマー (□□57)	OFF
マクロモード (□□59)	OFF
露出補正 (□□61)	0

オート撮影モード

項目	初期設定
画像モード (□□64)	 [5152×3864]
タッチ撮影 ( 36、  38、  40)	タッチシャッター
ISO感度設定 ( 42)	オート
連写 ( 43)	単写
ホワイトバランス ( 44)	オート

シーンモード

項目	初期設定
撮影モードメニューのシーン設定 (□□41)	おまかせシーン
シーンエフェクト調整 (□□42)	中央
連写 (ペットに設定時) (□□49)	連写
ペット自動シャッター (ペットに設定時) (□□49)	ON

スペシャルエフェクトモード

項目	初期設定
撮影モードメニューのスペシャルエフェクト設定 (□□50)	ソフト

セットアップメニュー

ベストフェイスモード

項目	初期設定
美肌効果 (F647)	標準
目つぶり軽減 (F648)	OFF
笑顔自動シャッター (F648)	ON

動画

項目	初期設定
動画設定 (F662)	SDカード挿入時： 720p HD 720p (1280×720) 内蔵メモリー時： VGA VGA (640×480)
動画AFモード (F662)	シングルAF
風切り音低減 (F663)	OFF

セットアップメニュー

項目	初期設定
オープニング画面 (F664)	なし
モニター表示設定 (F668)	情報AUTO
撮影後の画像表示 (F668)	ON
画面の明るさ (F668)	3
デート写し込み (F670)	OFF
手ブレ補正 (F671)	ON
モーション検知 (F672)	AUTO
AF補助光 (F673)	AUTO
電子ズーム (F673)	ON
設定音 (F674)	ON
シャッター音 (F674)	ON
オートパワーオフ (F675)	1分
パソコン接続充電 (F678)	AUTO
目つぶり検出設定 (F680)	OFF
Eye-Fi送信機能 (F682)	無効

その他

項目	初期設定
用紙設定 (🔗31、🔗32)	プリンターの設定
スライドショーのインターバル設定 (🔗49)	3秒
スライドショーの効果 (🔗49)	クラシック

- ・ [設定クリア] を行うと、ファイル番号の連番 (🔗86) もクリアされます。クリア後に撮影した画像には、内蔵メモリー/SDカード内の最大ファイル番号の次の番号から連番が付けられます。ファイル番号の連番を「0001」に戻りたいときは、内蔵メモリー/SDカード内の画像をすべて削除 (🔗34) してから、[設定クリア] を行ってください。
- ・ 以下の項目は、[設定クリア] を行っても初期設定には戻りません。
 撮影の設定：
 [ホワイトバランス] のプリセットマニュアルデータ (🔗45)
 セットアップメニュー：
 [地域と日時] (🔗65)、[言語/Language] (🔗77)、[ビデオ出力] (🔗77)

Ver. バージョン情報

MENU タブをタッチする → 📁 (セットアップメニュー) をタッチする →
 Ver バージョン情報

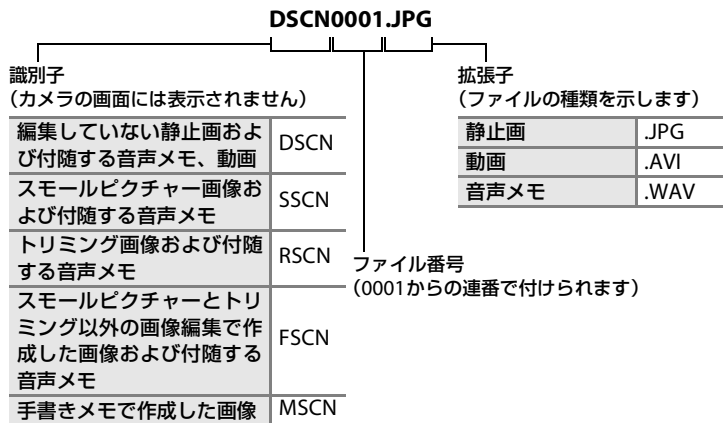
カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。



詳細編

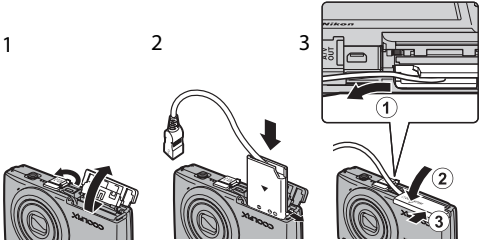
記録データのファイル名とフォルダー名

このカメラで撮影した静止画、動画、および音声メモには、以下のようにファイル名が付けられます。



- ファイルを保存するフォルダーは、「フォルダー番号+ NIKON」(例：100 NIKON) という名前で、自動的に作られます。フォルダー内のファイル数が200に達すると、新しいフォルダーが作られます(例：100NIKON → 101NIKON)。フォルダー内のファイル番号が9999に達したときも新しいフォルダーが作られ、ファイル番号は0001に戻ります。
- 音声メモのファイル名は、音声メモを録音した画像と同じ識別子とファイル番号になります。
- パノラマアシストモード (📷3) では、撮影のたびに「フォルダー番号+ P_XXX」 という名前のフォルダー (例：101P_001) が作られ、ファイル番号0001から始まる一連の画像が保存されます。
- 内蔵メモリーとSDカードの間で記録データをコピーする場合 (📷60)、ファイル名は以下のようになります。
 - 「選択画像コピー」: 使用中のフォルダー (または次回の撮影で使われるフォルダー) に、データがコピーされます。コピーされたデータのファイル名は、「内蔵メモリーおよびSDカード内の最大ファイル番号+1」から連番で付けられます。
 - 「全画像コピー」: データはフォルダーごとにコピーされます。フォルダー名は「コピー先の最大フォルダー番号+1」から連番で付けられます。ファイル名は変わりません。
- フォルダー番号が999のときにファイル数が200個またはファイル番号が9999に達すると、それ以上撮影できません。SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化 (📷76) してください。

別売アクセサリ





充電器	バッテリーチャージャー MH-66 [※] (残量のない状態からの充電時間：約1時間50分)
ACアダプター	ACアダプター EH-62G [※] <EH-62Gの取り付け方>  <p>1 2 3</p> ACアダプターのコードをACアダプターの溝に奥まで入れてからバッテリー室に入れてください。また、バッテリー/SDカードカバーを閉める前に、コードをバッテリー室の溝に奥まで入れてください。コードが溝からはみ出していると、カバーを閉めたときにカバーやコードを破損するおそれがあります。
オーディオビデオケーブル	オーディオビデオケーブル EG-CP14

※日本国内専用電源コード（AC 100V対応）付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。

また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）<http://shop.nikon-image.com/>でもお買い求めいただけます。

警告メッセージ

画面に表示される警告メッセージの意味は、以下のとおりです。

表示	考えられる原因や対処	
 (点滅)	カメラの時計が設定されていません。 日付と時刻を設定してください。	 65
電池残量がありません	バッテリーを充電または交換してください。	16、18
電池が高温です	バッテリーの温度が高温になっています。 電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。このメッセージが出ると5秒後に液晶モニターが消灯し、電源ランプが高速点滅を開始します。ランプの点滅が3分続くと電源は自動的にOFFになりますが、電源スイッチを押してもOFFにできません。	23
カメラが高温です。 電源をOFFにします	カメラの内部が高温になっています。 自動的にカメラの電源がOFFになります。カメラの温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。	84
 (赤色点滅)	ピントを合わせるできません。 ・ピントを合わせ直してください。 ・等距離にある別の被写体でピントを合わせる方法をお試しください。	30、31 40
記録中 しばらくお待ちください	画像の記録中です。 記録が終了して警告表示が消灯するまでお待ちください。	—
カードがロック されています	SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。 「Lock」を解除してください。	—
Eye-Fi カードは書き込み禁止の状態では使用できません。	Eye-Fi カードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。 「Lock」を解除してください。	—
	Eye-Fi カードへのアクセス異常です。 ・カードの端子部分が汚れていないか確認してください。 ・カードが正しく挿入されているか確認してください。	20 20

表示	考えられる原因や対処	📖
このカードは 使えません	SDカードへのアクセス異常です。 ・動作確認済みのカードを使ってください。 ・カードの端子部分が汚れていないか確認してください。	21 20
カードに異常が あります	・カードが正しく挿入されているか確認してください。	20
このカードは初期化 されていません。 初期化しますか？ はい いいえ	SDカードが、このカメラ用に初期化されていません。 初期化するとカード内のデータはすべて削除されるため、カード内に必要なデータが残っているときは、 【いいえ】 をタッチし、初期化する前にパソコンなどに保存してください。 【はい】 をタッチすると、SDカードを初期化できます。	20
メモリー残量が ありません	データを記録する空き容量がありません。 ・画像モードを変更してください。 ・不要な画像を削除してください。 ・SDカードを交換してください。 ・SDカードをカメラから取り出し、内蔵メモリーを使ってください。	64 34 20 21
画像を保存でき ません	画像記録中にエラーが発生しました。 内蔵メモリー/SDカードを初期化してください。	🔊76
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。 SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化してください。	22、 🔊76、 🔊86
画像を保存でき ません	オープニング画面に登録できない画像です。 以下の画像は登録できません。 ・ 【画像モード】 を🔊 【5120 × 2880】 にして撮影した画像 ・スモールピクチャーやトリミングで作成した画像サイズが 320 × 240 以下の画像	🔊64
	画像コピー先の容量不足です。 コピー先の不要な画像を削除してください。	34
これ以上、お気 入り登録 できません	すでに 200 コマの画像がお気に入りフォルダーに登録されています。 ・画像のお気に入り登録を解除してください。 ・別のお気に入りフォルダーに登録してください。	🔊7 🔊5
目つぶり検出した 画像を 記録しました	記録した画像に目を閉じた人がいるかもしれません。 画像を再生して確認してください。	53、 🔊48

表示	考えられる原因や対処	📖
この画像は編集できません	編集できない画像を編集しようとしてしました。 <ul style="list-style-type: none"> 編集可能な条件を確認してください。 動画は編集できません。 	🔑12 —
動画記録できません	SDカードに動画を記録するのに時間がかかっています。 画像記録処理の速いSDカードに交換してください。	21、 83
撮影済みの画像がありません。	撮影済みの画像がありません。 <ul style="list-style-type: none"> 内蔵メモリーに記録した画像を再生するときは、SDカードをカメラから取り出してください。 内蔵メモリーからSDカードに画像をコピーする場合は、再生メニューを表示すると、[画像コピー]が選べます。 	21 🔑60
撮影画像がありません	選んだお気に入りフォルダーに画像が登録されていません。 <ul style="list-style-type: none"> 画像をお気に入りフォルダーに登録してください。 画像が登録されたお気に入りフォルダーを選んでください。 	🔑5 🔑6
	オート分類再生モードで選んだ項目に、分類された画像がありません。 画像の分類された項目を選んでください。	🔑9
このファイルは表示できません	このカメラ以外で作成されたファイルです。	—
このデータは再生できません	このカメラでは再生できません。ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生してください。	—
表示できる画像がありません	スライドショーで表示できる画像がありません。	🔑49
このファイルは削除できません	画像にプロテクトがかかっています。 プロテクトを解除してください。	🔑51
自宅と訪問先が同じタイムゾーンです	自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しました。	🔑65
これ以上、このランクには登録できません	すでに999コマの画像がランクに登録されています。 画像のランク設定を解除してください。	74

表示	考えられる原因や対処	📖
このランクの画像はありません	選んだランクに、登録された画像がありません。 ・ 画像にランクを設定してください。 ・ 画像が登録されたランクを選んでください。	74
レンズエラー	レンズの作動不良です。 電源を入れ直してください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	22、23
通信エラー	プリンターとの通信中に、エラーが発生しました。 カメラの電源をOFFにして、USBケーブルの接続をやり直してください。	🔌30
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。 電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	17
プリンターエラー： プリンターを確認してください	プリンターに異常があります。 プリンターを確認し、エラーの原因を取り除いた後、 [継続] をタッチして、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 用紙を確認してください	指定したサイズ of 用紙がセットされていません。 指定したサイズ of 用紙をセットした後、 [継続] をタッチして、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 紙詰まりです	用紙が詰まりました。 詰まった用紙を取り除いた後、 [継続] をタッチして、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 用紙がありません	用紙がセットされていません。 指定したサイズ of 用紙をセットした後、 [継続] をタッチして、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： インクを確認してください	インクに異常があります。 インクを確認した後、 [継続] をタッチして、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： インクがありません	インクがなくなりました。 インクを交換した後、 [継続] をタッチして、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： ファイルが異常です	プリントする画像ファイルに異常があります。 [キャンセル] をタッチして、プリントを中止してください。	—

※ プリンターの説明書もあわせてご覧ください。



A series of horizontal dashed lines for handwriting practice, spanning the width of the page.



付録、索引

取り扱い上のご注意	2
カメラについて	2
バッテリーについて	3
本体充電 AC アダプターについて	5
メモリーカードについて	5
お手入れ方法	6
クリーニングについて	6
保管について	6
故障かな？と思ったら	7
主な仕様	13
このカメラの準拠規格	16
索引	17
アフターサービスについて	21

取り扱い上のご注意

カメラについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□vi~ix)をお守りください。

● **強いショックを与えないでください**

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズやレンズバリアーに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● **水に濡らさないでください**

カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● **急激な温度変化を与えないでください**

温度差が極端な場所(寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合)にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因になります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

● **強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください**

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● **長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください**

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● **バッテリーやACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください**

電源がONの状態を取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やカードの故障の原因になります。

● **液晶モニターについて**

・モニター画面(電子ビューファインダー含む)は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯(白、赤、青、緑)あるいは非点灯(黒)の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。

・屋外では液晶モニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。

・液晶モニターの表面を強くこすったり、強く押ししたりすると、破損や故障の原因になります。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないようご注意ください。

● スミアについて

明るい被写体にレンズを向けると、液晶モニターに白色または色のついた光の帯が現れることがあります。撮像素子の特性上、強い光が入射すると発生する「スミア」という現象で故障ではありません。また、スミアの影響で液晶モニターに色ムラが現れることもあります。

マルチ連写と動画以外の撮影では、記録される画像にスミアの影響はありません。

マルチ連写と動画の撮影では、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。

バッテリーについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□vi~ix)をお守りください。

● 使用上のご注意

- ・ 使用後のバッテリーは、発熱していることがあるのでご注意ください。
- ・ 周囲の温度が0℃～40℃の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
- ・ 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに使用を中止して、ご購入店または二コンサービス機関に修理を依頼してください。
- ・ カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、必ず付属のバッテリーケースを付けてください。

● 充電について

撮影の前に充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておられません。

- ・ 周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。
- ・ バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、性能劣化の原因にもなります。カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなっているときは、バッテリーの温度が下がるのを待ってから充電してください。COOLPIX S4400を本体充電ACアダプター EH-70Pまたはパソコンに接続して充電する場合、バッテリーの温度が0℃以下、45℃以上のときは、充電をしません。
- ・ 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- ・ 充電直後にバッテリーの温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

● 予備バッテリーを用意する

撮影環境に応じて、予備バッテリーをご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があります。

取り扱い上のご注意

● 低温時には残量のじゅうぶんなバッテリーを使い、予備バッテリーも用意する

バッテリーは一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

消耗したバッテリーを低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備のバッテリーは保温し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかったバッテリーも、常温に戻ると使える場合があります。

● バッテリーの接点について

バッテリーの接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭い取ってください。

● 残量のなくなったバッテリーは充電する

残量のなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してからお使いください。

● 保管について

- ・ バッテリーを使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けたままにすると、電源を切っても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
- ・ バッテリーは、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- ・ バッテリーは、付属のバッテリーケースを付けて、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

● 寿命について

バッテリーをじゅうぶんに充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

● リサイクルについて



Li-ion 00

充電を繰り返して劣化し、使えなくなったバッテリーは、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

数字の有無と数値は、電池によって異なります。

本体充電ACアダプターについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□□vi~ix)をお守りください。

- 本体充電ACアダプター EH-70P に対応している機器以外で使わないでください。
- EH-70P以外の本体充電ACアダプター、USB-ACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。
- EH-70Pは、家庭用電源のAC 100 - 240 V、50/60 Hzに対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などで確かめのうえ、お買い求めください。

メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- メモリーカードは、SDカード以外は使えません。推奨カード→□□21
- お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ラベルやシールを貼らないでください。

● 初期化について

- SDカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。未使用のSDカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- SDカードを初期化すると、カード内のデータは、すべて削除されます。初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- SDカードを入れたあとにカメラに「このカードは初期化されていません。初期化しますか？」の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、**[いいえ]**を選んでください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。カードを初期化してよければ、**[はい]**をタッチし、確認画面が表示されたら、**[実行]**をタッチしてください。
- 初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やカードの故障の原因になります。
 - バッテリー /SDカードカバーを開けて、カードやバッテリーを脱着する
 - カメラの電源をOFFにする
 - ACアダプターを外す

お手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

レンズ

ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。ゴミやホコリはブローアーで吹き払ってください。ブローアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブローアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディー

ゴミやホコリはブローアーで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。
ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、バッテリーを取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月に一度」を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作するようおすすめします。

カメラを以下の場所に保管しないようご注意ください。

- ・ 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- ・ テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- ・ 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所
- ・ 湿度が60%を超える場所

バッテリーの保管は、「取り扱い上のご注意」の「バッテリーについて」の「保管について」(P.4)をお守りください。













故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

表示・設定・電源関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電源ONの状態で、カメラの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。 操作できない状態が続くときは、電源を OFF にする操作をしてください。 電源が OFF にならない場合は、バッテリーを入れ直してください。 ACアダプター使用時は付け直してください。 - 記録中であったデータは保存されません。 - 保存済みのデータはバッテリーやACアダプターの取り外しでは失われません。 	— 23、🔌87
カメラ内のバッテリーを充電できない	<ul style="list-style-type: none"> プラグの接続状態を確認してください。 セットアップメニュー [パソコン接続充電] が [OFF] になっています。 パソコンに接続して充電しているときは、カメラの電源を OFF にすると、バッテリーの充電も中止されます。 パソコンに接続して充電しているときに、パソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止され、カメラの電源が OFF になることがあります。 パソコンの仕様、設定または状態によっては、パソコンに接続してカメラ内のバッテリーを充電できないことがあります。 	18 90、🔌78 90、🔌78 90、🔌78 —
電源をONにできない	<ul style="list-style-type: none"> バッテリー残量がありません。 本体充電ACアダプターでコンセントに接続しているときは、電源は ON にできません。 	22 18
カメラの電源が突然切れる	<ul style="list-style-type: none"> バッテリー残量がありません。 無操作状態が続いたため、オートパワーオフ機能が働きました。 低温下ではカメラやバッテリーが正常に動作しないことがあります。 カメラの電源を ON にしたまま、本体充電 AC アダプターを接続すると電源が OFF になります。 パソコンまたはプリンターとの接続中に USB ケーブルが外れると電源が OFF になります。USB ケーブルの接続をやり直してください。 カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。 	22 🔌75 🔌3 18 76、79、🔌30 —

故障かな？と思ったら



こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
液晶モニターに何も映らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源が入っていません。 節電機能により待機状態になっています。電源スイッチ、シャッターボタン、 ボタン、 ボタン、または  (●) (▶) 動画撮影) ボタンを押してください。 フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。 カメラとパソコンが USB ケーブルで接続されています。 カメラとテレビがオーディオビデオケーブルで接続されています。 	23 23、  75 55 76、79 76、  27
液晶モニターがよく見えない	<ul style="list-style-type: none"> 液晶モニターの明るさを調整してください。 液晶モニターが汚れています。 	88、  68  6
撮影日時が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 日時を設定していない(撮影時に日時未設定マークが点滅している)場合は、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時が「2013/01/01 00:00」と記録されず、セットアップメニュー「地域と日時」で日時を正しく設定してください。 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。 	24、  65 25、  65
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー「モニター設定」の「モニター表示設定」が「情報AUTO」になっています。	88、  68
「デート写し込み」が選べない	セットアップメニュー「地域と日時」が設定されていません。	24、  65
「デート写し込み」を有効にしたのに、日付が写し込まれない	<ul style="list-style-type: none"> 日付を写し込まない撮影モードになっています。 動画には写し込みできません。 	88、  70
電源を入れると地域と日時設定画面が表示される 設定内容が初期状態に戻ってしまった	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	24、25
液晶モニターが消灯し、電源ランプが同時に高速点滅する	バッテリーの温度が高温になっています。電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。ランプの点滅が3分続くと電源は自動的にOFFになりますが、電源スイッチを押してもOFFにできません。	23
カメラの温度が高くなる	動画撮影やEye-Fiカードでの画像送信などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。	84

撮影関連


こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影できない	<ul style="list-style-type: none"> 再生モードになっているとき、設定項目やセットアップメニューが表示されているときは、シャッターボタンを押してください。 	32
	<ul style="list-style-type: none"> バッテリー残量がありません。 フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。 	22 55
ピントが合わない	<ul style="list-style-type: none"> 被写体との距離が近すぎます。マクロモード、またはシーンモードの【おまかせシーン】、【クローズアップ】での撮影をお試しください。 	41、59
	<ul style="list-style-type: none"> オートフォーカスが苦手な被写体を撮影していません。 	31
	<ul style="list-style-type: none"> セットアップメニュー【AF補助光】を【AUTO】にしてください。 	89、🔊73
	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れ直してください。 	23
画像がぶれる	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュを使ってください。 ISO感度を上げて撮影してください。 手ブレ補正機能やモーション検知機能を使ってください。 	55 39、🔊42 89、 🔊71、 🔊72
	<ul style="list-style-type: none"> BSS（ベストショットセレクト）を使ってください。 	39、47、 🔊43
	<ul style="list-style-type: none"> 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。 	57
液晶モニターに光の帯や色ムラが発生する	明るい被写体にレンズを向けるとスミアが発生することがあります。マルチ連写と動画の撮影では、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。	🔊3
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを🔊（発光禁止）にしてください。	56
フラッシュが発光しない	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュモードが🔊（発光禁止）になっています。 	55
	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 	56
	<ul style="list-style-type: none"> ベストフェイスモードで【目つぶり軽減】が【ON】になっています。 	53、🔊48
	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュが制限される他の機能が設定されています。 	66
光学ズームが使えない	動画撮影中は使えません。	83

故障かな？と思ったら








こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電子ズームが使えない	<ul style="list-style-type: none"> セットアップメニュー [電子ズーム] が [OFF] になっています。 以下の場合、電子ズームは使えません。 <ul style="list-style-type: none"> - タッチ撮影が [ターゲット追尾] のとき - シーンモードが [おまかせシーン]、[ポートレート]、[夜景ポートレート] または [ベット] のとき - ベストフェイスモードのとき - [連写] の設定が [マルチ連写] のとき 	89、🔌73 39、🔌38 43、44、49 51 39、🔌43
[画像モード] が選べない	[画像モード] が制限される他の機能が設定されています。	66
シャッター音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> セットアップメニュー [操作音] の [シャッター音] が [OFF] になっています。[ON] にしていても、撮影モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。 スピーカーをふさがないでください。 	89、🔌74 3、28
AF補助光が点灯しない	セットアップメニュー [AF補助光] が [OFF] になっています。[AUTO] に設定していても、AFエリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。	89、🔌73
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	🔍6
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスが選ばれていません。	39、🔌44
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。 <ul style="list-style-type: none"> ・フラッシュを使ってください。 ・低いISO感度にしてください。 	55 39、🔌42
動画がざらつく	暗い場所で動画を撮影すると、画像がざらつくことがあります。これは、ISO感度が上がることによる影響で、故障ではありません。	—
画像が暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> ・フラッシュモードが 🔌 (発光禁止) になっています。 ・フラッシュが指などでさえぎられています。 ・被写体にフラッシュの光が届いていません。 ・露出を補正してください。 ・ISO感度を上げてください。 ・逆光で撮影しています。シーンモードの [逆光] にするか、フラッシュモードを 🔌 (強制発光) にしてください。 	55 28 55 61 39、🔌42 48、55
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	61
赤目以外の部分が補正された	🔍 (赤目軽減自動発光) や、シーンモードの [夜景ポートレート] の赤目軽減スローシンクロ強制発光でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。[夜景ポートレート] 以外の撮影モードで、フラッシュモードを 🔍 (赤目軽減自動発光) 以外にして撮影してください。	44、55

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
美肌の効果が得られない	<ul style="list-style-type: none"> 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。 4人以上の顔を撮影した画像は、画像編集 [メイクアップ効果] の  (美肌) をお試しください。 	70 70、🔧23
画像の記録に時間がかかる	<p>以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ノイズ低減機能が作動したとき フラッシュを  (赤目軽減自動発光) にして撮影したとき 美肌機能で撮影したとき 	— 56 43、44、 70、🔧47
画面や撮影画像に色のついた円形模様や光の帯が見える	逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内にある撮影では、色のついた円形模様や光の帯 (ゴースト) 等が写し込まれることがあります。光源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに撮影をお試しください。	—

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	<ul style="list-style-type: none"> パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、ファイル名やフォルダー名が変更されました。 COOLPIX S4400 以外で撮影した動画は再生できません。 	— 86
画像の拡大表示ができない	<ul style="list-style-type: none"> COOLPIX S4400 以外で撮影した画像は、拡大できないことがあります。 動画やスモールピクチャー、320 × 240 以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。 	—
音声メモの録音や再生ができない	<ul style="list-style-type: none"> 動画には音声メモを付けられません。 このカメラ以外で撮影した画像には、このカメラで音声メモを付けられません。また、このカメラ以外で画像に音声メモを付けると、このカメラで再生できません。 	86 75、🔧59
画像編集ができない	<ul style="list-style-type: none"> 動画は編集できません。 [画像モード] を  [5120 × 2880] にして撮影した画像は、編集できません。 画像編集が可能な条件を確認してください。 このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。 	86 64、75 75、🔧12 75、🔧12
画像がテレビに映らない	<ul style="list-style-type: none"> セットアップメニュー [ビデオ出力] が正しく設定されていません。 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときは SD カードを取り出してください。 カメラの液晶モニター表示に切り換わっています。 	90、🔧77 20 90、🔧28

故障かな？と思ったら

こんなときは	考えられる原因や対処法	
お気に入りフォルダーのアイコン設定が初期設定に戻っていたり、お気に入り登録した画像がお気に入り再生で表示できない	SDカード内のデータがパソコンで書き換えられると、再生できないことがあります。	—
撮影した画像がオート分類再生モードで再生できない	<ul style="list-style-type: none"> 表示したい画像が、参照している項目とは別の項目に分類されています。 このカメラ以外で撮影した画像または [画像コピー] でコピーした画像は、オート分類再生モードで表示できません。 内蔵メモリー/SDカード内の画像がパソコンで書き換えられると、表示できないことがあります。 1つの分類項目で表示できるのは、999コマまでです。すでに999コマ登録されている場合は、それ以降に撮影した画像は登録されません。 	72、  75、  —  10
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer 2が自動起動しない	<ul style="list-style-type: none"> カメラの電源がOFFになっています。 バッテリー残量がありません。 USBケーブルが正しく接続されていません。 パソコンにカメラが正しく認識されていません。 対応OSを確認してください。 Nikon Transfer 2が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer 2については、ViewNX 2のヘルプをご覧ください。 	23 22 76、79 — 77 80
カメラをプリンターに接続しても、PictBridge起動画面が表示されない	PictBridge対応プリンターの種類によっては、[パソコン接続充電]を[AUTO]に設定していると、PictBridge起動画面が表示されず、プリントできない場合があります。[パソコン接続充電]を[OFF]にしてプリンターに接続し直してください。	90、 
プリントする画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 画像が記録されていないSDカードが入っています。SDカードを交換してください。 内蔵メモリーの画像をプリントするときはSDカードを取り出してください。 	20 21
カメラ側で用紙設定ができない	PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」を行うことができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。 	 31、  32 —

主な仕様



ニコン デジタルカメラCOOLPIX S4400

型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	2005万画素
撮像素子	1/2.3型原色CCD、総画素数2048万画素
レンズ	光学6倍ズーム、NIKKORレンズ
焦点距離	4.6-27.6mm（35mm判換算26-156mm相当の撮影画角）
開放F値	f/3.5-6.5
レンズ構成	5群5枚
電子ズーム倍率	最大4倍（35mm判換算で約624mm相当の撮影画角）
手ブレ補正機能	レンズシフト方式
ブレ軽減機能	モーション検知（静止画）
オートフォーカス	コントラスト検出方式
撮影距離範囲	<ul style="list-style-type: none">・先端レンズ面中央から約50cm～∞（広角側）、約1.0m～∞（望遠側）・マクロモード時は先端レンズ面中央から約5cm（広角側）～∞
AFエリア	顔認識オート、オート（9点）、中央、マニュアル（タッチパネルでAFエリアを選択可能）、ターゲット追尾
画像モニター	3型TFT液晶（タッチパネル）、約46万ドット、反射防止コート付き 輝度調節機能付き（5段階）
視野率（撮影時）	上下左右とも約97%（対実画面）
視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）
記録方式	
記録媒体	<ul style="list-style-type: none">・内蔵メモリー（約71MB）・SD/SDHC/SDXCメモリーカード
対応規格	DCF、Exif 2.3、DPOF準拠
ファイル形式	静止画：JPEG 音声メモ：WAV 動画：AVI（Motion-JPEG準拠）
記録画素数（画像モード）	<ul style="list-style-type: none">・20M（高画質）[5152×3864★]・20M [5152×3864]・10M [3648×2736]・4M [2272×1704]・2M [1600×1200]・VGA [640×480]・16：9 [5120×2880]

主な仕様

ISO感度 (標準出力感度)	• ISO 80 ~ 1600 • ISO 3200 (オート撮影モード時に設定可能)
露出	
測光モード	マルチパターン測光 (256分割)、中央部重点測光 (電子ズームが2倍未満のとき)、スポット測光 (電子ズームが2倍以上のとき)
露出制御	プログラムオート、露出補正 (±2段の範囲で1/3段刻み) 可能
シャッター方式	メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用
シャッター スピード	1/2000~1秒 4秒 (シーンモードの [打ち上げ花火])
絞り	電磁駆動によるNDフィルター (-3.3 AV) 選択方式
制御段数	2 (f/3.5、f/11.5 [広角側])
セルフタイマー	約10秒、約2秒
フラッシュ	
調光範囲 (ISO感度設定オート時)	約0.5~4.5 m (広角側) 約1.0~2.4 m (望遠側)
調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
インターフェース	Hi-Speed USB
通信プロトコル	MTP、PTP
ビデオ出力	NTSC、PALから選択可能
入出力端子	オーディオビデオ (AV) 出力/デジタル端子 (USB)
表示言語	日本語、英語の2言語
電源	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL19 (リチウムイオン充電電池: 付属) × 1個 ACアダプター EH-62G (別売)
充電時間	約2時間20分 (本体充電ACアダプター EH-70P使用時、残量のない状態からの充電時間)
電池寿命 ^{※1}	
静止画撮影時	約200コマ (EN-EL19使用時)
動画撮影時 (実撮影 電池寿命) ^{※2}	約45分 (EN-EL19使用時)
三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)
寸法 (幅×高さ×奥行き)	約95.5×58.9×20.8 mm (突起部除く)

質量	約140 g (バッテリー、SDメモリーカード含む)
動作環境	
使用温度	0℃～40℃
使用湿度	85%以下 (結露しないこと)

- ・仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA (カメラ映像機器工業会) 規格による温度条件23℃ (±3℃) で、フル充電バッテリー使用時のものです。
- ※1 電池寿命測定方法を定めたCIPA (カメラ映像機器工業会) 規格によるものです。静止画の測定条件は、撮影ごとにズーム、2回に1回の割合でのフラッシュ撮影、画像モード  [5152×3864] です。動画設定は、 [HD 720p (1280×720)] です。数値は、撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用環境によって異なります。
- ※2 動画の連続撮影可能時間 (1回の撮影で記録可能な時間) は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ2 GBまで、または最長29分までです。また、カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL19

形式	リチウムイオン充電電池
定格容量	DC 3.7 V、700 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法 (幅×高さ×奥行き)	約31.5×39.5×6 mm (突起部除く)
質量	約14.5 g (バッテリーケースを除く)

本体充電ACアダプター EH-70P

電源	AC 100～240 V、50/60 Hz、0.07～0.044 A
定格入力容量	7～10.56 VA
定格出力	DC 5.0 V、550 mA
使用温度	0℃～40℃
寸法 (幅×高さ×奥行き)	約55×22×54 mm
質量	約47 g

説明書について

- ・説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- ・製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF) : 各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録方式です。
- DPOF (Digital Print Order Format) : デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif (Exchangeable image file format) Version 2.3 : デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。
この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報を活かして最適なプリント出力を得ることができます。
詳しくはプリンターの説明書をご覧ください。
- PictBridge : デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

索引

マーク・英数字

オート撮影モード 38
 シーンモード 41
 スペシャルエフェクトモード 50
 ベストフェイスモード 51
 再生モード 32、72
お気に入り再生モード 72、5
 オート分類再生モード 72、9
 撮影日一覧モード 72、11
 セットアップメニュー 88、64
T 望遠ズーム 2、29
W 広角ズーム 2、29
Q 拡大表示 2、33
 サムネイル表示 2、33
 撮影モードボタン 3、10、26
 再生ボタン 3、10、32
● (▼ 動画撮影) ボタン 3、82
MENU メニュータブ 11、12
 終了アイコン 11
 戻るアイコン 12
AE/AF-L 4
1 コマ表示 32
AC アダプター 19、87
AF エリア 6、30、68
AF 表示 30
AF 補助光 89、73
AV ケーブル 76、27
BSS 39、47、43
DPOF 16
DPOF プリント 34
DSCN 86
D- ライティング 75、18
EH-70P 18
EN-EL19 16、18
Eye-Fi 送信機能 90、82
FSCN 86
HD 720p 85、62
ISO 感度設定 39、42
Li-ion リチャージャブルバッテリー 16、18
MSCN 86
Nikon Transfer 2 78、80
Panorama Maker 48、78、4
PictBridge 76、29、16

QVGA 62
RSCN 86
SD カード 20、21
SD カードスロット 3、20
SD カードの初期化 20、89、76
SSCN 86
USB/ オーディオビデオ出力端子 3、18、76、27、30
USB ケーブル 18、76、79、30
VGA 85、62
ViewNX 2 77
.AVI 86
JPG 86
.WAV 86

ア

アオリ効果 75、20
赤目軽減自動発光 56
圧縮率 64
打ち上げ火花 47
笑顔自動シャッター 53、48
液晶モニター 3、6、6
オーディオビデオケーブル 76、27、87
オート撮影メニュー 39
オート撮影モード 38
オートパワーオフ 89、75
オートフォーカス 60
オート分類再生モード 72、9
オープニング画面 88、64
お気に入り解除 75、7
お気に入り再生モード 72、5
お気に入り登録 75、5
お気に入りフォルダー 72、8
おまかせシーン 43
音声入力/映像入力端子 76、27
音声メモ 75、58
音量 86、59
















カ











顔認識 28
顔認識撮影 68
拡大表示 33
拡張子 86
風切り音低減 85、63

索引



















画像回転 75、57
画像コピー 75、60
画像サイズ 64
画像編集 75、12
画像モード 64、65
画面の明るさ 88、68
簡単レタッチ 75、17
感度制限オート 42
逆光  48
強制発光 56
記録可能コマ数 22、65
記録可能時間 82、84
クローズアップ  46
蛍光灯 44
言語 /Language 90、77
広角ズーム 29
光学ズーム 29
硬調モノクローム  50


サ

再生 32、86、59
再生メニュー 75、49
再生モード 10、32、72
削除 34、59
撮影 26、28、30
撮影後の画像表示 88、68
撮影日一覧モード 72、11
撮影メニュー 39、35
撮影モード 10、26
サマータイム 25、88、67
サムネイル表示 33
三脚ネジ穴 3、14
シーンエフェクト 42
シーンモード 41、43
識別子 86
時差 25
自動発光 56
絞り値 30
シャッター音 89、74
シャッタースピード 30
シャッターボタン 2、13、30
充電器 18、87
充電ランプ 19、79
常時 AF 85、62
初期化 20、89、76
シングル AF 85、62
ズーム 29




ズームレバー 2、29
ストラップ 13
ストラップ取り付け部 2
スピーカー 3
スペシャルエフェクトモード 50
スポーツ  44
スモールピクチャー 75、24
スライドショー 75、49
スリム効果 75、19
スローシンクロ 56
晴天 44
接写 59
設定音 89、74
設定クリアー 90、83
セットアップメニュー 88、64
セルフタイマー 57
セルフタイマーランプ 58
セレクトカラー  50
操作音 74
ソフト SOFT 50

タ























ターゲット追尾 39、38
タイムゾーン 25、88、65
ダイレクトプリント 29
タッチ 4
タッチ AF/AE 39、40
タッチ撮影 39、35
タッチシャッター 39、36
タッチペン 5
端子カバー 3
単写 39、43
地域と日時 24、88、65
デート写し込み 88、70
手書きメモ  47、2
手ブレ補正 89、71
テレビ 76、27
電球 44
電源 22、23、24
電源スイッチ / 電源ランプ 2、22、23
電子ズーム 29、89、73
動画 AF モード 85、62
動画再生 86
動画撮影 82
動画設定 85、62
動画メニュー 85、62
ドラッグ 4









ドラッグアンドドロップ 4
 トリミング 33、25
 トワイライト  45
 曇天 44

ナ










内蔵メモリー 21
 内蔵メモリーの初期化 89、76
 内蔵メモリー表示 6、22、82
 夏時間 25、88、67
 日時の設定 24、88、65
 ノスタルジックセピア **SEPIA** 50

ハ







バージョン情報 90、85
 パーティィ  44
 ハイキーHI 50
 パソコン 76、79
 パソコン接続充電 90、78
 発光禁止 56
 バッテリー 16、18、25
 バッテリー/SDカードカバー 3、16、20
 バッテリー残量表示 22
 バッテリー室 3
 バッテリーチャージャー 19、87
 バッテリーロックレバー 3、16
 パノラマアシスト  48、3
 半押し 13、30
 ビーチ  45
 日付の写し込み 88、70
 日付の表示順 24、88、65
 日付のプリント 25、54、55
 ビデオ出力 90、77
 美肌機能 70
 美肌効果 53、47
 ピント 13、30
 ファイル名 86
 フィルター効果 75、21
 風景  43
 フォーマット 89、76
 フォルダー名 86
 フラッシュ 2、55
 フラッシュモード 55
 フラッシュランプ 3、55
 プリセットマニュアル 45
 プリンター 76、29
 プリント 31、32

プリント指定 75、53
 プロテクト設定 75、51
 ペイント 75、14
 ベストショットセクター 39、47、43
 ベストフェイスメニュー 53
 ベストフェイスモード 51
 別売アクセサリ 87
 ペット  49
 ペット自動シャッター 49
 ヘルプ 41
 望遠ズーム 29
 ポートレート  43
 ホワイトバランス 39、44
 本体充電 AC アダプター 18




マ

マイク 2
 マクロモード 59
 マルチ連写 39、43
 ミュージアム  47
 メイクアップ効果 75、23
 目つぶり軽減 53、48
 目つぶり検出設定 90、80
 メモリー残量 22
 モーション検知 89、72
 モニター設定 88、68
 モニター表示設定 68
 モノクロコピー  47

ヤ

夜景  46
 夜景ポートレート  44
 夕焼け  45
 雪  45
 用紙設定 31、32

ラ

ランク設定 74
 リチウムイオン充電体 16、18
 料理  46
 レーティング 74
 レーティングタブ 9、74
 連写 39、43
 レンズ 2、13
 レンズバリアー 2
 ローキーLO 50
 露出補正 61



A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice.

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

- ニコンサービス機関（裏面に記載の「修理センター」など）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。
- ニコンサービス機関につきましては、詳しくは「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。

【お願い】

- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
※内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後10年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。



0570-02-8000

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。ファクシミリでのご相談は、(03)5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

<ニコン ピックアップサービス>

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。
※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。



0120-02-8155

営業時間：9:00～18:00(年末年始12/29～1/4を除く毎日)

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)にて承ります。
製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<(株)ニコンイメージングジャパン 修理センター>

230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26



0570-02-8200

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

<ニコンイメージング/サポートページ>

●<http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。

※製品をより有効にご利用いただくために、定期的アクセスされるようおすすめします。

●<http://www.nikon-image.com/support/repair/>

「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされる際には、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**